

# 資料作成費

第5号の2様式（第7条関係）

政務活動費領収書貼付用紙

|           |   |      |                  |
|-----------|---|------|------------------|
| 議員氏名(会派名) | 四方 源太郎  | 整理番号 | 56               |
| 費目        | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費 |      |                  |
| 支払内容      | 御用聞きの会用資料作成費  |      |                  |
| 支払金額      | 29,700円   | 按分率  | 100% 計上額 29,700円 |
| 按分率の考え方   |   |      |                  |
| 備考        | 成果品添付   |      |                  |

請求書 六年 9月27日

印刷工房あやさ

特定非営利活動法人

自立支援センターいかるが

理事長 菅野 隆夫

〒623-0031 京都府綾部市味原町2-1

TEL (0773)40-5388 FAX (0773)40-5390

四方源太郎事務所様

下記のとおり御請求申し上げます

| 品名                        | 数量  | 単価 | 金額(税抜・税込) | 摘要    |
|---------------------------|-----|----|-----------|-------|
| 1 地域懇談会 資料                | 300 |    | 29700     |       |
| 2 (A4判 本文20頁 + 表紙 無線)     |     |    |           |       |
| 3 本文: 普通紙 A面 1枚           |     |    |           |       |
| 4 表紙: 上質紙 A判 44.5x71mm 1枚 |     |    |           |       |
| 5 印刷 表紙 - 1               |     |    |           |       |
| 6                         |     |    |           |       |
| 7                         |     |    |           |       |
| 合計                        |     |    | 29700     |       |
|                           |     |    | 税込合計金額    | 29700 |

●京都北部信用金庫西宮支店 普通口座0320592  
 ●郵便振替口座 00990-6-287855  
 ◆口座名義 特定非営利活動法人自立支援センターいかるがの部 理事長 菅野隆夫

ご利用明細票

お取扱日 01-10-27 店番 [ ] 取扱番号 A93120004

取扱店 [ ] 取扱店 00990-6 287855

払込金額 \*29,700 料金 \*0

振替受付票  
 私込みの座席とかならぬものに保存して下さい。消費税等は含まれていません。

金額 \*30,000  
 おつり \*300

“あんしん” & “べんり” な  
 スマホ決済アプリ

印刷税申告書  
 付につき別紙  
 税務署へ送付

# 2019年(令和元年)10月 地域懇談会 資料

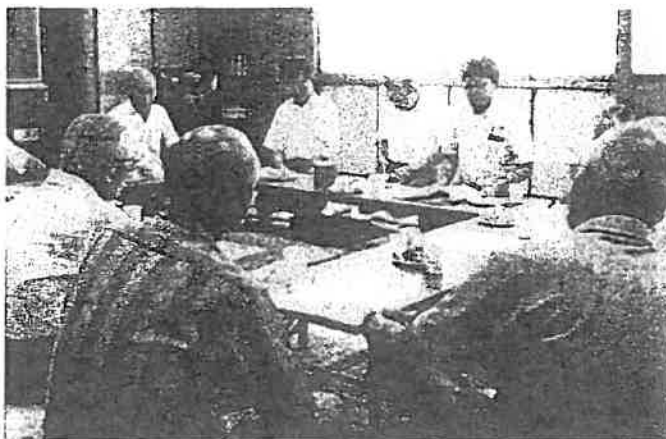
この資料の内容は、11年前の平成20年(2008年)に市内16ヵ所で開催した「地域懇談会」でお聞きしたご意見やご要望を当時、課題別にまとめたものです。

11年前には主催した市議会の民政会、創政会の皆さんと共に、衆議院議員谷垣禎一事務所、国交省福知山河川国道事務所、京都府中丹広域振興局、京都府建設交通部、綾部市、JR西日本等へ要望に行き、その回答をご意見ご要望いただいた方々にお返ししました。

今回の地域懇談会でいただいたご意見、ご要望についても、それぞれの関係部署へ要望したり、私が今後、府議として活動する上での実現目標として活用したいと考えております。ご意見ご要望をぜひお寄せ下さい！よろしくお願い致します。

京都府議会議員  
四方 源太郎

事務所：〒623-0037 綾部市並松町上溝口 20-3  
TEL 43-1001 / FAX 43-0463 / 携帯 090-1966-8819  
メール gen@gentarou.jp



平成20年(2008年)に開催した「地域懇談会」の様子

## 平成 20 年に開催した「地域懇談会」の意見集約と対応(課題別)

### 有害鳥獣対策

| 地区区分  | 具体的内容   | 回答・対応   |
|-------|---|---|
| 奥上林   | <ul style="list-style-type: none"> <li>被害にあうと、意欲が減退、農村に暮らす上で「希望」が失われる。「防除」は甘い、「駆除」を中心とした対策を進めてほしい。</li> <li>京都府は里に出てきたクマを殺さない。府の対応を変更してもらいたい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>8月22日に綾部市の担当部課長を招き、現在の市の取り組み状況の説明を受けた。</li> <li>綾部市も対策を行っているものの、現場では「駆除」を中心とした徹底対策が求められており、「現状では手ぬるい」という感覚があることを伝えた。</li> <li>今後、猟友会の方々など、鳥獣対策に取り組んでおられる現場の方々からもさらに現状を調査する。</li> <li>綾部市や谷垣禎一事務所等を通して、国や府にさらなる要望活動を行いながら、綾部市においても、捕獲した鳥獣の処理加工施設などの設置や抜本対策に向けた新たな補助制度ができないかなど、さらなる対策について、研究、検討する。</li> <li>そのために、民政会、創政会、四方源太郎で「有害鳥獣対策プロジェクトチーム」(座長)をつくり、調査研究を始めた。</li> </ul> |
| 中上林   | <ul style="list-style-type: none"> <li>丹精込めて作った作物も収穫期に荒らされて全滅した。シカ、クマ、イノシシ、アナグマ駆除の抜本対策を</li> <li>自治会連合会で鳥獣対策委員会を立ち上げ、専門家のアドバイスを受けて地区全体を柵で囲むことも検討しているが、5割補助では少ない。</li> <li>市で、大々的なサル捕獲柵の設置を。以前に和知町で実施したような大掛かりなものを。</li> </ul> |   |
| 口上林   | <ul style="list-style-type: none"> <li>抜本的対策(シカの被害、川鶺の被害、捕獲に関して市はもっと捕獲要求をすること。メスシカ対策。鳥獣も侵入者として処分できるはず)</li> </ul>   |   |
| 山家    | <ul style="list-style-type: none"> <li>抜本的対策をしてほしい(イノシシ、シカ)。シカは柵を飛び越えてしまう。</li> </ul>   |   |
| 東八田   | <ul style="list-style-type: none"> <li>有害鳥獣駆除に自治会が一定額を補助金として猟友会に出している。しかし、対策には追いつかない。</li> </ul>  |   |
| 西八田   | <ul style="list-style-type: none"> <li>抜本的対策を(集落での対応は限界)</li> </ul>   |   |
| 吉美    | <ul style="list-style-type: none"> <li>クマの出没がある。「クマ情報」の内容について、場所が特定できる内容とならないか。</li> </ul>  |   |
| 志賀郷   | <ul style="list-style-type: none"> <li>被害に苦しんでいる。抜本的対策を。</li> </ul>   |   |
| 豊里    | <ul style="list-style-type: none"> <li>アライグマ、イノシシ、キジなどの被害もある。</li> </ul>  |   |
| 中筋・高津 | <ul style="list-style-type: none"> <li>アライグマ、ヌートリア、キジが由良川河川敷で害を。由良川河川敷の草刈を。合わせて、電気柵設置を</li> </ul>   |   |

### 農林業問題

| 地区区分 | 具体的内容   | 回答・対応 |
|------|---|-------|
| 奥上林  | <ul style="list-style-type: none"> <li>米価の下落、利益が上がらない。今年の米価なんとか上昇を。</li> <li>人口減で水田の管理が困難。</li> <li>高齢化による担い手不足。奥上林は山の産業で栄えてきた。地域振興に林業をつなげられないか。</li> </ul> | (ご意見) |

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 中上林 | ・高齢化率 50 パーセント地域では、担い手や集落営農だけでは農地も地域農業も守れない。「上林ファーム」のような農業生産法人を作る必要がある。   | (ご意見)   |
|     | ・林業一筋でやってきたが、まったく将来が見えない。20、30 年生の杉が鹿の皮剥ぎでやられる。保育間伐は 100 年の木でも 1 年毎に手を入れないとダメになる。間伐保育事業に力を入れてほしい。                                     | (ご意見)   |
| 口上林 | ・農業後継者、農業生産価格の問題。自民党が農政を変革し、保護農政へ転換を<br>・農業後継者を決めて、農地を集積していかなければならない時期だ。  | (ご意見)   |
| 山家  | ・農業用水不足(下替地)防火水槽の補給水も含め、由良川からの揚水を希望する。後継者が出来たが、農業用水不足で自由に耕作できない。  | 【地元市議が対応】   |
|     | ・生産森林組合に関して困っている。森林守るなら、もっと行政が資金を出さないと高齢化の中では困難。  | 《要望書を提出》  |
| 東八田 | ・圃場整備に高い投資した。荒らさずに営農できる方策を講じて欲しい。   | (ご意見)   |
| 西八田 | ・燃料高騰でやってゆけない。農業者に対する施策のさらなる充実を。<br>・米価問題も不満。JAはもっと上手に販売して欲しい。  | ・米屋さんの話を聞くと、米価問題は流通の問題でもある。米が大型スーパーに大量に回っていることが米価下落に拍車をかけていないか。JAとも連携をして、綾部の農産物をいかに高く売めるのか考えたい。 |
|     | ・「道の駅」を作って野菜販売で農業振興を。綾部は 27 号線沿いにそういうものが何も無い。   | (ご意見)   |
|     | ・集落営農協議会に対する支援が何も無い。育成の姿を見せて欲しい。  | ・協議会設置の目的を明確にして参集が必要。内容によっては補助金も必要か。  |
| 吉美  | ・農業後継者不足への対策を。<br>・農地の今後に対して話し合う機会が必要では。  | (ご意見)   |
| 志賀郷 | ・農村が崩壊すれば農業も崩壊する。農業の担い手の育成、集落営農の担い手育成、都会から農村へ行き、農業をしたい人が多くいる。<br>・振興協議会を立ち上げたが、これらが機能的に働くには行政としてどのように対応するのか。それぞれの地域の実情に基づく政策提言をして欲しい。 | (ご意見)   |
| 物部  | ・新庄大池の改修工事が来年度実施されるが、この間、工期の延長が何回もあり、農地保全に影響。   | 【地元市議が対応】   |

|       |  |           |
|-------|--|-----------|
|       | ・高齢過疎化により耕作地の放棄、営農組合の後継者難等があり、限界集落に近い状態だ。  | (ご意見)     |
|       | ・耕作放棄地の現況を見据えて、取り組むべきだ。「農地銀行(バンク)制度」はどうなっているのか?                                      | 《要望書を提出》  |
|       | ・国や府の農業政策をただ受け継ぐだけでなく、綾部市独自の農政を立てて欲しい。   | (ご意見)     |
|       | ・原材料の高騰と米価の安値により大変厳しい状況。   | 《要望書を提出》  |
| 豊里    | ・農道の舗装をお願いしたい。   | 《要望書を提出》  |
|       | ・栗村井堰の保全(老朽施設保全に支援を。受益農家が減少し、農家負担が過重)  | 【地元市議が対応】 |
|       | ・下位田地区は井堰と府道の歩道が平行している。府道改修で井堰も一緒に改修できないか。   |           |
|       | ・栗用水の漏水がある。  |           |
|       | ・農業用水管、パイプラインが整備されて3年しか経過していないのに破裂する。毎年十数万円必要で、現在は「農地・水環境対策」で経費を捻出しているが、今後の心配。       |           |
|       | ・米価が低すぎる。意欲もわかない   | (ご意見)     |
|       | ・農業一筋だが、30年ぶりに乳価が上がった。飼料価格は50パーセントもUPしている。昨年は日本で1300戸の酪農家が廃業した。このままでは、日本の酪農はなくなるだろう。 | (ご意見)     |
|       | ・専業農家を育てて欲しい。10年したら、田畑や河川を守るものがいなくなる。市は一つの方針を立て、専業農家を育成することを願う。                      |           |
|       | ・若い農業者や若者が農村に残れる農業と農村づくりをしてほしい。  |           |
| 中筋・高津 | ・上延大池の堤体が危険、何とかならないか。  | 【地元市議が対応】 |
|       | ・米価低迷。少ない年金を農業につき込んで何とか続けている。  | (ご意見)     |
|       | ・高津農林組合は、年間200万円の赤字で、役員のなり手がいない。   | 【地元市議が対応】 |

#### 国道問題

| 地区区分 | 具体的内容                                     | 回答・対応     |
|------|---|-----------|
| 山家   | ・国道27号と府道1号線交差点付近の歩道が危険、段差の改修と注意啓発看板の設置を。 | 【地元市議が対応】 |

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 西八田 | ・国道27号線拡幅事業の現状は、オムロンまでの計画になっているはずだ。いつになったら下八田公会堂まで来るのか？ | ・具体的な工事計画は下八田公会堂まで。それ以北は示されていない。用地買収も含め、国に進捗状況の報告を求める。国は地元協力を優先して整備する方針。《要望書を提出》 |
| 綾部  | ・国道27号と国道173号の交差点から綾部大橋交差点までの間に横断歩道や信号機の設置を             | 【地元市議が対応】  |
|     | ・173号交差点から旧京都交通(南海団地入口)までの拡幅。地元も署名を集め要望したが進んでいない。       | 【地元市議が対応】  |
|     | ・斎神社から京セラまでの拡幅工事促進を                                     | 【地元市議が対応】  |

### 府道問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応  |
|------|--|--|
| 奥上林  | ・[府道1号] 国道昇格の進捗を。<br>・[綾部美山線] 洞峠の開通を。交流事業の活動は、陵寄町だけでなく奥上林全域での位置付けを。          | ・国道昇格は道路法5条に規定されている一般国道の要件、現在の一般国道網の状況、他の要望路線との優先度合いを総合的に勘案して検討することとされている。<br>・一般国道の追加指定は平成4年に111路線が指定されて以降、指定されていないが、地域要望として今後も上げていき、実現に向けて努力したい。《要望書を提出》 |
| 中上林  | ・真野～大町間の府道1号線の早期改修を<br>・舞鶴和知線は畑口の用地買収は進んだが、道路工事が進捗しない。中丹東土木事務所に要請したが何の指示もない。 | 《要望書を提出》   |
|      | ・菅坂峠のゴミの不法投棄の指導強化を。舞鶴側はフェンスを立てている。   | 《要望書を提出》   |
|      | ・府道1号線のバイパス整備は進捗していない。一方、圃場整備も合意が困難。   | 【地元市議が対応】  |
| 口上林  | ・上杉和知線の早期整備(上林断層があり、地震被害時の避難路として重要。トンネル工事を。上林が一つになり大運動を。ルート早期決定を)            | ・京都府に対し早期整備を要望すると共に、整備の計画・実施状況を聞きます《要望書を提出》  |
|      | ・府道1号線の国道昇格運動を   | ・対策協議会と運動を強化します。   |
| 東八田  | ・物部梅迫停車場線の高槻交差点は大変危険。通過車両1日3600台。信号機設置と改修工事を                                 | 《要望書を提出》   |
|      | ・浜福知山線の牛放牧場対策と早期の府道改修を   | 《要望書を提出》   |
| 吉美   | ・福知山綾部舞鶴線(里～位田)のバイパス計画の進捗状況は？  | 《要望書を提出》   |

|       |   |   |
|-------|---|---|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多田町は綾部インター線、広域農道等の主要道路により、生活圏が分断されている。近年、交通量が増大し、通過車両のスピードも速く、危険性が増している。特に多田公会堂付近の安全対策を要望しているが進展が見られない。</li> </ul>  | 《要望書を提出》  |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部インター線(点滅信号)交差点が危険。改良を求める。(有岡町)</li> </ul>   | 《要望書を提出》  |
| 志賀郷   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環日本海時代の到来に備えて、道路ネットワーク整備必要。志賀郷地区はほとんどが行き止まり。発展のために、登尾峠の開通促進をしてほしい。</li> </ul>   | 《要望書を提出》  |
| 物部    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物部五叉路問題の早期解決を</li> </ul>  | 【地元市議が対応】   |
| 豊里    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部大江宮津線の拡幅計画の早期着工と地元への情報提供を</li> </ul>  | 【地元市議が対応】   |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞鶴綾部福知山線に横断歩道を(旭が丘の入り口)</li> <li>・小西西坂線の鍛冶屋～小畑間に防犯灯を設置してほしい。</li> </ul>   | 《要望書を提出》  |
| 中筋・高津 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府道福知山綾部線から農道へ抜ける箇所に横断歩道を設置してほしい。</li> <li>・協立病院前とホンダセンター前仲前が工事途中で府道が危険。早期着手を。</li> <li>・三俣綾部線の早期拡幅を</li> <li>・三俣綾部線から安場田野線の田野町への急カーブは通行車両も多く危険。改良をしてほしい。</li> </ul>                             | 《要望書を提出》  |
| 綾部    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広野綾部線(野田地区)の早期改良を</li> </ul>  | 《要望書を提出》  |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山手線(上野・田野)の交差点改良を。子どもの通学路であり危険だ。巨視改良して欲しい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幾度も府に要望している。今後も要望する。《要望書を提出》</li> </ul> |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部大橋に冬季の融雪材の散布がない。</li> <li>・朝のラッシュ時に並松側の交差点が危険。</li> <li>・綾部大橋の一方通行、バイク程度は時間制限で東行きの通行を認めてはどうか。</li> <li>・2mの高さ制限は必要なのか。除雪車も通れない。</li> <li>・橋下の防犯対策のために、橋下に防犯カメラ設置はできないか？学生がたむろしている。</li> </ul> | (ご意見)   |

#### 市道問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応   |
|------|--|---|
| 口上林  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・十倉向町への市道橋の改修を</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市へ老朽橋対策について要望する。《要望書を提出》</li> </ul> |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域農道の除草を</li> </ul>      | (ご意見)   |



|       |   |                               |
|-------|---|-------------------------------|
| 山家    | ・下替地の市道橋整備、由良川までの近接道の整備を(カヌーの発着場、キャンプ場の良い場所がある)                   | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・橋上地区の市道(約5キロ)の影切りが、高齢化が進み困難になっている。シルバー人材センターへ委託などは出来ないか。(受戸～橋上間) | 《要望書を提出》                      |
| 東八田   | ・八田川改修に合わせて、市道橋も改修を   | 《要望書を提出》                      |
| 西八田   | ・上谷は道路幅員が狭いので拡幅を  | ・上谷～鷹栖間の狭小区間、離合場所が必要。《要望書を提出》 |
| 吉美    | ・高津旭線の安全対策(桜が丘～多田)として、歩道の設置を                                      | 《要望書を提出》                      |
|       | ・高倉町太子堂付近の側溝改善、道路拡幅を要望。<br>・鹿ノ子橋付近交差点の構造上の問題有り。ガードレールにより、死角があり危険。 | 《要望書を提出》                      |
| 志賀郷   | ・市道古路線の古路峠の拡幅改修の状況説明を。進捗状況はどのようになっているのか。(5ヵ年・650mを舗装。側溝付)         | 【地元市議が対応】                     |
| 物部    | ・市道整備要望が多くある。   | 【地元市議が対応】                     |
| 豊里    | ・旭が丘自治会への進入道路の拡幅を   | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・市街地南北の道路アクセス。綾部駅は高架対応できている。市街地の高架を                               | (ご意見)                         |
|       | ・小貝橋が出来て便利になった。次は府道福知山綾部線へのアクセス改良を。                               | 《要望書を提出》                      |
| 中筋・高津 | ・一旦停止線がない道路が多い。   | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・大島上延線(井上外科の後ろ)、岡上延線(上原幸一様宅の前)にガードレール設置を                          | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・高津小貝線の拡幅工事を。拡幅が困難なら、離合可能なように用地買収をしてほしい。                          | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・府道から広域農道へ出る道に信号機を3箇所設置してほしい。(井倉・日東北、安場川、下水処理場)                   | 《要望書を提出》                      |
|       | ・岡団地3号線、安部田様宅前の曲がり角が危険。一旦停止線を                                     | 【地元市議が対応】                     |
| 綾部    | ・笠原神社へ向かう市道の抜本的拡幅改修を。「すぐやる事業」で側溝と舗装の補修をしたが、かえって危険になっている。          | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・水道工事で笠原神社周辺を埋め戻しているが、陥没箇所もあり危険だ。対策を。あわせて、側溝も整備されたい。              | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・オムロン寮のところの市道に水が溜まる。水平にして欲しい。                                     | 【地元市議が対応】                     |
|       | ・ホテル綾部下のところに溝蓋を。  | 【地元市議が対応】                     |

|  |           |
|--|-----------|
| ・西町踏切の山陰本線側の工事施工が悪い。工事監理の徹底を。  | (ご意見)     |
| ・並松町 8 組 (■■■■ 様宅前) の線路脇の側溝整備をお願いしたい。                                    | (ご意見)     |
| ・新町通りへ通勤時の流入車両が増加している。   | (ご意見)     |
| ・井倉町内の市道砂利道や側溝未整備等、集落内の市道整備が遅れている。一度すべて点検し、改修要望を(寺の北側市道)                 | 《要望書を提出》  |
| ・井倉町 6 組は、市道整備のお陰で街づくりが進んだ。他の集落も見直すべきだ。                                  | (ご意見)     |
| ・原材料支給事業に関して、村の道作りのため、例年、市から碎石をもらっているが、2 ㎡もらうことさえ、市は難しく言う。地域の活動に支援して欲しい。 | 【地元市議が対応】 |

#### 交通安全問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応             |
|------|--|-------------------|
| 山家   | ・あやバスについて、和知との連携を、1日1便でも良いので運行を。市は南北線など新規路線を作りながら、一方で従来あった国道沿線の運行を廃止した。            | 《要望書を提出》          |
| 吉美   | ・綾部大江線の区域内市道の追い越し禁止の設定   | 《要望書を提出》          |
|      | ・桜が丘 1 丁目、2 丁目の交差点に信号機の設置を。交通安全対策が急務。桜が丘から降りてきたところ。                                | 【地元市議が対応】         |
|      | ・桜が丘団地は近い将来、通学生の急増が予測される。スクールバスを考えて欲しい。雨の日には、桜が丘からの自転車等での通学生は一人もいない。保護者が送迎に当たっている。 | 【地元市議が対応】         |
|      | ・あやバスが予約式で、2時間に1本では不便。せめて利用が集中する時間帯は1時間毎の運行を求める                                    | 《要望書を提出》          |
|      | ・交通弱者の課題。高齢により運転免許証を返納した方へのあやバス利用の利便を考えられたい。                                       | 《要望書を提出》          |
| 豊里   | ・綾部大江宮津線の事故が多いので、スピード規制の標識を出して欲しい。(栗町)   | 《要望書を提出》          |
| 綾部   | ・田町から上野町交差点のカーブミラーが下水工事のときに破損。通学路であり、早急改修を。  | ・直ちに改修しました(8月31日) |
|      | ・西町踏切の拡幅後、天神町・若松町・西町からの車両の交通渋滞がひどい。川糸町への車両流入もある。信号設置は?                             | (ご意見)             |

|  |  |          |
|--|--|----------|
|  | ・野田町に踏切設置してほしい箇所がある。以前、市は水道取水口と合わせ、市道整備に着手したが頓挫している。なんとかしてほしい。 | 《要望書を提出》 |
|  | ・JR線、京都から園部までの快速を綾部まで延伸できないか。                                  | 《要望書を提出》 |
|  | ・JR線沿線の除草をして欲しい。   | 《要望書を提出》 |

### 河川問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応   |
|------|--|---|
| 奥上林  | ・山内川が台風被害以来、河床が上がっていないか。浚渫の必要はないのか。  | 【地元市議が対応】                                     |
| 口上林  | ・上林川の汚染がひどい。水質検査を頻繁に。<br>・上林川の葦の繁茂がひどい。農業排水が上林を汚染している。沿川市民も協力を                       | ・「上林川を美しくする会」が主体で、年6回実施し、公表(会報)している。          |
| 山家   | ・由良川上流がカヌー認定コースにならないか。現在、由良川は、戸奈瀬口・立岩までが基幹箇所となっている。                                  | 【地元市議が対応】                                     |
| 東八田  | ・八田川改修に合わせて農道橋の拡幅を<br>・中山町、八田川の泥さらえ、下流もして欲しい。  | 《要望書を提出》                                      |
| 志賀郷  | ・西方川の堤防の草刈を行政で願いたい。現在は年46,000円の補助で地元が実施している。   | 《要望書を提出》                                      |
| 豊里   | ・由良川改修の早期着工を(私市)<br>・堤防が私市は出来ていないので、堤防用地に雑草繁茂。早期に築堤を                                 | ・8月22日に要望書を提出。20年度の計画法線の説明がされる予定。<br>《要望書を提出》 |
|      | ・犀川の除草実施を  | ・西部地区自治会で連合して要望が効果。8月に下流草刈実施済み                |
| 中筋   | ・安場川の葦刈り、泥上げを<br>・井上外科の横、木が茂っている(安場川)<br>・親水公園2箇所にも草が茂っている。<br>・上延上流の護岸工事をしっかりして欲しい。 | 《要望書を提出》                                      |
|      | ・由良川河川敷にグラウンドゴルフ場、サッカー場整備ができないか。   | (ご意見)   |
| 綾部   | ・由良川堤防の除草。堤防から5mしか刈らない。河川の中も刈ってほしい。<br>・川北一様宅前の水路が崩壊。市は法定外公共物として地元でということ。何とか善処できないか。 | 《要望書を提出》                                      |
|      | ・府管理河川である田野川の護岸工事について、府道安場田野線の改修とともに、市畜場の整備時の約束と聞くが、どうなっているのか?                       | 【地元市議が対応】                                     |

|  |   |           |
|--|---|-----------|
|  | ・田野グラウンド横側の谷川、寺西地内の里道水路が豪雨時に溢れる。対応を                   | 【地元市議が対応】 |
|  | ・由良川河川敷の松枯れ対策を<br>・堤防の未完成部分の早期着手を<br>・河川公園(現長前)の除草管理を | 《要望書を提出》  |

### 内水処理問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応     |
|------|--|-----------|
| 中筋   | ・内水処理を的確に。荒倉川用水路が心配。(綾部樋門、高津農道2箇所ですれた)<br>・安場川へポンプアップできるように。 | 【地元市議が対応】 |

### 環境問題

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応             |
|------|--|-------------------|
| 奥上林  | ・河川水質改善の観点からも水洗化を促進すること。   | 《要望書を提出》          |
| 口上林  | ・上谷の厄神さんのところのゴミの不法投棄   | 【地元市議が対応】         |
|      | ・綾部駅前広場に環境市民会議で花の植栽をしたいと申し出たが、市は駄目だと言う。  | 【地元市議が対応】         |
| 山家   | ・浄化槽設置の早期実現を。<br>・JR山家駅構内の除草をして欲しい。口うるさく言わなければやらない。何とかして。<br>・里山が崩壊しかけている。竹やぶが山林にまで繁茂している。小動物の生息環境をつくるために、竹の伐採を継続して。<br>・神社のどんぐりを山林に撒いている。 | 《要望書を提出》<br>(ご意見) |
| 東八田  | ・養鶏場の問題の解決を。死鶏の処理が不自然だ。府へ聞いても適正管理との回答だが、業者指導は適正実施されているか。   | 【地元市議が対応】         |
| 吉美   | ・有岡町奥路の産業廃棄物。市は対策を講じるとの事であったが、進んでいない。地元の方だけではどうにもならない。具体的指導を求める  | 【地元市議が対応】         |
|      | ・資源回収保管庫の設置事業が一向に進んでいない。燃えるゴミの中に多くの資源がゴミとして捨てられている。集積所を設置しやすい状況を整えられたい。  | (ご意見)             |
| 志賀郷  | ・志賀自治会内の暗渠排水の拡大。内水処理で困っている。  | 【地元市議が対応】         |
| 物部   | ・西坂牧場の悪臭対策について関係者の説明はあるが、対処した結果の報告がない。   | 【地元市議が対応】         |

|    |   |           |
|----|---|-----------|
| 豊里 | ・綾部への観光客を増やすためには、公衆便所が不足している。                                       | (ご意見)     |
|    | ・民有地の除草、高齢化で困難なところも。  | (ご意見)     |
|    | ・家庭用の排水が田んぼに入るが何とかならないか。<br>(果上自治会)                                 | 【地元市議が対応】 |
| 中筋 | ・地球環境からも、山を守る政策を(高津)  | (ご意見)     |
|    | ・福知山市民が福知山のゴミ分別は厳しいが、綾部は良いと言っている聞く。                                 | (ご意見)     |
|    | ・上延町巨寺地区から落ちてくる水が、上延町前田、沢のあたりにたまって浸水する。                             | 【地元市議が対応】 |
|    | ・配水池の桜植樹について、桜の管理は市が行う約束だった。除草をきっちりしてほしい。                           | 《要望書を提出》  |
| 綾部 | ・古紙回収保管庫の設置事業が進まないのは、地域での管理者が決められないこと。設置場所も難しい。良いことと分かっているでも取り組めない。 | (ご意見)     |
|    | ・自治会未加入者に対するクリーン大作戦などの参加啓発はどうしているのか。もっと宣伝が必要ではないか。                  | (ご意見)     |

### 情報化問題

| 地区区分 | 具体的内容   | 回答・対応   |
|------|---|---|
| 奥上林  | ・携帯電話の不感地域、ブロードバンド非導入地域の解消を。<br>・地デジ導入。遠隔の自治会からアンテナ線の延長をするが、電柱使用料が年15万円。公的補助ないか。  | ・民政会、創政会、四方源太郎で「情報化対策プロジェクトチーム」(木下芳信座長)を組織し、対応に当たる。<br>《要望書を提出》 |
| 中上林  | ・地デジの問題、オフトークの更新にNTTは消極的。今後どうするか課題だ。  |   |
|      | ・携帯電話と光ファイバーインフラは整備促進を願いたい。オフトークはこれからの情報インフラではない。これからの世代に対応できる情報インフラの整備を<br>・オフトーク通信に変わる新型システムがある。行政に補助事業としての対応を要望している。 |   |
| 山家   | ・地デジ、光ファイバーを早期整備をされたい。地デジは国が決めたもので住民は被害者だ。市の対応は？山家は地デジ、光ファイバーも地域格差が激しい。   |   |
|      | ・地デジ共聴組合から脱会者が出た場合、補助金返還は？NTTと関電、どちらの光回線を契約するのが良いのか。橋上地区は携帯すら入らない。何とかして。  |   |

|     |  |  |
|-----|--|--|
| 東八田 | ・オプトーク通信の運営補助が減額に。機器更新時に補助はないか<br>・(地デジ対策)接部市の事業計画、補助内容を教えて欲しい。  |  |
| 吉美  | ・情報化の課題。現有の有線放送設備は、吉美地区世帯の 50%に限られたサービス。無線を活用した情報伝達システムを考えてはいかがか。<br>・無線情報システムとして「エリアトーク」を参考にして。<br>・有線放送設備が桜が丘には無い。非常時の情報伝達手段が必要。無線を活用したシステムを考えて。 |  |
| 志賀郷 | ・金河内では携帯電話が繋がらない。対策は？  |  |
| 物部  | ・有線放送の老朽化と今後の対応について  |  |

#### 地域振興・地域活性化

| 地区区分 | 具体的内容   | 回答・対応          |
|------|---|----------------|
| 奥上林  | ・[水源の里の取り組み] 高齢の村に元気が出ている。<br>・峠の売店は 1 日 50 人前後の来店で活気が出ている。市に感謝している。マイナス思考はダメ。<br>・子ども、孫の帰りを頑張って待っている。Uターン促進できないか。<br>・現住の若者の現状、消防分団の定員充足は。<br>・若い人が働ける職場を地元で確保したい。 | (ご意見)          |
| 中上林  | ・中上林に工場を誘致して働く場の創出をして欲しい。<br>・接部への流入人口対策に力を。定住して良さが理解できる。   | (ご意見)<br>(ご意見) |
| 志賀郷  | ・水源の里アンケートを実施したが、前向きな答えがない。現在 25 軒が、10 年後には 10 軒になる。浄化槽設置も進まない。(内久井)  | (ご意見)          |
| 物部   | ・的場団地の売れ残りの対策を  | 【地元市議が対応】      |
| 中筋   | ・開発は止まっているが、宮本商事の山の開発を「ペット霊園」にしてはどうか？   | 【地元市議が対応】      |
| 綾部   | ・味方の産業廃棄物処理場跡地が広大だ。行政としての利活用を検討して欲しい。<br>・開拓地の八田方面へ抜ける市道、27 号線のバイパス的な利用で交通量も増えた。整備の検討を  | (ご意見)          |
|      | ・味方町の京都交通跡地に企業誘致を   | (ご意見)          |
|      | ・駅北側の土地開発公社用地の利用計画は？  | 【地元市議が対応】      |
|      | ・イワサキ印刷横の空き地を今後どうするのか？  | 【地元市議が対応】      |

|  |           |
|--|-----------|
| ・月見町石畳整備は良いが、市は道路計画だけで、その他の長期ビジョンがない。将来、月見町をどのようにするのかの計画作りが大事。   | (ご意見)     |
| ・西町商店街は対面販売の特色を生かして、店先に車が駐車できるようになれば良いのでは。   | (ご意見)     |
| ・何か事業をやろうとするときには、住民の意見を聞いて実施する手法をとるべきだ。  | (ご意見)     |
| ・西町近代化事業によって個店は莫大な借金を背負っている。アーケード負担も重荷。  | 【要望書を提出】  |
| ・若者のUターン促進を。若者が働ける場所を。<br>・公共マナー条例を作ればどうか。京都市は路上タバコ禁止条例を作っている。<br>・高齢夫婦や独居高齢者が綾部地区でも増加。地域内コミュニティをもっと活発化させる必要がある。<br>・綾部踊りをもっと踊りやすくして活発化させてはどうか | (ご意見)     |
| ・大本通りの古民家再生助成金事業の内容は。今後とも進めてほしい。   | 【地元市議が対応】 |
| ・若者は未婚、ニートが増加。日本の将来が心配。日本の産業自体がだめになる。  | (ご意見)     |
| ・若者が夢のある仕事につける社会にして欲しい。  |           |
| ・後継者の問題がある。子どもの世代が心配だ。   |           |
| ・井倉夏祭りは10年の継続によって、地域の連帯が増している。子どもに思い出を作ってやるのが大切。   | (ご意見)     |
| ・綾部にはランドマークがない。綾部の特色ある取り組みや特産品開発を。   | (ご意見)     |
| ・高齢化が進んでいて、街づくりが困難。青年団もあるが、活発化させねば。  | (ご意見)     |

### 防災・耐震化・消防

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応     |
|------|--|-----------|
| 山家   | ・鷹栖の砂防堰堤の土砂除去。府は大丈夫というが。                     | 【地元市議が対応】 |
| 東八田  | ・鳥居野公民館は避難場所になっているが、老朽化で非常に危険。耐震化工事は？        | 【地元市議が対応】 |
| 忠賀郷  | ・金河内の粟師堂が土砂崩れで崩壊。修理費用の補助制度はないか。(現在170万円で補修中) | (ご意見)     |
|      | ・防災避難場所である篠田公民館の裏山の急傾斜地対策について                | 【地元市議が対応】 |
|      | ・篠田町の緊急避難場所である「宮岡広場」への進入道路(農道)の拡幅について        | 【地元市議が対応】 |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 物部 | ・急傾斜地崩壊対策事業、補助事業による地元負担割合、他市に比較して高い。他市並みにしてほしい。                         | 《要望書を提出》                                    |
|    | ・西部消防分遣所の要望。昼間の消防職員の出勤体制は何名ぐらいか。  | 【地元市議が対応】                                   |
| 豊里 | ・子ども110番の家に指定されたが、その後、アンケートや問い合わせも何もない。指定されているだけ。もっと真剣に防犯対策を。           | 《要望書を提出》                                    |
| 中筋 | ・防犯灯が少ない。(上延)   | ・市から自治会への補助事業がある。自治会へ要望し、自治会で対応を協議していただきたい。 |
| 綾部 | ・国道27号線沿線(北原建設倉庫付近)の後背地が急傾斜地で危険。また、墓地周辺も急傾斜で危険。京都府に要望したい。               | 【地元市議が対応】                                   |
|    | ・南海団地下は大雨が降れば国道へ水が溢れている。流末水路の口径が細い。                                     | 【地元市議が対応】                                   |
|    | ・消防団員になつてくれない。勧誘の有効手段は？   | (ご意見)                                       |
|    | ・自主防災組織、非常時に機能するか心配だ。自治会内での訓練が必要。                                       | (ご意見)                                       |
|    | ・個人情報保護の壁で、住民の把握が困難   | 《要望書を提出》                                    |
|    | ・家庭用火災報知器の設置普及を   | (ご意見)                                       |
|    | ・ハザードマップにAED設置場所を記載して欲しい。   | 【地元市議が対応】                                   |
|    | ・災害時にどこがターミナル機能を果たすのか？避難所に情報ターミナル機能が必要だ。台風23号の避難時には関係機関がバラバラに同じ動きをしていた。 | (ご意見)                                       |

#### 高齢化・医療・福祉

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応   |
|------|--|---|
| 奥上林  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥上林診療所の患者送迎が限界を迎えている。代替手段を地元で検討中。</li> <li>・フロンティアの送迎ボランティアは、運転ボランティアが足りない。</li> <li>・訪問介護のスタッフ少ない。</li> <li>・奥上林地域では、NPO法人ふきのとうが介護、地域ボランティア、いこいの場の提供の役割を担っている。介護の現場から地域を見ているが、地域には底力がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥上林診療所の患者送迎については、奥上林地区自治会連合会とあやべ福祉フロンティア奥上林支部が協力して、平成20年11月から診療所の開所日である毎週木曜日の午後、フロンティアの運転ボランティア1名が診療所に待機し、送迎に当たることになっている。</li> <li>・奥上林地区自治会連合会では、フロンティアの運転手不足への対応として、全自治会に対し、ボランティア協力の要請を行った。</li> </ul> |



|     |  |   |
|-----|--|---|
| 口上林 | ・高齢化に対する共助の組織、グループ作りが必要                            | (ご意見)   |
| 西八田 | ・JA跡地の高齢者福祉施設の整備について、いつ? どんなものを? 整備するのか            | ・市内の福祉事業者がすでに物件を取得され、平成 23 年度までに小規模多機能型介護施設整備を予定。                       |
| 吉美  | ・「里ふくしの会」のように町区単位で福祉組織を立ち上げられるよう全市的な取り組みを。         | (ご意見)   |
| 物部  | ・物部地区には診療所がない。設置を要望したい。                            | 【地元市議が対応】   |
|     | ・慢性期医療を 3 ヶ月で退院させられ、次の医療機関探しに四苦八苦。対応を考えて欲しい。       | 《要望書を提出》  |
|     | ・老人の憩いの場作りを考えて。<br>・高齢化で過疎化が著しい。                   | ・市地域福祉活動事業費補助金を現実に合わせて補助金の使途を広げ、使いやすい補助制度にする必要があると綾部市に要望する。<br>《要望書を提出》 |
|     | ・頑張ってきたが、高齢者になり、将来の不安が大きい。福祉や医療に金を回して、安心できる社会の実現を  | (ご意見)   |
|     | ・フロンティアの福祉移送活動は、高齢者のためにしっかりと頑張っておられる。市民の理解をお願いします。 | (ご意見)   |
|     | ・市中心部と周辺地域との大きな格差を感じる。格差解消に努力してほしい                 | (ご意見)   |
| 豊里  | ・介護施設は長期に入れる施設が少ない。やむを得ず、三田市の病院まで連れて行っている。         | 《要望書を提出》  |
| 綾部  | ・後期高齢者医療制度の導入で、国保料が上がると聞くが本当か?                     | 【地元市議が対応】   |
|     | ・ガンリン代高騰。生活が苦しい。何とかならないの?                          | 《要望書を提出》  |

#### 子育て・教育全般

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応     |
|------|--|-----------|
| 東八田  | ・東八田幼稚園の継続を  | 【地元市議が対応】 |
|      | ・放課後学童保育所の早期開設を  | 【地元市議が対応】 |
| 西八田  | ・綾部球場にナイター照明設備を  | (ご意見)     |
|      | ・綾部球場に広告看板を募集すればどうか?                                     |           |
|      | ・東八田、西八田、吉美での幼児園化の促進を                                    | 【地元市議が対応】 |
| 志賀郷  | ・阿須須岐神社祭礼(無形文化財)の保存、伝承が子どもの減少につき困難に。今後どのように維持するのか。市の対応は? | (ご意見)     |
|      | ・小学校統合の阻止、複式学級の阻止のため、地域でUIターンの促進に努力している。協力してほしい。         | 《要望書を提出》  |

|    |  |           |
|----|--|-----------|
| 中筋 | ・児童公園など、遊び場が少ない。<br>・子どもの遊び場が少なく、三段池公園へ行っている | (ご意見)     |
|    | ・中筋幼児園の自中の防犯設備はどうか？<br>・中筋幼児園の駐車場が狭い。        | (ご意見)     |
|    | ・親のマナーが低下している                                | (ご意見)     |
| 綾部 | ・小中学校の耐震化工事は早急に実施を                           | 【地元市議が対応】 |
|    | ・荒れる学校。背景には家庭の問題がある。家庭の位置付けを示しては。            | (ご意見)     |

都市計画・下水道・上水道・公営住宅

| 地区区分 | 具体的内容   | 回答・対応     |
|------|---|-----------|
| 綾部   | ・市の都市計画を5年ごとに見直しているが、市はその都度、地元説明して協議をするべき。                | (ご意見)     |
|      | ・都市計画法の調整区域と市街化区域の区分が井倉町ではあいまいだ。                          | (ご意見)     |
|      | ・都市計画道路の本宮豊里線。今後どうするのか方向性を示せ。すでに開発業者が家を建ててしまった。           | 《要望書を提出》  |
|      | ・都市計画道路の西行き市道が狭隘で通行困難。                                    | 《要望書を提出》  |
|      | ・下水道工事の進捗はどうか。<br>・旧町内の浄化槽補助制度がなくなった。                     | 《要望書を提出》  |
|      | ・建築許可の規制が厳しく、家の改築が出来ないところがある。規制緩和できないか？                   | (ご意見)     |
|      | ・府営住宅に住んでいる独居老人の実態は？<br>・表札もない世帯へ自治会がどう対応すれば良いのか          | 《要望書を提出》  |
|      | ・雨漏りがひどい府営住宅に対する府の対応が不親切。きっちり行政対応を。                       | 《要望書を提出》  |
|      | ・府営住宅の空家管理をしっかりして欲しい。不法侵入もある。管理費を府から自治会がもらえばどうか。          | 《要望書を提出》  |
|      | ・火災報知機の取り付け負担。公営住宅は管理者の責任で設置を願いたい。                        | 《要望書を提出》  |
|      | ・向う三軒両隣の精神。府営住宅では、ボツンと独居老人が住んでいるケースも。自治会での対応困難。緊急時の高齢者対策を | 《要望書を提出》  |
|      | ・味方町 17 組(味方平)に広大な遊休農地がある。調整区域をはずして開発をすればどうか。             | (ご意見)     |
|      | ・味方町 16 組は調整区域となっている。開発許可の対象集落となっているか？                    | 【地元市議が対応】 |

|     |   |           |
|-----|---|-----------|
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫水ヶ丘公園に樹木が生い茂り、何とかして欲しい。ボランティアで整備するにも限界が有る。</li> <li>・紫水ヶ丘公園内の樹木の伐採を早急にすること。市は公園を基本的にどのように考えているのか。</li> <li>・秋葉神社までの参道にサツキが覆いかぶさっている。見通しも悪く危険だ。また、参道は砂利道で、降雨時には水路になっている。検討を。</li> </ul> | 《要望書を提出》  |
|     | ・以前に国際広場として市土地開発公社が用地取得した土地の整備が遅れている。   | 《要望書を提出》  |
|     | ・味方地区が公共下水道の計画区域にありながら予定が立たないとはいかがなものか。各家庭での予定もあり、将来の水洗化計画を示して欲しい。  | 《要望書を提出》  |
|     | ・終末処理場が高津にあるのは、由良川河川の関係で建設省と協議したのか。   | 【地元市議が対応】 |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管の劣化が著しい。特に国道・27号、笠原神社周辺、16組の旧亀井織物付近</li> <li>・根本的に点検してもらったが、再度お願いしたい。</li> </ul>   | 【地元市議が対応】 |
| 志賀郷 | ・市街化調整区域の緩和について   | 《要望書を提出》  |
| 吉美  | ・吉美地区は逆線引きして、白地地域にして欲しい。  | (ご意見)     |
|     | ・高倉町の下水道事業が進んでいない。若者は水洗化を強く望んでいる。   | 【地元市議が対応】 |
| 豊里  | ・上水道未普及地域(館町)がある。21年度以降ということだが、地域の要望に真剣に取り組んで欲しい。   | 《要望書を提出》  |
| 山家  | ・逆線引きを希望している  | (ご意見)     |

#### 商工業・雇用

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応 |
|------|--|-------|
| 山家   | ・団塊世代も含めて、働く場の確保を  | (ご意見) |
| 綾部   | ・工業団地からの地元発注を積極的に進めて欲しい。                                       | (ご意見) |
|      | ・建設業は公共事業発注減の影響を受けて大変厳しい。いまさら業態転換も出来ない実態がある。                   | (ご意見) |
|      | ・福知山は動いているという感じ。福知山と綾部との違いは何かを明確にすべきだ。福知山経済の躍動感に比較して、綾部は元気がない。 | (ご意見) |

#### 行政全般・公共施設

| 地区区分 | 具体的内容  | 回答・対応     |
|------|--|-----------|
| 吉美   | ・公民館施設のリフレッシュを要望。市農業振興センターは壁根改修だけでなく、建物全体に目を向け、不良箇所の改善を。(塗装など) | 【地元市議が対応】 |

|    |  |           |
|----|--|-----------|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜が丘団地に親子でキャッチボールできる様な場所を身近なところに作って欲しい。</li> </ul>  | 【地元市議が対応】 |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊び場が少ない(里・有岡)</li> <li>・古美小学校では消防訓練等もあり、グラウンドの照明をつけてほしい。</li> <li>・小学校校舎内のバリアフリーが出来ていない。</li> </ul>                              | 【地元市議が対応】 |
| 豊里 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊里小学校が出来て、土砂が用水や民有地に流れ込んでいる。市教委は地元負担を求めているが、いかがなものか？原因は市教委ではないか。</li> </ul>  | 【地元市議が対応】 |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年要望を出すのが、同じ回答ばかりだ。</li> </ul>   | (ご意見)     |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会で軽油の減免が受けられることが分かった。農家に役に立つ情報を行政は提供するべきではないか。</li> <li>・圃場整備事業でも、市は少しも明確な答えを言わない。もっと勉強して農家や住民の生活の安定のため、説明をしっかりとすべきだ。</li> </ul> | (ご意見)     |
| 綾部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT ビルの使用料が高い。空いている部屋もある。もっと利活用を促進すべきだ。</li> </ul>  | (ご意見)     |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政が厳しいのは理解できるが、優先順位を決めて、進めるべきは進めて欲しい。</li> </ul>   | (ご意見)     |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員のマナーが悪い。タバコのポイ捨て、通勤途上でタバコを道路に捨てている職員がある。</li> </ul>   | 【地元市議が対応】 |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部市はお金を取ってくるのが福知山市に比較して下手だ。</li> </ul>   | (ご意見)     |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画にしる、農業問題にしる、行政職員や市議会議員は地域でもっと話し合いをするべきだ。地域の実情を把握できていない。</li> </ul>   | (ご意見)     |

第5号の2様式(第7条関係)

政務活動費領収書貼付用紙

|           |  |     |      |     |         |
|-----------|--|-----|------|-----|---------|
| 議員氏名(会派名) | 四方 源太郎   |     | 整理番号 | 57  |         |
| 費目        | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請附随等活動費・会議費(資料作成費)・資料購入費・事務所費・事務費・人件費 |     |      |     |         |
| 支払内容      | 御用聞きのお会議事録作成費  |     |      |     |         |
| 支払金額      | 86,460円  | 按分率 | 100% | 計上額 | 86,460円 |
| 按分率の考え方   |  |     |      |     |         |
| 備考        | 成果品添付  |     |      |     |         |

請求書 2012年12月4日

印刷工房あさき

特定非営利活動法人  
自立支援センターいかるがの  
理事長  
〒623-0031 京都府綾部市味方町  
TEL (0773)40-5388 FAX (0773)40-5390

四方源太郎事務所 様

下記のとおり御請求申し上げます

| 品名                                  | 数量  | 単価 | 金額(税抜・税込) | 備考 |
|-------------------------------------|-----|----|-----------|----|
| 1 御用聞き「の会」                          | 300 |    | 86460     |    |
| 2 議事録 輪転機印刷                         |     |    |           |    |
| 3 (A4判) 本誌68頁+表紙 無罫紙                |     |    |           |    |
| 4 本文: 普通紙 両面印刷 1色                   |     |    |           |    |
| 5 表紙: 上質紙四六判 10K 印刷 両面印刷            |     |    |           |    |
| 6 テキスト稿: 変換・輪転機印刷 [リソグラフィ印刷] 印刷代金一括 |     |    |           |    |
| 7                                   |     |    |           |    |
| 合計                                  |     |    | ¥86460    |    |

●京都北部信用金庫西宮支店 電話078-320582  
●郵便振替口座 00390-6-297855  
◆口座振替 特定非営利活動法人自立支援センターいかるがの 振替票 添付済み

税込合計金額 ¥86460

二利用明細票

お取扱日 店番 取扱番号  
02-02-0744007 A93210003  
取扱店 77A  
払込口座 00990-6 287855  
払込金額 ¥86,460 種金 \*0

振替受付票  
払込みの証拠となるものを保存し、大切に保管して下さい。消毀には、消費税等が含まれます。(ゆうちょ銀行)

入金額 \*90,000  
おつり \*3,540

4月からATMの電信振替料金は、1件のご利用につき100円です

印刷振替申告書  
付につき印刷  
向につき印刷  
税務申告書

2019

# 御用聞きの会

議事録

令和元年(2019年)10月5日から11月15日まで、15ヵ所において「御用聞きの会」を開催させていただきました。いただいたご意見、ご要望は議事録にまとめ、自身の目で確認すべき場所には足を運んで現地調査を行った上で、11月27日に京都府中丹広域振興局の綾城義治局長、10月29日と11月21日には府中丹東土木事務所の磯岩潮所長、11月21日に綾部警察署の入澤正二署長、11月27日に綾部市の山崎善也市長にとそれぞれ面会して皆様からの「声」をお伝えしました。(他にも府建設交通部、府農林水産部、関西電力、市社協、松寿苑等にも個別に問い合わせました)

関係部署の皆様には要望内容を真摯に受け止めていただき、1月中旬までに文書等で丁寧な回答をいただきました。その回答を入れたものをこの冊子にまとめ、「御用聞きの会」に参加いただいた皆様に配布して、御礼に代えさせていただきます。

今回実現したこともありますが、まだまだ難しい課題が山積んでいます。それは私が今後取り組むべき課題であると認識しております。

「御用聞きの会」をやってみて、政治家は地元の皆様の「声」によって成長する、と実感しました。これからも「声」を大切にして、「声」の実現のために働く政治家でありたいと思っており、ご要望あれば「御用聞き」に参りますので、遠慮なく、お声かけ下さい!

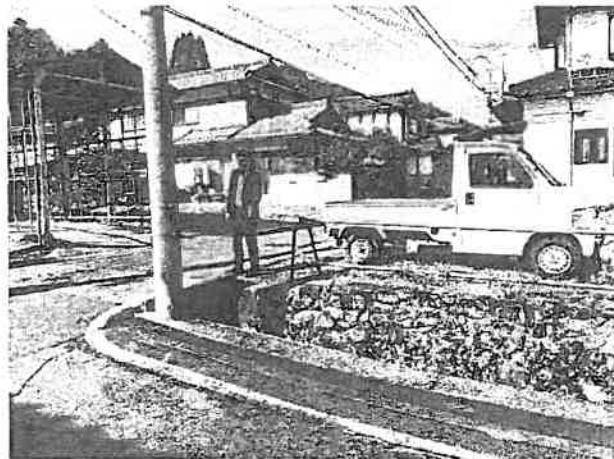
最後になりましたが、「御用聞きの会」の会場設営、参加呼びかけにご協力いただいた皆々様に、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和2年2月

京都市議会議員 四方源太郎



林業者等健康管理センター(奥上林地区)での様子



要望のあった個所を調査(梅迫町)

四方源太郎事務所：〒623-0037 綾都市並松町上溝口 20-3

TEL 43-1001 / FAX 43-0463 / 携帯 090-1966-8819 / メール gen@gentarou.jp

## 目次

|          |    |
|----------|----|
| 中上林      | 1  |
| 物部       | 2  |
| 山家       | 5  |
| 綾部【紫水ヶ丘】 | 10 |
| 東八田      | 13 |
| 志賀郷      | 17 |
| 口上林      | 21 |
| 綾部【ITビル】 | 26 |
| 豊里【私市】   | 29 |
| 中筋       | 33 |
| 豊里【栗・位田】 | 40 |
| 西八田      | 45 |
| 豊里【小畑】   | 50 |
| 吉美       | 56 |
| 奥上林      | 62 |

### 開催日時・会場

- 10/ 5 (土) 11:00～【中上林】上林禪寺(八津合町)
- 10/ 6 (日) 19:00～【物部】下市公民館(物部小学校下・物部町)
- 10/15(火) 19:00～【山家】基幹集落センター(鹿橋町)
- 10/17(木) 19:00～【綾部】紫水ヶ丘新公会堂(紫水ヶ丘)
- 10/21(月) 19:30～【東八田】小嶋公民館(上杉町)
- 10/22(火) 19:30～【志賀郷】志賀郷公民館(志賀郷町)
- 10/24(木) 19:00～【口上林】健康ファミリーセンター(武吉町)
- 10/25(金) 19:00～【綾部】ITビル(西町1丁目)
- 10/26(土) 19:00～【豊里】私市公会堂(私市町)
- 10/28(月) 19:00～【中筋】ふれあいセンター(大島町)
- 10/29(火) 19:00～【豊里】栗上公会堂(栗町)
- 10/30(水) 19:30～【西八田】農村婦人の家(岡安町)
- 10/31(木) 19:00～【豊里】鍛冶屋公民館(鍛冶屋町)
- 11/ 7 (木) 19:00～【吉美】農業振興センター(多田町)
- 11/15(金) 19:00～【奥上林】林業者等健康管理センター(奥上林町)



【中上林】10/5（土）11:00～ 上林禪寺（八津合町）渡辺弘道市議、上林禪寺の檀信徒の皆様50名



◎（渡辺市議）上林川が浅くなっている。山が荒れているのが原因では？上林川には護堤がたくさんあり、大雨の時に川の水が田畑に流れ込むようになっている。その際に、最近では流木や土砂がたくさん入ってきて、水は時間が経てば引いていくが、これらのものは引いていかない。入ってこないような柵を作るとか対策はないのか？

⇒（源太郎）土木事務所に確認してみる。

【回答】土木事務所に確認した結果、護堤の堤体に柵を設置することは堤体を弱めることになるため難しい状況です。流木や土砂の流入については「個別にご相談いただければ、可能な範囲で撤去等の対応を検討したい」とのことでした。

◎（Aさん）上林川の底が上がっている。川乗橋のところにある井堰にもたくさんの土砂が溜まっている。以前に京都府にお願いした時に土砂を持って行く場所があればと言われて、地元で調整したがなかなか場所がなく、苦勞した。城山の整備（草刈り）にお金がかかる。何か補助金はないか？明智光秀の大河ドラマで上林にも観光客が増えないかと期待している。上林城の城跡に案内看板などが整備したい。

⇒（源太郎）京都府の地域交響プロジェクト補助金などを使ってもらう方法もあると思うが、綾部市にも話をしてみます。

【回答】綾部市観光交流課からは「上林エリアの観光資源に係る案内サイン整備については城山（上林城跡）も整備する候補に挙げられています。綾部市としては東部エリアの観光振興や森の京都事業を推進するために案内サインが必要と認識していますが、綾部市単独で実施することが財政的に厳しいため、京都府に支援を要請しています」と回答がありました。今後、京都府の地域交響プロジェクト補助金など、京都府からの支援について、私からも京都府に働きかけますので、地元からも具体的な計画を提案いただければと思います。共に考えていきましょう！



◎（Bさん）これから上林での農業がどうなるのかと心配している。川東全体を面倒みてもらえるような営農組合か農業法人ができてほしい。

⇒（源太郎）本来、農夢はそういったことのために作った農業法人だと思っている。農夢の役割をもう少し考えてみたらどうかと思っている。

◎（Cさん）森林の今後が心配だ。

⇒（源太郎）現在、私は府議会の森林・林業活性化議連の会長であり、自民党府議団では農林水産部会長を務めている。林業振興をしっかりと考えていかなければならない立場であり、そのことは強く認識している。上林には府有林も多く、その活用策をしっかりと考えていきたい。



【物部】10/6（日）19:00～ 下市公民館（物部町）横原秀一市議、種清喜之市議ほか13名

◎（Aさん）犀川の全面的な土砂浚渫、草刈りをしてほしい。川の中に草が生えてヌートリア等が棲みついている。

⇒（源太郎）京都府の管理河川のどこでもそういう要望があり、全面的な浚渫はなかなか難しいが、京都府中丹東土木事務所（以下、土木事務所）に話してみる。

【回答】土木事務所に要望したところ、「犀川には、土砂の堆積傾向と共に河床低下が見受けられる箇所があるため、浚渫及び河床整正について、現地確認し、地元調整をした上で対応したい」との回答がありました。



◎（Aさん）犀川の何北中学校の前のところと下市の橋の下流（井堰のところ）の護岸の根元がえぐれている。

⇒（源太郎）それも土木事務所に確認する。

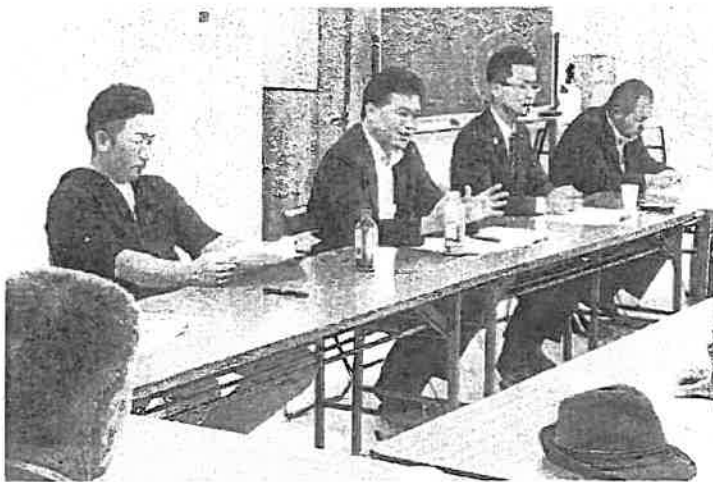
【回答】私も改めて現地調査をした上で、土木事務所に確認したところ、「6月下旬に住民の方から指摘があり、基礎部が露出していることは確認している。現状では経過観察をしていき、必要に応じて対応を検討したい」との回答がありました。

◎（Bさん）西坂川と犀川の合流地点の石垣が崩れかけている。大丈夫か？

⇒（源太郎）数年前にも土木事務所に確認して、その際には「大丈夫」とのことだったが、それから数年経っているので改めて確認する。

【回答】土木事務所に現地確認を依頼し、「現地確認したが、引き続き、経過観察していきたい」との回答がありました。私も現地を見に行きましたが、現状は「経過観察」で問題ないと思います。

◎（Cさん）府道の草刈。畔のところは田んぼの耕作者が刈っているが広域になると大変。



⇒（Dさん）土砂があると草も生えるので、刈るだけでなく、歩道の土を取り除いてほしい。橋梁～物部保育園（須波伎部分）の犀川堤防の草刈をしてほしい。下市まではしてもらっている。

⇒（Eさん）京都府には堤防の草刈りの基準があり、堤防の上をトラック（刈った草を運搬する）が走れるところでないが無理なのではないか？

⇒（Bさん）その場所ならトラックは通れる。

⇒（源太郎）すべての堤防の草刈りが京都府でできているわけではなく、地元で草刈り機の燃料費程度をお渡ししてやっていただいているところもあるし、できないところもある。京都府では住民によほど迷惑をかける部分や河川管理上、必要なところの草刈りをするところになっている。

【回答】土木事務所に要望し、「歩道上での通行の支障となる土砂については撤去を検討する。犀川堤防の草刈りについては経過観察とするが、府民協働型インフラ保全事業で須波伎自治会長から申請のあった犀川堤外地の雑木伐採については実施する」との回答がありました。須波伎自治会長からは府民協働型インフラ保全事業（二次募集）に3件申請いただき、3件とも「実施する」と土木事務所から回答がありました。



◎（Fさん）白道路川で京都府が護岸崩壊を復旧すると言われている箇所が未復旧で残っている。昨年7月の災害で手が回らなかったとは思いますが、まだ着手されていない。これは改めて申請し直さないといけないのか？橋から上流も削れてきている。

⇒（源太郎）予算や業者の関係で遅れている箇所があり、申し訳ない。「復旧する」と京都府がすでに連絡している

ものについては、時間はかかるかもしれないが確実に復旧される。申請を出し直してもらう必要はない。

【回答】土木事務所に確認し、「現在、護岸工事の発注準備中であり、橋からの上流部分も含めての対応を検討する」と回答がありました。

◎（Gさん）犀川の中の草が背丈くらいになっている。環境上良くなく、ゴミが捨てられたり、虫が発生する。年2回は草を刈って欲しい。

⇒（源太郎）先ほども述べたように、年に1回も刈れていないところもあり、ご意見としては承るものの予算上、年に2回は難しいと思う。

◎（Hさん）府道綾部宮津大江線の今田町のところの災害復旧はいつできるのか？

⇒（種清市議、柳原市議）国が奥の森林崩壊を災害復旧で認めてくれず、京都府と綾部市で協議して時間がかかっていたが、できるだけ早く実施されると聞いている。

【回答】土木事務所に確認したところ、「令和元年度中には工事完了の予定」と回答がありました。

◎（Hさん）人口減少について、何か考えておられるのか？物部小学校の児童も少なくなっている。

⇒（源太郎）京都府と京都府教育委員会に「教育移住」を提案しているほか、「定年移住」を進めるための「MOK HUT」の企画を先日、京都府森林組合連合会に提案したりしている。

◎（Aさん）電柱の地中化については綾部では計画はあるのか？

「令和元年度（2019年度）／四方源太郎 御用聞きの会」での議事メモ

⇒（源太郎）綾部ではない。あれは観光地とか、都市部の話ではないかと思っている。

◎（Cさん、Fさん）農業振興について。中丹の農業者の高齢化率は府内でも最も進んでいる。農業人口も減り続けている。5年先、10年先は厳しい。

⇒（源太郎）農夢は綾部市が三セクで経営の大規模化が必要だとの思いで設立された。小規模経営体を将来、農夢に合流させるという考えも必要ではないか。もっと農作物を高値で売る工夫も必要。

◎（Iさん）防災について。オフトークや半鐘もなくなりつつあり、伝達方法がない。

⇒（種清市議、柳原市議）消防のサイレンを使えるようにはなった。個人宅に無線受信機を設置するには、綾部市だけでは予算がない。

◎（Aさん）物部橋の東にある市道橋にすき間ができていることについて。対策の進捗状況は？

⇒（種清市議、柳原市議）綾部市には伝えて状況を見てもらったが、緊急性はないとの判断。

**【回答】綾部市建設課から「橋**

**梁長寿命化計画に基づく橋梁点検結果を踏まえ、対策の優先度に応じた実施を検討しています。ご指摘の橋梁は、前回の判定では直ちに対策を講じる必要は無い（Ⅱ）判定でしたが、その後に当該状況が確認され、現在、計測を行って経過観察しています」と回答がありました。状況の大きな変化等にお気付きになりましたら、綾部市建設課にご連絡ください。**



◎（Jさん）街灯がなく、中学生、高校生が夜間に家に帰るときに暗い。豊里の高谷団地あたりまでは街灯があるが、物部に入るとグッと暗くなる。実際に変質者も出ている。

⇒（源太郎）自治会で綾部市から街灯設置補助を受けることができる。LED街灯等を自治会で付けることはできないか？

**【回答】綾部市市民協働課から「自治会等で交通安全灯の必要な箇所について検討いただき、綾部市交通安全灯設置費補助金を活用した取り組みをお願いできれば幸いです。またLED街灯の場合は上積み補助もありますのでご活用下さい」と回答がありました。**

◎（Bさん）綾部市立病院の医師の異動について。誰に権限があるのか？結構な頻度で医師が変わる。泌尿器科、精神科の医師の異動が多い。耳鼻科も休みや時間変更が多い。

⇒（源太郎）医師の異動は府立医大の各科の教授が握っている。綾部市立病院や京都府の意向だけでは変えられない。市立病院の医師確保には引き続き、努力する。

【山家】10/15（火）19:00～ 市基幹集落センター（廣瀬町）荒木敏文市議ほか22名



◎（Aさん）①人口減少、担い手不足について。自治会等、引継ぎ手がない。共同作業も続かない。②防災のサイレンが聞こえない。釜輪と戸奈瀬の間くらいに、もう一つ防災サイレンを設置できないか？③和知からぐつと国道27号線が狭くなる箇所あり。国道27号線の早期拡幅を。肥後橋と歩道整備との優先順位を決める必要があるのか？

⇒（源太郎）①人口減少、担い手不足は、若い人だけにターゲットをおかず、60代前後の年金を持つての移住者を増やすことも京都府に提案している。空家はあるが貸せない（荷物が残っている等）物件が多く、また古民家は直しても1000万円以上の費用がかかる場合が多い。田舎には土地は豊富にあるので、平屋でローコストな住宅「MOK HUT」の開発を友人の建築デザイナーに検討してもらっている。都会の人は「終活」で悩んでいる人が多い。うちのお寺（正暦寺）では合祀墓を作った。移住者を求める場合は「終活」についても考える必要がある。

⇒（荒木市議）②防災サイレンは、連合自治会に1つはあるが、それ以上に設置の予定はない。広域にわたる自治会はメールで確認していただきたい。③肥後橋を一番に拡幅してもらおうと思っているが、予算の枠配分があり、話のついたところから順次拡幅がすすめられるので、味方から順次になるだろう。

◎（Bさん）①府道広野線はいつ頃完成するのか？②釜輪町には国有林もあるが、林道が放置されている。もっと林道整備に力を入れてほしい。

⇒（源太郎）①和知町広野側は完成したが、野田の踏切から先は道路を上にあげるしかなく、これには10億円以上かかるので、費用対効果の点で国の基準をクリアできなかった。そのため、寺町、田野、上延への「線部環状道路」を企画し、京都府のこれから20年の道路計画の中にもこれを入れ込めたが、様々な超えるべき課題もあり、すぐに工事とはならない。②森林環境譲与税は人口の少ない地域には回されるお金が少ない。配分方法の改善については、全国の地方から今後声が上がってくると思うし、森林面積に応じた配分はどう変えさせるのが今後の課題である。京都府農林水産部に今、提案しているのは「モデル林業」の仕組み作りをして循環させる成功例を作ること。「それをぜひ線部でやって欲しい」と言っている。

【回答】①上記の通り。②線部市農林課から「現在、人工林の間伐の実施に併せて林道の支線として、玉切り、枝払い、運搬を行う高性能林業機械が利用できる森林作業道を作設しています。なお、間伐、森林作業道の作設の両方に国・京都府の補助が可能です。また、京都府豊かな森を育てる府民税の市町村交付金を活用し、施業計画のある作業道の改修も行っています」と現状施策についての回答はありましたが、現状施策では不足しているという認識からのご要望だと思いますので、今後、国の森林環境譲与税、京都府の豊かな森を育てる府民税などによる森林・林道整備のための財源確保・拡充を目指し、

**少しでも多くの整備が進められるよう努力します。**

◎（Cさん）高齢となり、いずれは免許を返納する時が来ると思うが、病院、買い物等の心配がある。  
⇒（源太郎）副理事長を務めているあやべ福祉フロンティアで移送サービスをしているが、始めた20年前と比べて60才で仕事を辞める人も少なくなり、運転ボランティアの高齢化が進んでいる。今後の課題ではあるが、宅配のさらなる普及やロボットやドローンで買い物をする時代になるかもしれない。

◎（Dさん）免許を返納し、市から8000円分のあやバスチケットをもらったが、下替地はあやバスが通っておらず使えないので、違うものに変えてほしい。

⇒（源太郎）ご意見として綾部市にお伝えする。免許返納については、高齢者の事故数は減っている。高齢化率が上がっているので、事故における高齢者が関わる率が数字として上がっている。

⇒（荒木市議）市議会としては、免許返納に賛同を唱えている。踏み間違いを防ぐ車に補助を出すことを検討したり、田舎では高齢者にも車が必要だ。フロンティアの運転ボランティアも高齢になり、公共交通も全地域にあるものではないので、市長の唱えるクラスター戦略を議論する中で、クラスター間の交通も議論の対象である。現役時代にボランティアした方が高齢になり、サービスを受ける側になったときに使えるポイント制度や仕組みを作って、それを綾部市の新しい総合計画に盛り込んでほしいと申し入れている。

【回答】綾部市市民協働課からは「あやバスの走っていない地域からは、違うものをとの声があることは承知しているが、最寄のバス停からの利用をお願いしたい」との回答がありました。Dさんのご自宅は下替地町で、さらに京丹波町との境であるため、「最寄のバス停」といっても、近くにバス停は全くありません。そのため「あやバスが入っていない自治会在住者については、水夢の利用券とか、あやべ温泉の利用券とか、せめてそういうものに変えるべきではないか？」と再度、綾部市に申し入れました。引き続き、改善を求めます。



◎（Eさん）①あやべ福祉フロンティア山家支部の利用登録者数は110人、運転手は13人。山家地区でアンケート（500人中252人が回答）をとると94%がフロンティアの移送サービスが必要と答え、88%が乗せてほしいと回答している。将来、運転手をするか？の問いには88%がNOだった。理由は「事故が心配」が42%、「時間の拘束がイヤ」が23%。男性はある程度の報酬を求める声も。女性は社会参加に意義を求めている。一般的に女性が多い団体は活動が活発な傾向がある。フロンティア山家支部は女性のボランティアが1人だけであり、女性会員の強化も必要かも。運転手も高齢化し、継続を心配している。フロンティアのような移送サービス事業に対する京都府の補助金はないのか？②京都府の農機連携補助事業の補助金がとれた。今、計画を練っている。前にも見てもらったカヌー場の整備に力を入れたいと思う。府議にも支援してほしい。

⇒（源太郎）①フロンティア事業に対する京都府の補助金は車椅子車の購入に対する補助しかない。②カヌー場のことは前から聞いており、もちろん協力するので何でも言って下さい。

⇒（荒木市議）①ボランティア確保には綾部市で制度化出来るよう検討中。例えば、若い頃に運転手をしていたら、利用者になった場合、無償にするとか。

⇒（源太郎）支部内移送制度（個人負担は100円、フロンティア本部が100円を助成する）を活用して、山家駅の「ふれあいの駅」を待機場所とするということもできるのでは？まとまって乗っていただくと効率が良くなる。

【回答】①上記の通り。②山家地区には、京都府の産親連携補助事業で令和元年度から3年間、約2100万円でソフト・ハード整備を支援します。引き続き、順調に執行されるよう京都府に働きかけます。



◎（Fさん）空家が増え、危険にもつながるか心配する。JR山陰本線の複線化で、京都まで通勤圏になればうれしい。京都市内に住んでいる息子も山家とは言わずとも、綾部駅の近くに住んで通ってくれるかもしれない。

⇒（源太郎）綾部市ではJR通学定期（一定距離以上）への補助をしている。月に約5000円補助で、現在も40名

ほどの利用がある。もっと補助金額を増やせば京都まで通ってくれる大学生が増えるのではないかと市長には以前から提案している。大学生が綾部に残ってくると、夜間パイトの労働力として期待ができ、ファストフード、コンビニ、ファミレス、居酒屋など、若者が綾部に欲しいと思っている店の進出もしやすくなる。高校生と大人の間をつなぐ大学生の役割は重要。多少の補助金を出しても、大学生に綾部に残ってもらうことには、それ以上の大きなメリットがある。通勤についても何か支援を考えられないか？と京都府には提案している。

【回答】綾部市市民協働課から「（JRの通学定期への補助制度については）綾部市鉄道利用促進事業実行委員会において、制度の見直しを検討すべきであるとの声もあり、今後検討したい。京都府に対してもこのような制度の要望をしています」と回答がありました。

◎（Gさん）家の裏の危険木の伐採をすると森林組合で25万円かかり、伐った木を小畑のストックヤードに運ぶと70万かかる。これを売っても代金はその半分になるかならないか。そういったことへの京都府の補助制度はないのか？

⇒（源太郎）京都府豊かな森を育む府民税を活用して、今年度から新規事業が始まっており、危険木は京都府の全額負担で伐採することになっている。綾部市の農林課に相談してみてください。森林所有者の許可がもらえたら伐採可能。

【回答】後日、綾部市農林課に相談された結果、綾部市・京都府・綾部市森林組合と協議の結果、「補助金を受け、市森林組合に委託して伐採する」と11月19日にGさんからご連絡がありました。

◎（Hさん）①広瀬町では林道が2本あるが管理に困っている。一時、負担金が出たことがあったが、今はない。②綾部市でも京都府の府民協働型インフラ保全事業のような「公募型の市道整備事業」があるとありがたいが…。

⇒（荒木市議）①林道に関しては、山の奥に財がある、という観点から受益のあるところに市のお金を使えない。

【回答】①綾部市農林課から「綾部市の認定林道では大雨による法面崩壊や路肩崩壊などに対し、国庫補助、綾部市補助、地元負担金により災害を復旧することができます。また、京都府豊かな森を育てる府民税の市町村交付金を活用し、施業計画のある作業道の改修も行っています。また、認定林道の場合、碎石の補充であれば、予算に応じて対応することができます」と回答があり、綾部市の認定林道であれば一定の支援があるとのこと。②綾部市建設課から「綾部市においては、府民協働型インフラ保全事業のような事業の創設計画はありません」と回答がありました。これは予算的な問題もあり、やむを得ないかと考えます。予算の制約がありますが、具体的な改修要望を自治会等を通して綾部市に伝え、少しずつ整備を進めていくということしかないかとは思います。

◎（Iさん）①橋上の市道の草刈をしてほしい。これまで自分たちでしてきたが、出来る人が少なくなった。②電柵の管理も出来なくなってきた。田畑も荒れてきた。鷹栖のような営農組合を山家全域で作ってほしい。③橋上川の砂防工事が完成したが、水位計（堰堤に目盛り）をつけてほしいとの要望を自治会から出したと思うが、定かでもなく確認してほしい。

⇒（源太郎）②営農組合は綾部全域で必要であり、そのために農夢を作ったという経緯もある。③水位計のことは土木事務所に聞いてみる。

⇒（荒木市議）電柵の補助や草刈りの対策等、検討中。綾部市の総合計画の中に提言中である。

【回答】①綾部市建設課から「毎年市道の除草をお世話になっています。現在、綾部市では市道高津旭線（広域農道）等の幹線道路等については除草を行っていますが、地域の生活道路については自治会の協力無しでは維持管理できない状況です」と回答がありました。しかし、ご要望の点について、特に橋上町の現状については私も以前からお聞きし、ご苦勞の点についてはよく理解できますので、ご要望の趣旨については再度、綾部市にお伝えしました。予算の制約があり、ご要望に応じられないという現状であり、誠に心苦しく思っております。申し訳ありません。②上記の通り。③水位計について土木事務所に要望したところ、「河川水位を目視できる水位観測板の設置を検討します」と回答がありました。ただし、「上流に山家発電所の取水所があるため、河川水位の変化が大きいことを踏まえて、避難行動の際のあくまでご参考としてご利用ください」とのことですので、お気をつけください。

◎（Jさん）①下替地町ではJR沿線の草刈を久しぶりに今年9月にされたが、私の家の前50メートルほど刈り残しがあり、JRの作業に来ておられた方に伝えましたが、未だ手つかずである。どうなっているのか？②下替地と上原の間の府道広野綾部線沿いには京都府の土砂捨て場が4か所あるが、道路がドロドロになる時があり、土木事務所に連絡すれば、水で流してくれるが、頻繁に汚れている。連絡しなくても汚ればキレイにするように業者に指導するなり、パトロールの際に気が付いたら処理してほしい。府道への枝木のはみ出しも刈ってもらっているが、もう少し上の大きい木も見通しが悪いので切してほしい。



⇒（源太郎）①京都府交通政策課を通して JR に確認する。②府道の泥や樹木の件は土木事務所に伝える。

【回答】①10月16日に京都府交通政策課の八田課長にその旨を連絡し、JR に関わり合わせてもらいました。→17日に八田課長から報告あり。JR では線路に倒れそうになっている部分だけを草刈りしており、そこだけを意図的に残したのではない。京都府交通政策課からは「刈り残したところは、さらに伸びているだろうから、刈ってほしい」と JR に要請はしてもらいました。②土木事務所に伝えたところ、「パトロールの際に道路の汚損があれば、原因者に対し汚損防止、清掃等を指導することを徹底します。道路にはみ出した樹木の伐採は車両通行に支障があるものを対象としています。具体的な箇所に気が付かれた場合は土木事務所にご連絡ください」と回答がありました。

◎（Kさん）災害時に避難所となる公会堂の補修、移転に京都府や綾部市の補助は出るのか？

⇒（荒木市議）綾部市のコミュニティ施設補助金がある。全面改築の場合は300万、トイレ改修は半分もしくは上限100万だけで、補助だけでは全額はまかなえず、なかなか出来ないのが現状。

◎（Lさん）①ほ場整備をしてもらったが、給水が低くて、排水が高いというおかしなことになっているので、やり直してほしい。②府道広野綾部線の「大丸山」のカーブのところの道路は雪が溶けなかったり、特に凍てついて危険なので、影を作っている山の木を切ってほしい。③国道27号線に出るためには、どちらも（京都方面・綾部市街方面も）曲がり道が鋭角なので、大型車が通れない。なんとかならないか？

⇒（源太郎）①ほ場整備のことは今から直すのは難しいと思う。②③広野綾部線のことは土木事務所に要望、提案する。

【回答】①上記の通り。②土木事務所からは「府道敷地外の樹木管理は土地所有者による対応が基本となります。凍った雪を溶かすための融雪剤の設置を検討します」と回答がありました。③ご指摘の通り、国道27号線に出る府道山家停車場線や和木大橋（市道）はいずれも大型車の通行が難しく、現在のところは改良計画もない状態です。そのため、府道広野綾部線を大型バスが通り抜けられるようにしてほしいという地元の皆様の要望を受けて、綾部市街地に抜けるバイパス道路の整備を検討しています。

◎（Mさん）山家歴史の会ではお陰様で、京都府の補助金をいろいろといただいて良い冊子をまとめることができた。山家城址公園の伐採整備も府にお世話になった。綾部市、京都府はここ数年、大きな災害に見舞われているが、京都府と綾部市の財政の現在の緊迫状況を教えてほしい。

⇒（源太郎）京都府は綾部市に比べれば財政の緊迫度はそれほどでもないと感じている。綾部市は小都市で財政が厳しいので様々な国・府の補助金を活用する必要があり、府議としてそれを取ってくることには力を入れている。国交省出身の西脇知事が昨年就任されたこともあり、今年度の京都府の土木予算は当初の想定以上に増えた。

⇒（荒木市議）綾部市は災害復旧が最優先で財政は厳しい状況ではあるが、貯金は少し持ち直した。が、四方市長の最後にあった貯金を徐々に減らしてしまっていたところに、ここ数年の災害も重なり、借金が増えていて、山崎市長は慎重になっておられる。私は四方市長就任当初のもっともっと厳しい財政状況の時代を知っている、それに比べたら、そこまでではないと感じている。



【紫水ヶ丘】10/17（木）19:00～ 紫水ヶ丘新公会堂（味方町薬師谷）梅原哲史市議ほか12名

◎（Aさん）紫水ヶ丘公園は、以前は草ばかりだったがきれいになり、環境も良くなった。①昨今、災害が多い。紫水ヶ丘は高台なので水害は大丈夫だと思っているが、崖は心配である。菱田工業さんの裏を流れている谷川の岸が崩れていたり、木も枯れはじめて倒れてくる危険があり、地元で少しは伐採をしている。綾部市にも要望はしている。②また、国道173号線方面への通学路でもある坂道は歩道が狭いので、ラインを引いてもらうなり

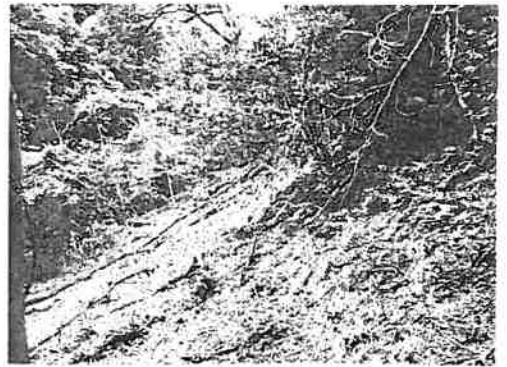


してもらえれば、多少は良くなるかと思うのだが。中高生は部活で遅くなると暗くて危険、防犯カメラの設置は出来ないものか？

⇒（源太郎）①谷川は現場を確認します。②3年前に綾部小学校のPTA会長をしていた時に、紫水ヶ丘公園内を通るルートに通学路を変更したら？と地域委員さんに検討してもらったこともあった。紫水ヶ丘公園内なら街灯、カメラがつけられるかも。ダミーのカメラでも抑止力はあるかもしれない。

⇒（梅原市議）綾部市は積極的に防犯カメラをつけることは考えていない。（予算上の問題）残された方法は自治会でつけることだが、プライバシーの問題もあり難しい。ココロラにカメラ付きの自販機を置いてもらうように頼むとか、交通量や水位調査のためにはつけることも可能性はある。しかし安いカメラは壊されやすい。

⇒（源太郎）個人宅に設置しておられるカメラの撮影範囲を道路の方に向けてもらうようお願いすることも1つの手段かと考えている。



【回答】①綾部市建設課には再度、現場を確認してもらい、その上で、「ご指摘の法面崩壊は、最も近い建物から約20m程度離れた箇所から発生していますが、この区間は比較的安定した法面状態と判断しています。公園混雑箇所であるため、土地の所在を含め、過去に実施された治山施設と思われる堰堤の実施経過等、調査を継続して行っており、今後の整備の実施手法を検討・調整する必要があると考えています」と回答がありました。引き続き、状況について綾部市と住民の皆さんとの双方で確認をしながら、今後の対応について必要があれば実施して欲しいと綾部市に要望しました。②綾部市建設課から「現在、市道味方薬師谷線の外側にある路肩と側溝を合わせた幅約1mが通学帯となっています。2車線道路であるため、車道幅員が均一で、路肩が外側線により明確に区分されていることから、現状での利用をお願いしたい」との回答ではありますが、実際の通学等の際に危険を感じておられる点は私も理解できますので、今後、何か良い整備手法はないか、引き続き、共に考えていただければありがたいです。

◎（Bさん）①水道管の破裂がここ最近多くなり、年2回くらいあった。②紫水ヶ丘も開発から50年になり、側溝が小さいのでゲリラ豪雨であふれるところが何ヶ所もある。設備不良もあるので見直してほしい。③また、以前に北原建設の近くにあるポンプ室に落雷があったが、落雷で紫水ヶ丘全域の水道が止まってしまうのもどうかと思う。

【回答】①綾部市上水道課からは「紫水ヶ丘地区の水道管は昭和40年代に埋設され50年程度経過し、老朽化が進んでいる状況です。このため漏水事故等が発生し、地域住民の皆様にはご迷惑をおかけしております。今後、計画的な老朽管更新を図る必要があると認識しております」と回答がありました。②綾部市建設課から「紫水ヶ丘団地の開発時点で想定された降雨量を上回る降雨状況により、部分的に問題となる箇所が存在しているものと思われます。過去にこれらの問題解消を求める要望を受け、部分的に側溝改良及び勾配修正を実施しています。今後においても状況を確認する中で、実施に向けた検討を行います」と回答がありました。③綾部市上水道課から「北原建設の横にあるポンプ室は廃止して新しい施設で運用しています。施設の更新により、落雷等で停電が発生した場合でも半日分程度給水できる配水池容量があるため、現在は直ちに断水とはなりません」と回答がありました。

◎（Cさん）あやバスが通ったが、利用者が少ないと聞く。それなら通学バスとしての利用も検討してはどうか？

⇒（Dさん）あやバスは綾部駅までは行くが、綾部高校まで直通で行かないので綾高生は利用できない。

⇒（源太郎）どうしても、綾部の場合は綾部駅と綾部市立病院が起点になるように路線を組むのが効率的だ。ご理解いただきたい。たとえば味方町のマクドナルドのロータリーのバス停から紫水ヶ丘に上がる



ためのスクールバスとして活用することは、先ほどの通学路の坂道の危険を回避する意味でも、検討の余地があるのではないかと。

【回答】綾部市市民協働課からは「あやバスは公共交通としての役割を担っていることから通学バス等に活用することは考えていない。今後においても、あやバスの乗車人数が増加するよう利用促進に取り組んでいきたい」と回答しましたが、市道味方薬師谷線の通学路の危険回避や実買者等から子どもを守る

観点から、今回ご要望のアイデアを取り入れることを考えたらどうか？と再度、綾部市に申し入れました。引き続き、市会議員さん方にも説明し、多くの理解を求めていきたいと考えます。

◎（Eさん）原発の件ですが、綾部は100キロ圏内に入る。ヨウ素剤の配布はどうなっているのか？自治会に備蓄すればいいのではないかと？

⇒（梅原市議、源太郎）ヨウ素剤は国の方針で、全員の分は綾部市で備蓄しておらず、また医師が診断しないと処方（配布）出来ないことになっている。どのタイミングで飲めば良いのかの判断が自治会ではできないのではないかと？期限が来れば交換の必要もある。個人でもネットで購入できるので、必要だと思われる方は個人の責任で購入してもらおうのが、今のところ妥当ではないかと。

●（Eさん）京 綾部ホテルの今後について。温泉は復活してもらえないのか？

⇒（源太郎）ホテルの親会社の喜楽鉱業が口上林で新工場（約2年後に完成）を建設している。当面はその工場建設にあたっての事務所や従業員の研修施設として使うと聞いた。以前からのホテルの建物は老朽化しており、いずれ取り壊されるかもしれないが、持ち主は喜楽鉱業であり、喜楽鉱業が判断されることで、今後どうするという話を私たちがまだ何も聞いていない。

【回答】喜楽鉱業にお聞きしたところ、温泉の建物は浴槽等を撤去して床をフラットにする工事がすでになされ、当面は事務所等として活用されるそうです。残念ながら、温泉施設の復活はありません。

●（Fさん）家の前の道路（市道）に雑草が生える。背丈が1メートルにもなる時もあったり、アスファルトが割れているせいもあるが、こういうことはどこに言ったらよいのか？妻の実家の近くの市道の砂利道が舗装されるのに10年以上かかった。綾部市に要望しても長くかかるのではないのか？

⇒（源太郎）市道の改修要望は自治会や市議を通して、綾部市にされるのが良いと思うが、ご要望の箇所は、私も現場を確認して、綾部市建設部に要望として伝える。

【回答】現場を確認しました。ご要望の箇所はバス停が近くにあり、通行や利用の多い場所であると認識いたしました。綾部市建設課からは「市道路面の損傷等については建設課で対応となるが、規模の大きいものや道路改良等については限られた年度予算の範囲内で対応していることもあり、各自治会からのご要望に全て対応しきれない状況である。ご要望いただいた内容については、緊急性、公共性、利用頻度等を考慮し、可能な範囲で対応を検討していきたい」と回答いただきましたので、ご要望の箇所については早期実施を要望しました。綾部市建設課で1月17日に現地を確認いただき、対策方法を検討していただいております。



●（Gさん）国道27号線からの国道173号線方面の上がり道の街灯に草が巻いている。誰に言えばよいのか？

⇒（Eさん）自治会で草刈りをしているが、水路側は草が水路に落ちてつまるから触るなど言われ、山側のみ草刈りしている現状だ。前自治会長さんが綾部市と話し合いをされたので、そのあたりの経緯はよくご存じだと思う。

⇒（源太郎）一般的に道路の街灯は自治会所有

で、綾部市の補助金を受けて自治会で設置されている。（交差点の街灯は京都府のものもある）

●（Hさん）マクドナルドから丹波大橋方面に車が出る時、直進なので優先になると思う方と、脇道から出るので優先ではないと思う方と両方あるので危険である。

⇒（源太郎）分かりにくい道路形状のところは他にもあるが、注意して通行していただくということしかないと思う。分かりにくくても道路交通法上は直進車が優先である。

【東八田】10/21（月）19:30～ 小嶋公民館（上杉町）酒井裕史市議ほか9名

◎（Aさん）高齢化、少子化は進む一方だが、地域振興、地域活性化について、東八田地区では何があるかと考えると、上杉の総合運動公園とあやべ球場がある。東八田の大きな魅力だ。この利用者は多いが、近隣に食べるものを買うようなお店がない。あたらしやも最近閉店した。お弁当を買いたくても近くにコンビニもなく、そういうお店があったらと思う。



⇒（源太郎）確かに、コンビニも湖塩まで行かないとない。スポーツ協会が指定管理者になっているので、そういう点も何か考えてもらえるように、綾部市に提案します。高校野球も夏の予選は多くの観戦者があるが、秋の公式戦も市民新聞等で告知をしてもらって、もっと応援に行ってもらいたい。東八田の皆さんは球場に近いので、時間があれば、練習試合でも綾部高校野球部の応援に行っちゃってほしい。

【回答】綾部市文化スポーツ振興課からは「綾部市スポーツ協会にも確認するが、現状では、総合運動公園内に物販や飲食可能となる店の進出は難しいと考える。ただし、民間の事業者等から相談があれば、場所の提供等は検討したい」と回答がありました。「そういう【待ち】の姿勢ではなく、利用者の利便性や市内業者の売上向上のために、綾部市や綾部市スポーツ協会の側から民間事業者を公募するとか、もっと積極的な動きが必要ではないか」と綾部市には再度申し入れました。文化スポーツ振興課が教育委員会部局から市長部局（定住交流部）に移った意義はそういう積極性を発揮するところにあるのではないかと思います。「清山荘にはパンの販売に来ておられる星町の女性グループもあるので、大勢の人が集まる機会にそういった方々に声を掛けるとか、何らかの方法を模索しては？」と再度、綾部市に投げかけ、文化スポーツ振興課にその旨、情報提供をしていただきました。

◎（Bさん）東八田はJRも高速も通る良い環境だが、あやべ球場を利用しても寄るところがない。安国寺のインターから球場までにお店もない。また、若い人が遊ぶところがない。ポルダリングを高速の橋脚に作ってみるのはどうか？サーフボードやローラースケート、オリンピック競技にもなっているBMXができる場所も良いのではないと思う。そういった若者を惹きつける場所が出来ればと思う。

⇒（Cさん）子どもの遊び場が出来れば、親もついてくると思う。

⇒（Dさん）あやべ球場で大きな試合がある時は、パンの販売でもあればいいと思う。また、上杉体育館は空調設備がないので、その点で今後、催しが新市民センターに移行してしまうことを懸念している。空調を付けてほしい。

⇒（源太郎）京都・伏見の中学生マーチングバンド部の練習場所がなくて、知人から問い合わせがあり、上杉体育館を借りたことがあった。1回道がつくと、再度借りてもらえると思うが、その際にもっとお金を落としてもらうためにも、体育館に市内のお弁当業者のパンフを置いたり、お店も紹介してあげられたらと考える。

⇒（Eさん）アスパや農協等の移動販売車に入ってもらうのもよいかもしれない。

【回答】綾部市文化スポーツ振興課からは「上杉町の総合運動公園については、昭和63年に開催された

京都圏体にあわせて、総合的に運動施設を集約した総合運動公園として整備を始め、以後、綾部都市計画公園事業として順次整備を行い供用開始してきた。グラウンド入口には未来くん広場を設け、お子さんと保護者の方が憩える場としてくつろいでいただけるスペースとなっている。また、若者を惹き付ける新たなスポーツ施設整備（場所）については、当該競技利用者の新規発掘や拡大が図れるよう、綾部市スポーツ協会とも相談しながら、また、まちづくりの観点から研究していきたいと考えている。あやべ球場では、夏の高校野球甲子園予選会は、東八田商工業栄会や、綾部料飲組合にお世話になり、パンやうどんなどの販売をさせていただいている。ご相談があれば出来るだけ柔軟に対応したいと考える。上杉体育館の空調設備については、現在計画はない。上杉体育館にお弁当業者等のパンフレットを置いていただける件については、お店の紹介をいただく中で、スペースの確保は可能と考える」と回答がありました。

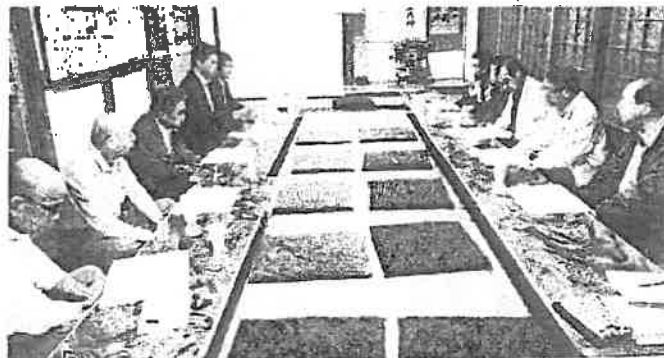
◎（Dさん）①上杉体育館は原子力災害時の除染場所にもなっており、綾部PAから降りるスマートインターを作りたい。原発事故の避難路とからめて出来ないか？②西町のライフオート跡地の利用はどうなるのか？回転寿司という噂はあったが、駅北に新しいホテルは出来るのか？

⇒（源太郎）①スマートインターに関しては、今後LNGパイプライン構想もあり、ガスを利用した発電所等の施設が出来れば、そういうものと合わせて何かできないかと思っている。②ライフオート跡地はまだ分からないが一等地なので何らかの早期出店を期待している。回転寿司というのは噂だけではなく、駅北には「ホテルと図書館と宴会場を計画したい」とすでに市長が市議会で表明された。駅から歩いてすぐの宴会場は、中丹には福知山にも舞鶴にもないので、期待が大きい。

【回答】①綾部市建設課からは「舞鶴若狭道、綾部PAにスマートインターを築造することについては、このインターを利用する方々の一定数以上の利用が求められる。現時点において、舞鶴若狭道の通行量などから実施の目処が立たないのが実情である」と回答がありました。京都縦貫道にはガソリンスタンドもなく、上杉体育館は原発事故の際の除染場所ともなっています。危機管理等、様々な観点から実現を模索していきたいと私は考えています。②上記の通り。

◎（Eさん）田んぼをお願いしていた方から、先日、「もう作れなくなったから返すわ」と言われたので、その田んぼの隣まで作っておられる別の大きい農家さんに頼んでみたが「もう手一杯で難しい」と言われた。このまま放置すると草だらけでイノシシの巣になり、ますます獣が増える。そういった耕作放棄地は増えるので、何か対策を。

⇒（Cさん）上八田でやっておられるような、グループですというのはいかがでしょうか？



⇒（源太郎）農夢はそのためにつくった。三セクなので府の補助金もとりやすく、公でやることの信用がある。農業者を雇ってオペレーターをすることや、水菜を生産して出荷するだけではなく、農作物を加工して売ることにも考えなくてはと思っている。6次産業化にこそ農林業の成功の道がある。大分県日田市の大山町農協を視察に行ったらと市議の皆さんに紹介した。軽労

働、週休3日で儲かる農業。後継者不足も遊休農地もない。自民党府議団で3年前に視察に行った。大山町農協ではビュッフェスタイルの食堂を10ヶ所ほど経営しておられ、そこに直売所も引っ付いている。綾部市でも、そういう食堂ができないかと考えている。

◎（Eさん）高齢化になり、1人暮らしが多くなった。1人になり、毎日の食事をどうするか？と考えたとき、毎日通える値段（300円～350円）で悪い場が出来ないか？食事も含め、集う場所がない。

⇒（源太郎）田舎の良さは、食べるものだけは豊富にあるということ。舞鶴の「ふるるファーム」は行きにくい場所にあっても、よく繁盛している。そんなレストランが綾部でも農村部に出来ればと思う。

◎（Dさん）府道74号の梅迫線、中町と新町間のクランクがもう少し広く、曲がりやすくなれないか？中町から出ていくときに危険であり、梅迫中央公民館に上がりやすくなる。その箇所は市道と府道が交錯している。水路は綾部市の所有か？側溝に蓋をすれば？隅切り？橋の拡幅？可能性は？

⇒（源太郎）あやバスや消防車が通る、公民館への避難路として、どう改良できるのか土木事務所と相談してみます。

【回答】土木事務所からは「人家が遠なっており、大規模な拡幅改良は難しい」という回答がありましたが、私も改めて現地調査をして、「大規模な改良ではなく、あやバスや救急車などの大型車の通行をしやすくするために、水路に少しでも蓋が付けられないか？」と改良の検討を再度申し入れました。地元からも府民協働型インフラ保全事業での提案等をしていただければ、ありがたいです。私から地元の酒井市議にも、用地所有者の合意等も含め、地元自治会や自治会連合会からの要望を上げていただけないか、地元調整をお願いしようと思います。



◎（Bさん）免許の返納を考えたとき、あやバスが施福寺方面にも入ってもらいたい。谷が深い。於与岐は弥仙バスを走らせておられ、高槻にはあやバスが入っており、施福寺方面だけがない。綾部市にも要望はしている。

⇒（源太郎）路線増は難しいが、路線の見直しの際のご意見として承る。綾部市にはお伝えします。

【回答】綾部市にはお伝えしましたが、現状で路線増はなかなか難しく、地元のご協力もいただいて、交通空白地有償運送などで、あやバスの入っていない地域をカバーしていく検討をされているようです。

◎（Aさん）旧JAの跡地、元八田鶴酒造の跡地には、綾部市社会福祉協議会のつどいの家（中山町）が移転するという話を以前聞いたが進展していない。どうなっているのか？

⇒（源太郎）綾部市社会福祉協議会に確認する。

【回答】11月8日に綾部市社会福祉協議会の朝倉会長にお聞きしたところ、「中山町の施設の老朽化等により、移転を計画している。同じ東八田地区内ということで用地を探し、綾部市の協力も得て元八田鶴酒造の跡地での新施設の建設を計画している。しかし、建設費をどう工面するかなどの課題もあり、現在、内部での準備を進めているところ。まだ移転時期は不明だが、できるだけ早期に新築移転できる

よう取り組んでいる」とのことでした。

◎（Fさん）上杉の松寿苑は、休んで10月ごろから再開と聞いていたが？どうなるのか？

⇒（源太郎）松寿苑に状況を確認します。

【回答】11月8日に松寿苑の萩野施設長に確認したところ、「上杉松寿苑は現在休止中であるが、再開に向けていくつかの課題の解決のため、現在、綾都市や園と協議をしている。再開時期はまだ決まっていないが、令和2年春季を目指して鋭意努力中。必ず再開するので、もうしばらくお待ちいただきたい」とのことでした。

◎（Eさん）七清堂の裏手、八田川の浚渫はしてもらえるのか？草が生えて高くなっている。

⇒（源太郎）府民協働型インフラ保全事業で申請してもらって、すでに「実施する」との回答を京都府がしているので、今年度中には実施されるものと思っている。

【回答】令和元年12月末現在、測量や設計を実施しています。（土木事務所）

◎（Fさん）府道上杉和知線の黒石峠、完成予定は？

⇒（源太郎）原発避難路特別枠予算が毎年1億ちょっと入ってくるようになったので、現在は5年ほどかけて、口上林側を二車線にする予定になっているが、現行計画のトンネル化には10億以上の費用がかかる上に、避難路特別枠予算はトンネル化の予算には充てられないと国交省が言っている。土木事務所でも色んな図面を描いているが、今後どうするのかはまだ決まっていない。施福寺側も現道拡幅は、家があり難しい。家の裏に道路を回す方が現実的ではないかと私は考えているが、今後、府道上杉和知線改良促進協議会でも協議してほしい。国には関西電力にもお金を出してもらうように働きかけてほしいと要望している。毎年、20億で綾部と舞鶴に10億ずつくらいの避難路整備予算を。中国電力は立地県でない鳥取県に毎年6億円、5年で30億円を払っている。原発のような危険なものは信頼に値する人が細心の注意を払って取り扱うもの。関西電力はその信頼を失っている。2年前に中上林で大飯原発の住民説明会があり、私は真っ先に手を挙げて、東京電力の福島原発の事故から6年経って避難路整備も何も手を付けずに、再稼働なんかあるか、と抗議した。資源エネルギー庁の若い職員はまともに応答できず、関西電力の取締役はおろおろするばかり。今夏に資源エネルギー庁に自民党府議団で要望に行った際、「もっとまともに応答のできる、責任のとれる人間が出て来るべき」と申し入れた。しかし、日頃「原発反対！」と言っている共産党市議は、上林での説明会にも来ていなかったのか、全く発言がなかった。口先だけでなく、言うべき時に、言うべき相手に言わないと。

◎（Bさん）府道1号線の福井県側の工事は何をしているのか？谷の下の方を相当大規模に数年前から工事されているが、奥上林にトンネルか何かでつなげる道路なのか？

⇒（源太郎）聞いているのは、くねったカーブをゆるめる工事だけ。奥上林につなげようとするばトンネルを掘ることになると思うが、そういった話しは聞いていない。また調べておく。

【回答】京都府を通して福井県に問い合わせてもらったところ、「道路が蛇行して通りにくい福井県側の区間850mの改良工事を実施中」とのこと。



【志賀郷】10/22（火）19:30～ 志賀郷公民館（志賀郷町）本田文夫市議ほか21名



◎（Aさん）①向田に行く道路（府道綾部大江線・田和の坂）は崩れているところがある。災害復旧工事はいつ頃行われるのか？②同じ府道の竹松うどんから先のところが狭い。用地買収して拡張して欲しい。③■■■■さんの家から向田公会堂前への道は府道ではなく市道なので整備が進まない。府道との付け替えなどをしてはどうか？

⇒（Bさん）①災害復旧工事については、先日、自治会連合会に業者の方が来られ説明を聴いた。近々、工事着手されると思う。

⇒（本田市議）③向田から篠田に向かう道の拡張要望に、先日、連長と一緒に土木事務所に行き、磯岩所長と会った。土木事務所では「12時間に車が500台通らないと拡張できない」と言われた。「通学路でもある」と話したら、「通学路の歩道は確保しなければならないと考えている」とのこと。■■■■さんの作業場からの道、市道白道路仁和線の拡張を綾部市にしてもらっているが、地元の優先順位を変え、稲垣さんのところから向田公会堂に向けての歩道整備を先にすることで、地元の自治会でも了解が取れた。

⇒（源太郎）①②土木事務所を確認する。

【回答】①災害復旧工事については、すでに工事に着手済。②私も現地を確認し、確かに一部道路が細くなっていると感じました。拡張には用地買収等を必要とするため、すぐに対応とはいきませんが、今後の改良検討を土木事務所に依頼していますので、あわせて地元の自治会や自治会連合会からの要望も上げていただければありがたいです。③向田町から篠田町に向かう府道の拡張については「通学路でもあり、歩行空間の確保について検討します」と土木事務所から回答がありました。



◎（Cさん）①以前、府議にお願いして西方川の底上げをしていただき、土捨て場がなかったが、とりあえず緊急の処置で、横に積んでもらって浚渫でき感謝している。その直後に台風が来たが、そのおかげで大丈夫だった。だが、まだまだ下流に土砂が溜まっているので、更に浚渫をお願いしたい。府民協働型インフラ保全事業で申請は出している。②西方の道（府道綾部大江線）の拡張が残っているところがあり、工事がストップしているところも早くなんとかしてほしい。

⇒（源太郎）①浚渫は府民協働型インフラ保全事業で申請していただきたい。②災害対策や復旧工事が優先になり、道路整備は予算が後回しになっており申し訳ない。せっかく私が地権者に直接お願いして用地買収にご協力をいただいた箇所なので、改めて土木事務所に早期完成を要望する。



【回答】①西方川の浚渫については「昨年度実施しましたが、今年度も現地状況を確認し、必要な箇所  
の浚渫を検討します」（土木事務所）②西方町内の府道拡幅工事について、土木事務所に早期実行を再度  
要望し、「今年度、全部とはいかないが予算の範囲内で工事を発注する」（土木事務所）と回答がありま  
した。

◎（Dさん）川の中の葎の繁殖力がすごい。1級2級河川は整備されるが、いつどこで大雨になるか分か  
らないので、3級河川の整備もしてほしい。

⇒（源太郎）3級河川は綾部市の管理であるため、綾部市にご意見としてお伝えします。

【回答】綾部市に伝えましたが、「予算面での問題があり、なかなか手が回っていない状況」ということ  
でした。対応が必要だと思われる箇所がありましたら、個別にご連絡ください。綾部市に要望します。

◎（Bさん）年一回の除草だけでは、土手のどこが傷ついているか分からないので、回数を増やしてほ  
しい。堤防の状態のチェックをしてほしい。

⇒（源太郎）予算面で年に一回以上の草刈りは難しいが、昨年の口上林の井根川のように、堤防があれば  
大丈夫と思っていたところが決壊したケースもある。堤防の状態は常に注意していなければならない。  
日頃のチェックの徹底を求めています。

◎（Eさん）犀川の浚渫は要望を出しても京都府からの回答は「現場確認しました」だけのさみしいも  
ので進展はなかったが、最近、土木事務所長から「府民協働型インフラ保全事業で10月末までに申請す  
れば、年度内に浚渫が出来る可能性がある」と聞いて期待している。犀川をドローンで撮影し、川の流  
れが狭くなっている箇所がすぐに分かるようになった。緊急避難所である公民館の多目的ホールの裏は  
特に川幅が狭くなっており、浚渫をしっかりとやってほしい。紙だけでなく、動画を使って綾部市建設  
課に要望すれば、内容がよく分かってもらえて、効果があるように思う。

⇒（Fさん）篠田公会堂は裏に擁壁を設置してもらって良くなった。

⇒（源太郎）篠田公民館は1軒だけポツンとあるので、急傾斜の対象になっていなかったが、綾部市が  
避難所に指定してあったので優先してできたものである。

【回答】志賀郷公民館裏の犀川の浚渫は、府民協働型インフラ保全事業で採択し、浚渫します。（土木事  
務所）

◎（Gさん）通学路に「学童横断注意」の看板（標識）が、吉美地区にはたくさん設置されている。順  
次、物部・志賀郷にも設置してもらえるのかと思ったら、まだついていないので、志賀小学校や八丁の  
交差点にもつけてほしい。路面の文字も薄くなっている。

⇒（源太郎）看板のことはどういう基準で設置されているのか確認します。路面標示が薄くなっている  
のは、府民協働型インフラ保全事業で申請してもらえば直してもらえらると思う。言わないとなかなかで  
きない。10月末まで府民協働型インフラ保全事業の申請が出来るので、出してもらったらいと思う。

【回答】「学童横断注意」看板は、地元で必要箇所を検討いただいて、府民協働型インフラ保全事業で申  
請していただければ、設置するよう府に働きかけます。

◎（Hさん）農地がどう守られていくのか？また農業の将来性が不安である。綾部市や京都府は抽象論ばかりで、農地管理においてもどのように構想が描かれているのか分からない。地主の意欲がなかったり、収益もなく、高齢になって今後が描けない。営農組織も組織的に合併をしたらよいのか？

⇒（源太郎）三セクの農夢は綾部市の農業を守るための規模拡大をするために作られた。やれる限りはやってもらって、どうしてもやれなくなれば農夢で世話するという形が作れないか。

◎（Iさん）地主が東京に居て、今後土地の処理がどうしようもなくなるケースがあるが、農地中間管理機構のやり方が手ぬるい。人口は志賀郷でも昨年の市議選の頃と比べて50人も減っている。5年後どうするか？農地をどうするか？機構は持ち主に書類を渡すだけで、その後の催促等の対応がなく、話が進まない。真剣に考えなければならない。山に関してはもっとひどい。

⇒（源太郎）農地や山林を相続しない人が増え、ほ場整備の時に困っているケースがある。山に関して、儲かる山にするのは難しいが全然可能性がないとは思っていない。京都府内では毎年30万㎡の木材を使っているが、府内ではこの半分しか産出できていない。残りは九州や東北などの他の地域から持ってきている。舞鶴に工場のある林ベニヤ産業は、森林組合系統から出る材の7割を購入しているが、「府内の木が少ない、もっと出してほしい」と言っている。川上、川中、川下で、話をまとめて新しいことをやっていかなければと思っているのだが「総論賛成、各論反対」でなかなか話が合わない。志賀郷は郷和会や杜栄が森林整備を先駆的にやってもらっているので、森林組合等と協力してさらにやっていただけたらと思う。



【回答】農地中間管理機構は、国が都道府県を通して市町村に事業委託して農地集積に努めていますが、ご指摘のように「手ぬるい」と感じられる部分もあるように思うので、そういった声があるということをお京都府には伝えました。今後、具体的な箇所をご相談いただければ、私からも京都府や綾部市に対応を求めます。

◎（Cさん）①先日も坊口で不審者が出た。子どもたちには不審車がいたら、ナンバーを見るように指導しているが、五差路や志賀小学校のところに防犯カメラをつけてもらえると良いと思う。②熊が出たとのメールが来るが、メールだけでなく、対策をしてほしい。

⇒（源太郎）①他地域でも防犯カメラ設置の要望は出ているが、予算面でなかなか難しい。②熊に関して。9月議会の代表質問で西脇知事は「レッドデータブックを見直す」と答弁された。今後も対策を求めたい。

【回答】①綾部市市民協働課からは「防犯カメラの設置には、維持管理や経費の観点など、さまざまな課題があり、現在は補助制度がないのが現状。有用性は認識しているので、今後の検討課題であると考えている。また、上林地域では、地元と地元企業等が連携してカメラを設置された事例などがあり、他の地域でもそういうことが検討できるのであればお願いしたい」と回答がありました。②上記の通り。

◎（Jさん）防災用や農業用水のため池の泥がかなり溜まっているが、どうしたらよいのか？

⇒（Iさん）西方の荒木池では15年前に堤防をとって、池の作り直しをしてもらった。その際には個人で10万円ほどは負担をした。

⇒（Hさん）坊口では、栢ノ木池でも泥が堆積しており、対応を願う。

⇒（源太郎）京都府の農林部局に相談してみます。

**【回答】**中丹広域振興局農林商工部に問い合わせたところ、「ため池に溜まった泥の浚渫は多面的機能支払交付金を使ってやる方法がある」との回答でした。ただ、浚渫の規模が大きいので多面的機能支払交付金がそれにうまく使えるのか？また予算規模が大きくなってでも可能なのか？と聞きましたが、「通常維持管理の浚渫であれば交付金で対応可能と考えるが、交付金で対応できないほど予算規模が大きい場合は補助事業でも実施可能」との回答がありましたので、個別ケースでご相談いただければ、振興局にお話します。※西方町の荒木池につきましては、綾部市農林課から「平成16年度に国の補助事業にて全面改修を行っています。地元負担金が発生しますが、改修要望があれば、土地改良事業申請書の提出をいただければ、事業化の検討が可能となります」と回答がありました。

◎（Hさん）限界集落を「水源の里」と読み替えた事業は良いことだが、今後のどの地域もの縮図だと思う。高齢化で、農地が保全されなくなっている。指定された地域は水源の里としてモデル的に、特例措置が取られるように要望する。

⇒（源太郎）要望として、綾部市にお伝えする。

◎（Iさん）安倍総理が農協改革を推進された。小泉進次郎さんが自民党農林水産部会長になり、農林水産省は奥野事務次官になり、5年のまともも見だが、煮え切らない。農協も一生懸命にされている。農業はなくすことが出来ない、農協もなくすことが出来ない。奥野事務次官が代わって、これまでは大規模農業を奨励していたのに、小規模農業も大事にしないと農業や地域が崩壊すると言われるようになった。新しい人や移住された人が農業をやろうと思っても、お金がかかるのでなかなか難しい。農業機械の貸し出しを綾部市でやるということも必要なのではないか。

⇒（源太郎）農業振興における農協の重要さは理解している。農業機械の貸し出しも確かに必要だと思う。京都府や綾部市に話してみる。

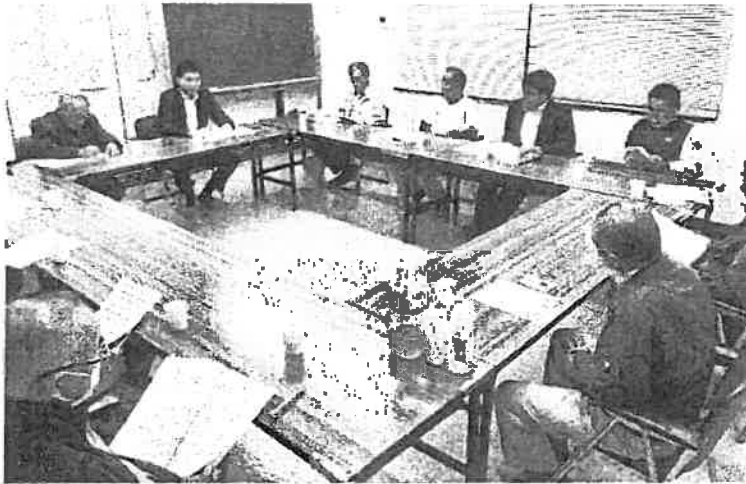
**【回答】**農業機械の貸し出し制度について京都府に話しました。現状では実践農場の制度を利用する若手の新規就農者に対するわずかな支援しかないため、今後、その幅をもっと広げていくことが必要ではないかと求めました。

◎（Kさん）志賀郷は綾部で一番山奥にある。内久井から向田、別所から小呂峠といった志賀郷を一周できるような道路をつけてほしい。地域の発展のために、志賀郷地区自治会連合会で構想を作り、運動をする必要があると思う。要望しないと、進展もしない。

⇒（源太郎）Kさんの道路構想は以前から聴かせていただいております。頭の中にはいつもある。すぐに来ることではないが、何かチャンスがあればいつも考えている。

【口上林】10/24（木）19:00～市健康ファミリーセンター（武吉町）森義美市議ほか13名

◎（Aさん）府道上杉和知線の件では、府議に大変お世話になり、今年初めて府庁に要望に行って西脇知事に直接要望することが出来た。ありがたく思っている。小浜綾部線のるんびに学園に上がるところで事故が多発しているの、要望しているのは点滅信号をつけてもらうか、追い越し禁止の黄色のセンターラインをもう少し十倉志茂町側に延ばしてほしい。福井県方面からの車がずっと追い越し禁止区間



でイライラしており、ようやく抜けると追い抜くことで事故が起きている。最近も事故があった。十倉中町の■■■■さんのところまで、追い越し禁止ラインを延長してほしい。もしくは中上林の念道の直線のところも追い越し可能にして、そこでも抜けるようにすれば。

⇒（Bさん）十倉中町の自治会長さんから十倉志茂町も一緒に申請しようと呼びかけがあり、一緒に綾部市に行ったが「4月～5月に申請しないとダメだ」と言われ

「そこは京都府の管轄で土木事務所に行け」と言われて行ったら、結局は「綾部警察署に行ってくれ」と言われて、たらい回しにされた。

⇒（源太郎）移動式オービスが導入された。これまでは取締りに引き込む場所が必要だったが、どこにでも置けるようになる。最初は西八田小学校前、今後は多田や里の旧道などに置かれるのではないかな。いずれ小浜綾部線にも置かれるかもしれない。そういう取締りによってスピードを上げての無理な追い越しを抑制できるのではないかな。（移動式オービスは嫌だという声もあり）

【回答】綾部警察署から次のように回答がありました。「同要望については、通学路点検での危険箇所でも要望を受けている場所であり、8月には綾部市、京都府など道路管理者と合同で点検を実施しており、対策を検討しております。また、信号機の設置については、府民協働型インフラ保全事業でも提案していただいております。審査委員会で審査しております。追い越し禁止規制の延長については、現在の交通規制を実施した時の状況や規制実施理由等の確認を行い、延長が可能であれば要望場所まで延長するよう府警本部と協議して規制延長を検討します」。

◎（Cさん）下八田町のみつまる前の交差点は、右折レーンはあるのに時差式信号にならないものか？朝夕のラッシュ時などが上林方面へ右折しにくい。

⇒（源太郎）たしかに。警察に話してみる。

【回答】綾部警察署から次のように回答がありました。「同交差点は十字路の交差点となっていることから、南行にも右折レーンが設置されており、同交差点のような十字路の交差点では時差式信号機ではなく、青矢印の付加装置を設置して制御しなければならないことから、府民協働型インフラ保全事業の提案制度を活用して付加装置設置を検討します」。地元からも府民協働型インフラ保全事業に申請いただければありがたいです。

◎（Dさん）災害で旭町の道路が通行止めになり、上杉和知線の重要性が大きい。また、原発の避難路でもあるが、進捗状況は？

⇒（源太郎）これまでは予算が少なく、家の立ち退きだけで1年が経過していたこともあったが、避難路特別枠予算が8年ほど前から始まり、1億ちよつと国から毎年入るようになった。このお金は本格改良には使えないと国交省が制限をかけており、逆に上杉和知線くらいでないといけないので、そこへ集中的に投じて、まずは口上林側を二車線にしていく。黒石峠は本来、トンネルを掘る計画だが、トンネルは10億円以上かかり、この特別枠予算を使うことを国交省が認めてくれないので、そもそも財源もない。土木事務所としてはトンネル化だけでなく、色々な絵を描いているようだ。施福寺側も家の裏に道路を通すなど考えたかどうかと思っている。口上林側の工事にまだ5年程かかるので、その間に今後どうするのか、皆さんと共に考えたい。私は個人的にはトンネルにこだわるだけでなく、何らかの改良を前に進める方が現実的ではないかと思っている。

◎（Eさん）井根の谷から府道に出て右折したところにある井根川橋は幅が狭く、大型車両がくれば待たなければならない。山家の肥後橋のような状態。スピードも出て、危険なので橋を拡張してほしい。府民協働型インフラ保全事業を申請するのが良いのか？

⇒（源太郎）府民協働型インフラ保全事業としては規模が大きすぎる。府民協働型インフラ保全事業は数百万規模程度の部分的な改良が対象。採択されて年度内に出来るくらいの規模の工事でないと思われない。別途、改良要望していきたい。

【回答】井根川橋については、私も現地確認しました。上林側の道路がカーブしており、その影響で上林方面からの車両が橋のところでセンターラインをオーバーしていく傾向があると見受けられました。土木事務所からは「井根川橋は路肩は狭いものの2車線はあるが、国道27号線の肥後橋同様の拡張が可能か検討します」と回答がありました。



◎（Cさん）十倉向町自治会で府民協働型インフラ保全事業のいくつか申請を出したが、全部「これくらいのことは出来ない」と返答された。

⇒（Fさん）十倉向町自治会長から出してもらった府民協働型インフラ保全事業では、十倉橋からの井堰付近の浚渫は出来ないと言われた。砂利でふさがり、護岸側はえぐれている。西地橋の10メートル下流は護岸が沈んでいるが「出来ない」と返答があった。土木事務所からの返答で「状況観察」と書いてあるのは、ちゃんと見ているのか？

⇒（源太郎）「観察」と書いてあるので、見ていると思う。農業用の井堰は農林部局で、護岸は土木事務所が担当する。水田を守ることは農林の担当で、川を守るのは土木事務所になる。また、川から何メートルか上までは土木事務所に対応できるが、さらにその上になると、土地の所有者の対応になる。皆さ

んの要望が採択されるように、できるだけ努力して説明、要望していきたい。

◎（Cさん）川の中の木は切ってもらったが、井根川の井堰の下がえぐれている。要望を提出したが、そのままになり、穴があいている状態だ。杭を打ってある。4月に要望等を提出しても、「転動したばかりなので」と言われるが、要望するのはいつ頃が一番いいのか？

⇒（源太郎）井根川の問題は、府民協働型インフラ保全事業を10月末まで受け付けているので申請してもらえばと思う。「転動したばかり」であっても一定のことは把握しておくべきだし、毎年春に全員が異動しているわけではないので、要望していただく時期はいつでも構わないと思う。

**【回答】土木事務所からは「現地の状況は確認しており、府民協働型インフラ保全事業ではなく、別途事業での対応を検討します」と回答がありました。**

◎（Eさん）治山ダムの改修はどこに要望するのか？ダムから農業用水をとっているが、水路がつまっている。

⇒（源太郎）治山ダムは農林水産部の管轄なので京都市中丹広域振興局の森づくり推進室もしくは綾部市農林課に要望してもらえたらと思います。砂防ダムは土木事務所の管轄になる。綾部市が緊急度によって優先順位をつけて、京都府の予算で整備をしていくことになる。

◎（Cさん）十倉橋は4トン車まで通行可だが、老朽化しており危険を感じる。大丈夫か？

⇒（Dさん）橋脚を補強するのに土のうで持つのか？と思う。

⇒（源太郎）十倉橋は市道橋なので、綾部市が直すことになる。

⇒（森市議）市道橋の整備も優先順位順で、まだそこまで出来ていない。市道橋もたくさんあり、費用もかかる。



**【回答】綾部市建設課から「昭和31年架橋の十倉橋は、設計荷重9t（設計時の道路橋示方書）で、上部工の変状が確認されて以降、4tの規制を行っています。一方、橋梁長寿命化計画に基づく定期点検において、直ちに補修・改修を必要としない判定区分（Ⅱ）に該当している状況で、引き続き調査・点検を行っていきます」と回答がありました。**

◎（Dさん）橋上町にある関西電力の水力発電は、出水時には取水のための井堰を倒す仕組みになっている

と思うが、倒してもらっているのか？

⇒（源太郎）関西電力に確認する。

**【回答】10月30日に関西電力神福知山配電営業所の徳岡コミュニケーション課長に問い合わせたところ、11月8日に関西電力神京都水力センターの工藤土木係長を伴って説明にお越しいただきました。山家発電所の橋上堰堤倒伏ゲートは一定水位となれば自動的に電動で倒れる仕組みになっています。今年度は1回倒れた実績があり、例年3~4回程度、大雨の際に倒れているそうです。**

◎（Cさん）熊を殺処分したら何故だめなのか？

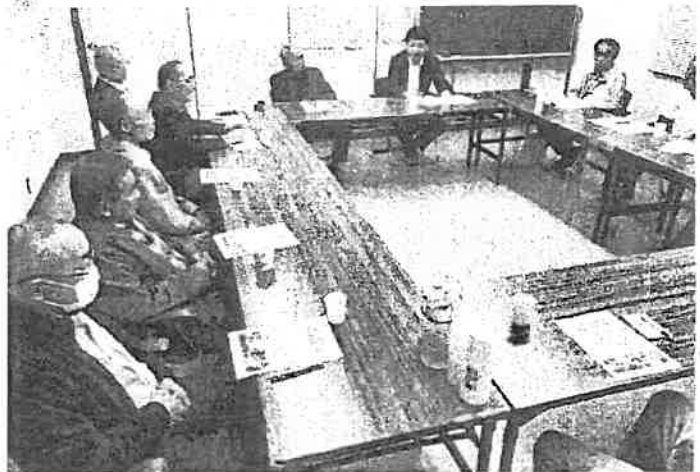
⇒（Aさん）作った作物を全部取られるのでは、やる気も失せる。口上林ではダメだと綾部地区に畑を借りる人までいる。

⇒（源太郎）今は熊の檻にかかれば、殺処分が出来るようにはなった。他の檻の場合はすぐOKとはならない。丹後では中丹よりもっと増えているし、絶滅寸前種の見直しをしなければならない。知事も「レッドデータブックの見直し」を9月府議会の代表質問で答弁された。20年前ごろから鳥獣害がひどくなった。それまでは何ともなかった。野焼きを禁止にしたことも、農村を安全地帯にしてしまったのではないだろうか。夜間に消音銃で狩猟を可能にするとか、法改正もして個体を減らす具体策を考えていかなければならない。

◎（Eさん）府有林の件で、井根、一区、真野の府有林の境界立ち合いをして、皆伐をすると聞いたがまだのようだ。井根、一区は6月に、真野は夏に立ち合いをした。その後、音沙汰ないが、落札する業者がいらないのではないかと現況を教えてください。

⇒（源太郎）確認する。

【回答】府林業課興課の臼井課長に確認したところ、「立木調査など、まだ調査できていないことがあり、それは令和2年度予算での調査になるため、入札は令和2年度中に実施することになると思う」との回答がありました。



◎（Cさん）業者に除雪をしてもらおうがムラがある。均一にやってほしい。

⇒（源太郎）建設会社も従業員の高齢化と減少でなかなか除雪の人手がない中、お世話になっている。朝の3時や4時に起きて作業し、できるだけ均一にやろうとしてやってもらった結果であり、仕事とは言え、なかなか言い辛い状況にあることをご理解いただければありがたい。どうしてもという部分はおっしゃっていただければ、土木事務所に伝えます。

⇒（森市議）市道に関しては、私に言ってもらったら綾部市へも要望します。

◎（Dさん）山陰本線の複線化の進捗状況は？

⇒（源太郎）京都府建設交通部の毎年の運営目標や今回策定した新総合計画、綾部市から京都府への最重点要望に山陰本線の複線化も入っていて、私は府議会で強く求めている。複線化して京都までの時間が短縮されれば、通勤圏にもなり、人口減少の歯止めになる。今後も努力したい。

◎（Eさん）井根町の急傾斜工事は毎年10月頃から始まって、3月ギリギリまでするといった工程が4年間続いている。5年間の工事だと聞いたが、その都度予算をとってからでないといと工事ができない期間が半年もあるし、担当者も代わるし、業者も代わる。土木事務所の河川砂防室長はこれで3人目になり、

引継ぎがきちんと出来ておらず、用地買収が忘れられていたところがあって、地主の指摘で慌てて対応されたが、工事の予定が変わってしまったようだ。

⇒（源太郎）2月議会で3月中旬に予算が決まるが、そこでは総額が決まるだけで、ゴールデンウィーク明けに箇所付けが決定され、それから入札の準備等に入る。10月というのは確かに少し遅すぎる気もする。4月の天候の良い時期に工事をするために、最近では予算の繰越しや前倒しの債務負担行為も活用している。今年は特に、国からの予算が多く取れたので、箇所発表が例年よりも1ヶ月ほど遅れた。京北部の土木事務所の職員確保に苦慮していることも仕事の遅れにつながっていると思う。新規採用職員しか、なかなか北部に来てくれない。30代後半から40代の職員が少ないこともある。子どもが中高生だと、単身赴任や家族での転居を嫌がられる。地域手当の差も大きな原因だと府議会でも主張している。

【回答】土木事務所に状況確認したところ、「毎年、速やかな工事発注を心がけているが、結果として10月頃の工事着手となってしまいました。今後は工事が遅切れることがないように、予算等の手続きを行います。また未買収地については急傾斜事業の要件に該当しないということが判明したため、計画区間から除外されたものです」と回答がありました。

◎（Gさん）武吉町自治会では、今年度も府民協働型インフラ保全事業で府道に関する要望2件、河川の要望1件を提出しているので、採択してもらえるように、働きかけをよろしくお願いします。

⇒（源太郎）分かりました。問い合わせさせていただきます。

【回答】3件のうち、府道1件と河川1件の2件は採択されて実施されます。府道の樹木伐採1件については、現状では通行に影響がないことから実施せず「経過観察」となりました。



【綾部】10/25（金）19:00～ ITビル（西町1丁目）梅原哲史市議ほか6名



◎（Aさん）綾部駅の南側は以前と比べてさみしくなっている。福知山の商店街は地域おこし協力隊を募集して1人応募があったと聞く。綾部でも何かしないと。イベントで集客しても、終わればそれだけだし、イベントで来た人が残ってくれるように、若い人でチームを作って考えて欲しい。

⇒（源太郎）賑わいづくりのためには市街

地に飲食店をどう増やすかが重要だと思っている。綾部市外の人にも来てもらえるようなお店をたくさん創り出すことが重要だ。綾部の中心市街地に、屋台村的なチャレンジショップを作る計画を先日にも綾部の若い世代で話していた。また、綾部には市街地には家族がレジャーで泊まれる施設が少ない。今後、空家を宿泊施設にするのはどうかと考えている。綾部から福知山へは最終0時19分まで電車があるので、福知山からも来てもらえるくらい飲食店が増えれば、二次会、三次会のスナックなどにも波及効果がある。

⇒（Aさん）隠岐ノ島の海士（あま）町は上手に若者を集め、「地産外消」で様々な取り組みをして全国から注目を集めておられる。綾部市でも、もっといろいろ考えて欲しい。

◎（Bさん）私の実家のある野田町は市街地でもなく農村でもなく中間地域だと思う。人口減少が激しく、10年たったら人がいなくなるのではと心配している。実家のある集落を少しでも残したいと思うが、近隣の畑の荒れ方のスピードもとても早い。①農業で生活はやっていけないと思うが、最近、丹波栗を作れないかと考え、先日、鳥獣対策の柵を綾部市から借りる事業があるので相談に行ったが、1人では貸せない、3人集めないとダメだと言われた。1人では借りられないものか？1人でもやれる人があるのならやってもらうべきで、3人以上というのは時代錯誤ではないか？②府道広野綾部線を含む「綾部環状道路」が出来たら、野田町内の交通量が増えるのではないかと心配している。老人が多く、道路横断で交通事故が心配。

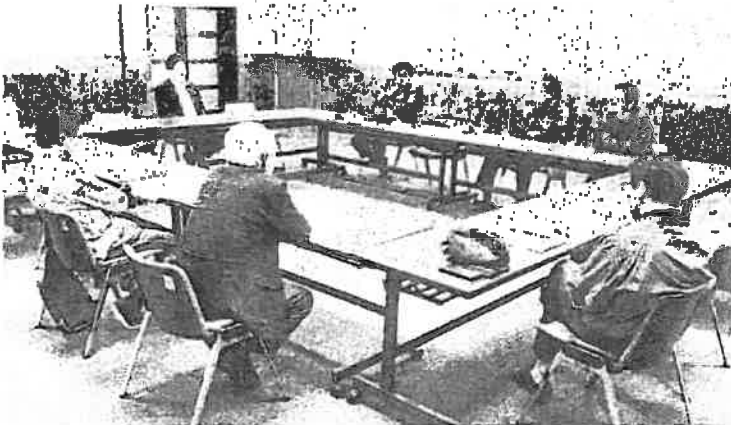
⇒（源太郎）①柵の貸し出しの人数制限は、国や京都府の施策なら綾部市では判断できないが、綾部市独自の事業なら何とかできるのではないかと。綾部市にも内容を確認しておきます。②広野綾部線の「綾部環状道路」は野田町の交通量には、そんなに影響がないのではないかと考えている。

【回答】①綾部市農林課に確認したところ、「侵入防止柵設置事業は国庫補助金を活用しており、定められた基準に基づき（3人以上の団体）実施しなければならないため、個人への貸与はできない」という回答でした。国の規定であるようで綾部市の一存では崩せませんが、法人である必要はないので、3人以上で団体を組織いただければ貸出可能になります。②現時点で、野田町にどのような影響が出るのか定かではありませんが、そうなった場合には何らかの対応をしなければならないと考えます。

◎（Cさん）①事業承継の施策が重要。やっぱり後継者がいない。今まで頑張ってきたものを閉じるのも忍びない。承継のシステムを作ってもらえれば、よそからの後継者でも有難い。②初めにも意見が出

たが、綾部市街地は駅南や西町から駅北にシフトしている。グンゼから大本につながるように仕掛けていこうとしているので、支援をよろしくお願いします。③また、良いところを見るような「ふるさと教育」「環境教育（水とゴミに集約した教育）」「IT教育」が大事だと思う。教育の予算はたくさんとってやってほしい。まずは親が子どもに「綾部はダメだ」と言ってはいけない。

⇒（梅原市議）駅を降りて初めて会う人、たとえばタクシー運転手さんに「綾部には何がありますか？」と尋ねた観光客にどう答えてもらうかも重要だと思う。



⇒（Bさん）福知山の人に、現長付近の由良川河畔は景色が大変良いと褒められた。昔は由良川に遊覧船が走っていたとも聞く。

⇒（Aさん）遊覧船もあったし、屋形舟、貸しボート場もあった。野田町にはローラースケート場もあったし。

⇒（源太郎）並松町の現長前は堤防が未整備だが、私も委員を務めている国交省の「並松地区堤防景観検討会」の中では道路

を1メートルあげて、その上にさらに1メートルの擁壁を作る計画が出されている。河川法が20年ほど前に改正され、地元の意見を聞いて堤防整備するようになったので、景観に配慮された整備を求めている。

【回答】①「事業承継」の相談窓口は京都産業21の中にありますが、商工会議所でも相談に乗れますし、私にご連絡いただければ京都府の商工労働観光部や振興局の関係部署とつながらせていただきます。②もちろん支援いたします。③ご意見として承りました。

◎（Bさん）第二市民グラウンドは今後どうされるのか？

⇒（Dさん）野球関係者に聞くと再整備を要望する気はないようだ。

⇒（梅原市議）綾部市も今後、予算を入れるつもりはないとの答弁だった。

⇒（源太郎）3千万で修復したが、その年すぐに浸水して被害が出た。他に新設する土地も予算もないので、今の場所を修復するのが最も簡単に出来る方法だと思うが…。

⇒（Aさん）上野の蚕糸試験場をグラウンドにすればどうか？

⇒（源太郎）あそこは他にも希望があるし、金属バットでボールを打つと音の苦情も出るのではないかな。

【回答】綾部市文化スポーツ課長から「第2市民グラウンドは、平成25年に台風18号による被害があり、約3千万円の経費をかけて復旧しました。その4年後、平成29年にも台風21号水害で冠水被害を受け、汚泥（ヘドロ）の流入や流木の堆積等により破滅状態となりました。今後の第2市民グラウンドのあり方については、綾部市スポーツ協会や年間を通して利用がある少年サッカー・野球チームとも意見交換をさせていただきました。第2市民グラウンドは、5年間で2度の大きな災害を被っており、復旧には多額の経費を要することや、近年の気象状況から、非常に困難であると考えています」と回答がありました。

◎（Dさん）神宮寺の府営住宅（神宮寺町加迫 10）が廃墟状態になっている。市営住宅は、転居されると取り壊されているが、1つだけ残っていて、住民が疑問に思っている。京都府は壊してくれないのか？

⇒（源太郎）府営住宅も空いたら壊していると思う。確認します。

【回答】今後の計画について確認したところ、京都府住宅管理センターから「令和2年度に建物を取り壊し、撤去する予定」と回答がありました。



◎（Dさん）南西町は土地の権利関係を取りまとめられるのなら、いろんな方法があると思うが、それができないだろう。起業支援をするにもどう

情報提供するか。

⇒（梅原市議）綾部市や京都府はこれまでとの比較数字だけを見て、卸も小売りも綾部市の商業は発展していると評価している。

◎（Eさん）千曲川での堤防決壊等の災害が起きた今年の台風19号のような大型台風が来たら、由良川堤防は大丈夫なのか？

⇒（源太郎）あんなのが来たら、どうにもならない。逃げてもらうしかない。時間雨量が30ミリ、累計が300ミリを超えると逃げてもらった方がいい。

⇒（Aさん）ここITビルは避難所になっていない。

⇒（源太郎）正暦寺を避難所にしてもらったように、空調や食料、テレビがあるところを避難所に、また避難所の数も増やすようお願いしていきます。

【豊里（佐賀）】10/26（土）19:00～ 私市公会堂（私市町）高倉武夫前市議ほか14名



◎（Aさん）①高速の4車線化工事で、馬場池に橋台が立ち、池と用水路がオーバーフローし、水路の横を走る市道のアスファルトをめくり上げ、府道にまで土砂が来た。府議にも見に来てもらっていたそうだが、森本川の水がちょっとした雨ですぐにオーバーフローする。11月10日にNEXCO西日本が私市自治会に説明に来られるので、水、騒音、振動の問題を相談しようと思っている。

その結果によっては府議にも後押しをお願いしたい。綾部市建設部は高速からの雨水排水が馬場池の水に影響する割合は11%だと言うが、4車線化されたらその倍の22%になるのではないかと考えており、排水を池とは違うところに流してもらふことも相談しようと思っている。騒音対策も今でギリギリだそうで、4車線になれば防音壁をつけてもらわなければならない。

⇒（源太郎）森本川は藤岡市議と共に見に来てさせてもらって、状況は確認している。森本川下流の家に渡してあるコンクリートの橋に水が当たって跳ね返り、アスファルトをめくっているのではないかと

⇒（Aさん）森本川は土砂ですぐ埋まってしまうので、コンクリートの橋があろうとなかろうと関係ないと思われる。大雨になると吹き出し、ぶつかって削っていく。時間雨量が100ミリを超えると、土砂が流れ、栗村井堰の用水路にぶつかる。以前、ポンプ小屋下流70～80メートルの土砂は京都府がよけてくれて助かった。

⇒（Bさん）そもそも栗村井堰の水路が狭い。

⇒（Cさん）森本川の土砂被害は、平成26年にも同じことがあり、NEXCOに頼み、農地から全部やってもらった。

⇒（Aさん）京都府がアスファルトを取り除いて砂利を撒いて圧をかけることまではやってくれて、舗装は綾部市がやってくれた。

⇒（Cさん）平成28年の4車線化の説明会の際に遊水池（地下タンク）を作ってほしいとNEXCOに要望したがそのままになっている。今年2月に綾部市に確認したが、そんな議事録は残っていないと言われた。私は確実にそういう話をしたのに…。

⇒（Aさん）②森本川が栗村井堰にぶつかる所、府道の側溝のすぐ下も崩れかけている。栗村井堰に自治会長名で要望をして栗村井堰から京都府に補助申請してもらっている。10メートルほどの箇所、予算は80万円くらい。府議からも京都府に頼んでほしい。

⇒（源太郎）それはどういう補助金ですか？

⇒（Dさん）水土里ネットの「会員支援事業」です。確認してみたら、担当者が台風19号対策で東北に行かれており、不在のため連絡ができないと言われている。

⇒（Bさん）上流の方も崩れかけているが、栗村井堰には予算がなく全面的に改修ができない。

【回答】①綾部市建設課から「馬場池内に築造された橋脚による貯水量の減少に関しては、工事用仮設

道路の撤去に併せ、堆積土の撤去を行う事で、元々の貯水量を確保するよう NEXCO に要請しています。森本川については、綾部市としても、下流域への影響を考慮したうえで、可能な部分改修や流量分散が図れるよう、現状把握と分析を行い実施計画を検討しています」と回答がありました。②10月28日に京都府農林水産部に確認したところ、栗村井堰からは今年、別の箇所と同じ補助をしており、同年に2カ所は難しいとのことでありましたが、「私市は災害多発地域であり、住民の皆さんはナーバスになっておられる。栗村井堰も財政が厳しいので独自での整備は困難であり、なんとか補助してほしい」と再度の検討を強く要請。後日、連絡があり、「今年度の事業で補助する」ということになりました。

◎（Cさん）府民協働型インフラ保全事業で、府道に横断管を整備してもらい、順調に流れている。ありがとうございます。

⇒（源太郎）まだ10月末までは二次募集の受付中なので、他にも何かあれば申請をしてください。

◎（Aさん）①中丹支援学校前の道路整備は、用地買収も今年度中にできると聞いていて、工事は来年の耕作後からと聞いていたが、最近の説明では来年は予算がなく再来年になるとのこと。災害復旧が優先で仕方がないのかも。

⇒（源太郎）あそこの道は中丹支援学校の通学路だが、歩道もなく危険である。京都府教育委員会にも「支援学校周辺の交通安全対策をもっとしっかりとと言わなければならないのではないか」と府議会の文教常任委員会で指摘するつもり。土木事務所には早期工事を要望していく。

⇒（Cさん）②国の築堤の買収では、用地買収が終われば、そこは触るなど言われ、手付かずになって草だらけになってしまっている。工事をすぐにしないのなら、せめて管理はしっかりとしてほしい。

⇒（Aさん）③今回の府道整備によって、車庫等が取り除かれて見通しは良くなるが、逆に通行車両のスピードが出過ぎないか心配。スピードを落とす方法はないか？

⇒（源太郎）買収後の管理の懸念は土木事務所に伝える。府警本部では移動式オービスの運用が始まっている。そういったものを使えばスピードは抑制されるかもしれないが、地域住民の方々がその取締りについてどう思われるか。注意を促す看板をつけるとか、路面標示とか、そういう方法もあるが…。

⇒（Dさん）路面に凹凸をつけるとかの方法は？看板は通行の邪魔なので置いてほしくない。

⇒（源太郎）路面の凹凸は騒音が大きいですが、地元の方の了解があればつけることは出来るのではないかと。ただ一回つけると、取り外すことは出来ないなので、慎重に判断しないとイケない。

⇒（Cさん）法線を曲げる？点滅信号をつける？という方法は？

【回答】①②中丹支援学校前の道路は通学路でもあり、早期の工事着手が求められています。12月議会の文教常任委員会で橋本教育長に対し「建設交通部に工事の早期実施を要望してほしい」と要請し、橋本教育長は「私から富山建設交通部長に直接お願いする」と答弁されました。その後、富山建設交通部長と土木事務所から「令和2年秋以降に工事着手する予定」と回答がありました。買収が終われば、速やかに工事に着手するように引き続き、働きかけます。③土木事務所からは「スピード注意等の路面標示を検討します」と回答がありましたので、府民協働型インフラ保全事業での申請をいただければ、採択されるよう働きかけます。

◎（Eさん）私市は田んぼに行くのに道路を横断しないとイケないのだが、通勤、帰宅ラッシュ時には

車が多い。集落の中だけでも追い越し禁止の黄色いセンターラインにしてほしいとの要望を以前から出しているが、なかなか実現しない。

⇒（源太郎）口上林でも同じ要望がある。要望を通すには、綾部市でとりまとめて市長から府警本部に要望するという必要もあるのかもしれない。

**【回答】綾部警察署と土木事務所にご懸念の点はお伝えしました。綾部警察署からは「同区域内においては、カーブが連続する道路環境であることから追い越しをする車両は見受けられず、また、追い越しを原因とした交通事故の発生もないことから追い越し禁止規制の必要性が認められません。速度の抑制対策として、府道舞鶴綾部福知山線は栗町方面では50キロ規制となっているところを、要望箇所では40キロ規制として速度の抑制を図っています。横断歩行者対策としては、集落に2カ所横断歩道を設置しており、横断歩行者の安全を確保するための法定外の警戒看板の設置や路面標示などについては道路管理者に要望していただきたい」と回答があり、道路管理者である土木事務所からは「（スピード注意）等の路面標示を検討します」と回答がありました。**

◎（Dさん）府議が選挙の際にスポット演説をされた箇所、小屋のところに街灯がない。

⇒（源太郎）京都府がつける街灯は交差点のみで、あとは自治会でつけることになる。

⇒（Aさん）自治会の街灯のLED化がほしいので、次はそういったところに綾部市の補助制度を活用して自治会で設置していこうと思っている。

◎（Cさん）府道私市大江線には速度制限がない。公安委員会に聞いたら、道路の整備をしたら付けてもらえる聞いたが整備は難しいだろう。

⇒（源太郎）確認しておく。個人で府民協働型インフラ保全事業に申請するだけでなく、自治会の総意で要望した方がいいのではないかな。自治会でもご相談を。

◎（Bさん）川鴨が多い。対策は？

⇒（源太郎）上林川でも相当多いし、由良川沿いでも被害が大きい。線をはっても避けるし、なかなか方法がない。

**【回答】川鴨対策は府全体では年に170万円程度の予算（1/2補助）で実施している。ご連絡いただければ、府の関係部署に話をします。**



◎（Fさん）①縦向き水路の水量

が多すぎて、東西水路の水が入らない。東西水路の拡張をすとか、深くすとか、東西水路にも着目してほしい。②それと、綾部市立病院は、特に月曜日、駐車場がなくて困っている。また、耳鼻咽喉科は、月曜日と火曜日がお休みで、木曜日午後診療、そして嚥下の先生が休まれたら急に休診になるので困っている人が多いのではないかな。

⇒（源太郎）②耳鼻咽喉科の常勤医を戻してほしいとは京都府や府立医大に綾部市から要望している。なかなか難しいが…。

【回答】①栗村井堰土地改良区で補助金を受けて整備していただくこととなりますが、ご要望については理解いたします。②綾部市保健推進課から「市立病院の駐車場については、曜日によっては満車になる時間帯（9時30分頃から1時間程度）もあるが、慢性的に駐車場が不足している状況ではないと認識しています。病院の正面（東館前含む）は満車であっても、第2、第3駐車場に空きがある場合が多いので、ご利用いただきたい。耳鼻咽喉科については、非常勤医師（4名）のみで診察しているため、急な休診や診察時間の変更が生じることが多く、患者様にはご迷惑をおかけしています。京都府立医科大学に対する要請や京都府知事に対する要望活動などを継続し、常勤医師の確保に努めていきたい。※耳鼻咽喉科の休診日は火曜日のみ」との回答がありました。

◎（Gさん）災害防災無線は綾部市からの放送は聞こえるが、自治会の放送はほとんど聞こえない。雨なら尚更聞こえにくい。

⇒（Aさん）スピーカーの向き等々によると思う。今から考えれば、有線やオフトークは便利だった。ライブビジョンはあまり普及していない。

⇒（源太郎）無線には限界がある。直接、電話するとか、違う方法を考えていくしかないと思う。

⇒（Cさん）前回の災害の時、綾部市は「職員の人手が足りない」とが「私市は今まで災害がなかったの」という対応だった。それはおかしい。

⇒（源太郎）お怒りはごもっともだ。一方で、全国で災害が多発する中、災害に対する経験も認識度も上がり、京都府や綾部市の職員を含め、みんなが災害に関して学んできている。以前はその経験値が少なかったかもしれないが、職員も努力していると思う。住民は危険から逃げる意識をどう持つか、考えていかなければならない。避難所の場所を増やすとか、避難しやすい（空調、電源、テレビ等がある）避難所の確保も今後の課題だ。

【回答】綾部市防災・危機管理課から「屋外スピーカーは暴風や大雨時には音声聞き取り難いといった指摘があることは承知している。一つの手法だけですべての市民の皆様には情報伝達することは難しく、市ではテレビのデータ放送やFMいかる（76.3MHz）への緊急副送放送、携帯電話を活用した緊急速報メール、ヤフー防災アプリ、市の登録制メールマガジン（あやべーる）やホームページ、消防団による車両広報のほか、連合会が運用されている地域内のメールマガジンや音声での放送が可能なライブビジョンでも伝達させていただくなど、情報伝達手段の多重化に取り組んできたところ。こうした手法の他に、自助・共助による自治会や自主防災会の連絡網による情報伝達についても、ご協力をお願いしている。こうした情報伝達手段については、出前講座などの機会を通じて啓発・周知に努めているところであり、市民の皆様にはできるだけ複数の入手方法をお持ちいただくようお願いしている。なお、防災行政無線には、放送内容を再確認できる機能を備えており、音声聞き取りにくい場合は、0773-42-4700に電話していただくと、先の放送内容を確認することができる」と回答がありました。

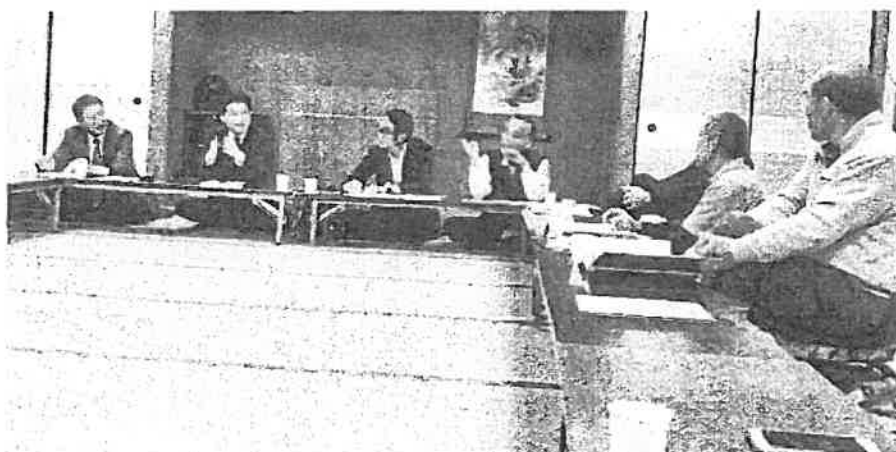


【中筋】10/28（月）19:00～ 市ふれあいセンター（大島町）高橋輝市議員ほか11名

◎（Aさん）別紙で説明。ヒナサキ川の溢水／本泉庵撤去跡地の崩落の心配に関して。①ヒナサキ谷の京都府の砂防堰堤から下流の集水樹が溢れる。京都府には集水樹から下流の水路の拡張を要望しているが、水路は京都府の所有ではない。先週、金曜日には土木事務所から代替案を示された。②本泉庵（地元の購で所有）の撤去をするのに裏山の木を売られたため山の地肌がむき出しになっており、自治会から申し入れて桜の植栽（100本）をしてもらったものの、まだうまく根付いておらず、土砂崩れを心配している。専門家に調査してほしいと思っている。

⇒（源太郎）①②土木事務所と京都府中丹広域振興局の農林部局に確認する。

【回答】①土木事務所からは「大雨時に民地や林道から流水と一緒に土砂が流出し、樹から土砂が溢れており、その対策として樹上流の水路への土砂流入防止対策を実施します」と回答がありました。②京都府中丹広域振興局農林商工部に相談したところ、現地調査にも入っていただき、「本泉庵の裏手の山の植栽がうまく根付かなれば、再度植え替えをするという届け出が鞍部市に出されており、京都府も来春頃に地元と調整して、植栽のアドバイス等していきたい。現状で土砂崩れの心配はないと考えている」と回答がありました。



◎（Bさん）①平成28年度末で中筋商工繁栄会が解散し、府道沿いの街路灯が撤去された。岡町から宮代までが特に暗い。高津も数灯つけたが、まだ暗い。②中筋地区は子どもの数も増え、子育て環境の充実として、公園が出来ないか？子どもや親御さんの交流の場ともなると思う。

③以前からの延町の内水対策には古川樋門の排水ポンプ場が整備されることを期待している。他にも中筋地区には内水対策が必要な箇所がある。特に上延町前田や沢、綾高東側、高津町の線路の北側など。

④避難場所をもっと充実させてほしい。昨年、6回の避難所運営を経験した。自治会の正副会長が開設の担当になるが、自治会役員には高齢者が多く、自分の家族のことも心配だ。避難所になっている「ふれあいセンター」の和室に上がるところは段差があり、中筋小学校の体育館にしても2階で高齢者には上がるのが難しい。バリアフリーの施設があるとよい。また先日の台風時の東京都狛江市のように、避難指示を出しても全員が避難すればとても受け入れきれないことも考えなければならない。避難所には土のう等、徐々に備品を揃えてもらってきたが、まだまだ課題が多いと感じる。⑤河川の浸淫は、安場川は先日きれいになったが、砂防堰堤のところは要望してもなかなか取ってもらえない。砂防堰堤が埋まっても、土砂を取り除かなくても大丈夫なのか？

⇒（源太郎）⑤砂防ダム、治山ダム、様々なものがあるが、山の奥にある砂防堰堤は、山全体の崩れを防ぐものが多く、逆に埋まっていないと機能を果たせないものもある。



⇒（Bさん）⑥山陰本線北側、荒倉川沿いの府道のお地藏さんのところは法面が10か所ほど、水漏れをしている。写真を撮ったが京都府には認めてもらえない。また下水処理場が、一昨年の台風と、7月豪雨で逆流して、下水が溢れたところがある。対策を！

⇒（高橋市議）水量が増え、荒倉川を封鎖すると、逆流する場合がある。綾部市には話していて、大雨が予想される際には処理場の貯留槽を空にしておくとか対策は考えてもらっている。

⇒（源太郎）①街路灯について、京都府は交差点にのみ設置して、あとは綾部市の補助を受けて自治会でつけてもらっている。他地域でも同じ対応なので、中筋だけというわけにもいかず、ご理解いただきたい。②中筋地区内でたとえば提供してもらえるような公園の適地はどこにありますか？中筋ではないが、綾部市としては柴水ヶ丘公園を整備し、遊具も新しくなり、きれいになった。むしろ最近の雨の時の屋内の子どもの遊び場がないという要望を若いお父さんお母さん方から聞いている。



⇒（高橋市議）公園の件で、この大島中自治会のコミュニティ広場って、どこの所有ですか？

⇒（Aさん）薬師堂のところ？それは福田神社の所有地かな？

⇒（高橋市議）中筋小学校のグラウンドに、もう少し遊具を置くというのはどうですか？

⇒（源太郎）中筋子ども園の園庭を活用するのは？

⇒（Bさん）高津では夏休みに高津コミセンのグラウンド開放を

求められている。屋内だけでなく、そういう外で遊びたいという要望もある。

⇒（源太郎）③内水対策は、延町では排水ポンプ場を作るので、少しは解決するかと思っている。上延町の前田や沢は以前に高橋議員と一緒に見に行ったが、家がすでに建ち並んでいて、なかなか難しい課題。

④一昨年、奥上林で550～600ミリ降ったとき、土石流が古和木の砂防堰堤を突き破った。今夏の台風の際の箱根の1000ミリなんて考えられない。累計雨量が300ミリとか時間雨量が90ミリになると、避難したほうが良い。しかし、避難所の状況がおっしゃるような悪い。電源もない、空調もない、テレビもなくて、どうなっているかも分からない。企業や商店、個人宅でも協力してもらえるところには避難所指定していったらどうだろうか？昨年の7月豪雨の後、うちのお寺（正暦寺）の総代会で相談して、正暦寺も避難所指定してもらった。独居や高齢者のみ世帯の檀家さんにも早めに避難してくださいと促している。バリアフリーの高齢者避難所という点では中筋にある福祉施設に協力してもらうのはどうか。

「ふきのとう」や「さくらホーム」など。避難所開設を自治会長さんだけに頼っているというのも今後は無理が出てくるかもしれない。自治会役員の皆さんはもちろん消防団員もボランティアで出動しているし、消防団OBや市職員や府職員も対象として「防災ボランティア」を募る必要もあるのではないかと。

【回答】①綾部市商工労政課からは「中筋商工繁栄会が解散される時に、地元自治会に対し街路灯の設置の提案を行ったが、当時は必要性について要望が無かった経過がある。街路灯については自治会での設置でお願いしたい」と回答がありました。②公園について、綾部市都市計画課からは「中筋地区には

上延町に3箇所の都市公園及び都市緑地、大島町に1箇所の都市公園を開設している。新たな公園の設置は、用地の取得や整備費用の調達も困難であり、現在のところ考えていない」と回答がありました。新たに整備するのは市の予算的に難しいですが、学校等の校庭利用など、既存施設の活用がさらにできないかとは考えます。③綾部市下水道課から「市街地の雨水排水路（旧都市下水道）の排水能力の改善といった課題に対する検証・検討を行ってきたところで、優先度に応じて段階的な整備を図ることとして〈雨水対策基本計画〉に基づき現在、延町に雨水ポンプ場を整備しているところです。綾部高校の東側の雨水排水路については、南側の四尾山から広範囲にわたる排水を受けており、近年の降雨状況において排水能力を超過するところも一部確認しています。このことが課題と認識しており、緊急的な対策として雨水排水路の壁のかさ上げなどの対策を実施したところ。全般的な雨水排水路の改修については下流から整備していく必要があります。長期にわたる計画が必要となるため、これに先立ち局所対策について調査を行っていきたいと考えています」と回答がありました。④綾部市防災・危機管理課から次のように回答がありました。「綾部市では、災害時の福祉避難所として、市保健福祉センターを開設するほか、松寿苑、さくらホーム、いこいの村、丹の国福祉会、謝ミストラルのご協力を得て、一般の避難所では潜在が困難な要配慮者の方の受け入れをお願いしているところ。この他にも、自治会や自主防災会の取組として、福祉事業者と地域の要配慮者の受け入れに関する協定を締結するなど、共助のご支援をいただいている。各地区の避難所の開設・運営については、各自治会の皆様に大変お世話になっている。避難所の開設・運営は、災害発生直後は、市の職員が施設管理者や避難者の協力を得て応急的な運営を行っている。避難が長期化した場合は、自治会や自主防災会、消防団の皆様のほか、福祉・医療など防災関係機関やボランティア等の協力を得て、避難者による自主的な運営に移行し、避難所外避難者も含めた地域コミュニティの場となるよう取り組みたい。⑤荒倉川の砂防堰堤について「一定土砂が堆積することにより、堰堤の機能が発揮されるものであり、現在のところ、土砂撤去の必要はありません」と土木事務所から回答がありました。⑥「荒倉川の下を綾部用水が横断している部分の護岸湧水については、まずは綾部用水で対応していただくことが基本となります」と土木事務所から回答がありました。

◎（Cさん）先日、安場のヘアピンカーブになっている三差路の測量に業者が入っていた。交差点改良がすぐにできるのか？できないのなら三差路に停止線を引いてほしいと京都府にお願いしている。京都府へ行けば「警察へ行ってください」と言われ、警察へ行けば「京都府へ行ってください」と言われるが、どちらに行けばよいのか？どこの担当になるのか？

⇒（源太郎）京都府では現在、「綾部環状道路」を構想中で、その計画の中では安場の三差路を通らないバイパス道路の計画があるが、完成にはまだ時間がかかる。「綾部環状道路」は大きな構想であり、時間がかかるだろうが、少しずつでも工事をしてもらわないと住民に理解してもらえないと土木事務所に言っている。昨年、まずは上延や安場の箇所からでも…と少し進むかと思っていたが、今年度、京都府建設交通部長と中丹東土木事務所長が人事異動で代わり、「綾部環状道路」に真正面から取り組むことに方針が変わった。道路規制に関するものについては公安委員会（警察）の管轄になる。

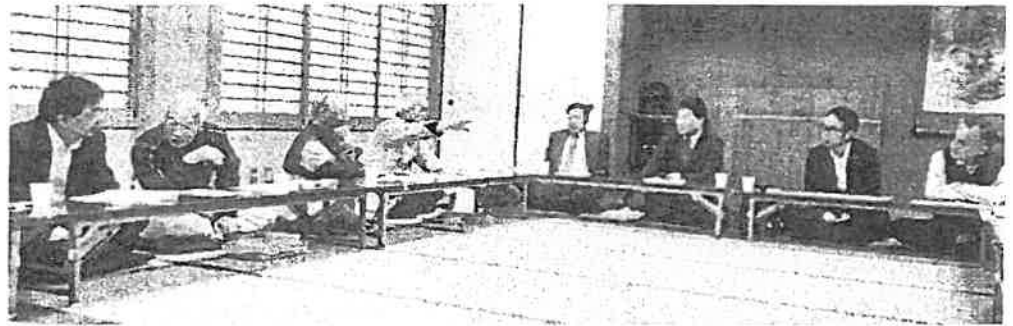
【回答】土木事務所から「府道三俣綾部線の三差路の停止線を引き直します」と回答がありました。

◎（Dさん）①夕陽ヶ丘は急斜地であり、土砂災害警戒区域である。夕陽ヶ丘のアヤボウの寮の上の方の山中にある砂防ダムから80メートルほど綾部中学校寄りにV字に崩壊している箇所があり、大丈夫な

のかと懸念している。②また、自治会25組の衣川さん宅付近の市道法面のブロックが膨らんできていて、近隣住民が不安に思っている。また、美化作業をするのだが、高齢者も増え、市道の法面が絶壁で危険だ。③空家も増えてきたが、夕陽ヶ丘はほとんどが崖地で新築できない。取り壊して整地しても税金が上がるだけ。今後は人口も増えないのではないかと懸念している。子どもの数も15人を下回っている。  
⇒（源太郎）①神宮寺から夕陽ヶ丘にかけての寺山、四ツ尾山の斜面は崩壊すれば綾部の街が壊滅するので、あってはならない。神宮寺では昨夏の豪雨の後、上の方で土砂が落ちてきているのを確認した。V字の崩壊箇所は土木事務所にも話をしておきます。②市道法面の件は綾部市に話をします。

【回答】①土木事務所から「夕陽ヶ丘ふれあい公園の法面が崩れていますが、砂防指定地外の崩壊であり、綾部市の管轄となるため、綾部市にその旨、連絡し確認を依頼しました」と連絡がありました。そこで、綾部市に現地の確認を依頼したところ、「本件については、令和元年11月21日付けで夕陽ヶ丘自治会から地元要望として要望書を受理したところ、綾部市農林課において11月28日に現地確認を実施。京都府治山事業に採択されるよう京都府に対し働きかけるため、地元から京都府治山事業実施要望について要望書を綾部市に提出していただくよう依頼している。ただし、崩壊面から保全対象である人家へ距離があり、要望をいただいている他の現場と比較して優先順位は高くない」との回答がありました。②綾部市建設課から「市道法面、天端ブロックの膨らみについて確認した。今後、市の方でも法面について何らかの対策を検討していくが、地元の皆様で法面の異常に気が付かれた場合は綾部市建設課に連絡をいただきたい」と回答がありました。

◎（Eさん）①安場川の上流の方、上延町打越付近は川の流れがぐねぐねしている。まっすぐにするのは費用がかかると思うのだ



が、なんとかならないか？浚渫はしてもらったが、橋から先がまだで、葦も伸びている。延町付近もまだである。②さところ動物病院のところのカーブの信号付近はカラー舗装にはならないか？③打越の市道橋が狭くて、救急車が入れない。橋の補強をしてもらったとしても、救急車や消防車が入れないのもどうかと思う。④大池の排水溝は、水量が増すと、前田の水路に逆流する。且寺の水を夕陽ヶ丘に流せないものかと思っている。⑤避難所も上延町公会堂は急傾斜地にあり、且寺集会所を避難所にしているが、30人のキャパしかないところに岡町の方も避難される。150人来られても入りきらないので別の避難所を考えて欲しい。

⇒（源太郎）①川の流れを変えるのは難しい。安場川については、当面、土砂が溜まれば要望を繰り返して浚渫してもらえない。うちの事務所にも要望された旨を連絡してもらえば、土木事務所に進捗等を確認できる。自治会等から直接に要望を出された分は全てがこちらに連絡あるわけではない。分かれば問い合わせはできる。府民協働型インフラ保全事業で申請してもらうと、その分はこちらでも把握できる。「実施する」となった箇所は特に指摘しないが、「実施しない」となったのがなぜなのか？地元事情を聴いていけば、それを説明して、別事業もしくは次回以降の申請であっても、何とか実施しても

らうように土木事務所と交渉するのが府議としての仕事だと思ってやっている。②土木事務所に確認する。③④⑤綾部市にご意見ご要望としてお伝えする。

⇒（日さん）単独自治会で要望を出すより、中筋地区自治会連合会として出す方がよいのか？

⇒（源太郎）それはそうだ。中筋地区で相談してもらって事業の優先順位をつけてもらおうと、京都府や綾部市も実施しやすくなると思う。

⇒（Cさん）救急車が入らないところは綾部の他の場所にもあるのか？

⇒（高橋市議）高津にも入らないところがある。

⇒（Fさん）上延は打越だけだろう。

⇒（源太郎）市街地でも井倉町にもあるでしょうし、広小路や中ノ町の裏通りにも入れないと思う。

⇒（Cさん）細い道でも入れるように軽の救急車はないのか？

⇒（日さん）救急車には設備もあるし、ストレッチャーを載せる必要もある。乗車人数の制限も考えると軽自動車では難しいと思う。

【回答】①安場川の護岸や草刈りについては、府民協働型インフラ保全事業で申請していただければ、京都府に実施を働きかけます。②さとこ動物病院前の交差点については「カーブ区間の原則を促すため、路面標示やガードレールに設置した視線誘導標の更新を検討します」と土木事務所から回答がありました。③綾部市建設課から「今年度、打越橋の老朽化により架け替えを実施している。市として、これまで幾度か市道打越線の拡幅改良を計画してきたが、用地の取得に課題があり、事業実施には至っていない。打越橋の前後の市道が拡幅されると緊急車両の通行は可能との判断をしている。また、現在、安場川の河川整備計画（京都府管理）が無いのも要因と考える」と回答がありました。④今後の課題として、どうすれば良いのか、地元の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。⑤綾部市防災・危機管理課から「地域防災計画では、中筋地区の緊急避難場所としてふれあいセンターや中筋小学校を指定している。いずれも避難に時間のかかる要援護者に避難いただくよう早めに開設することとしています。災害の危険が切迫する前にゆとりをもって避難行動を開始していただきたい」と且寺集会所以外の規模の大きな避難所への早期避難を促す旨の回答がありました。

●（Fさん）①延町の安場川の横の道が狭くて、子どもが通学するとき等、車が来るとすれ違いが出来ない。法面を埋めて歩道にするとかは出来ないか？②岡町から広域農道へ行く日東精工横の道も、三差路を過ぎると急に狭くなる。農道に出るところも危険で信号がつけばと思うのだが、以前から道路構造上難しいと言われている。地元の間は危ないことが分かっており、あそこを通らない。③由良川堤防の草刈りを今日してもらったが、堤防はきれいになっても側溝部分だけが残っている。少しでも全部してもらえないのか？④広域農道の堤防の外側、四方節也さんのビニールハウス付近の木が大きくなって道路の見通しが悪いので、伐って欲しい。明後日、綾部市に立ち合いしてもらい、確認してもらう予定になっている。

⇒（源太郎）①②③④綾部市にお伝えする。

【回答】①綾部市建設課から「安場川の堤防を市道としていることから、道路幅が狭いことは認識している。道路拡幅について河川管理者に確認したところ、実施することは不可能ではない（河川断面を減らす際には相当の理由が必要）とのことだが、工法、経費等の関係上、現段階での対応は難しいと考え」と回答がありました。②③ご要望は綾部市にお伝えしました。④綾部市建設課から「市道高津組線、

**法面の樹木については伐採を実施しました」と回答がありました。**

◎（Gさん）①有害鳥獣対策に平成23年度の補助金を活用して、安場町では6キロに渡って柵をしたが、府道三俣線部線をふさぐ訳にはいかなかったので、府道上は柵がなく開いている。3年ほどは動物も入らなかったが、近頃入りかけるとドンドン入り、今では中に鹿が住みつくようになった。対策としては農地個別に柵をつけるしかないが、良い補助金はないのか？②マツタケは環境整備をしても、松自体が枯れたらダメである。グリーンガード等の消毒液（1本2500円程度を数十本～数百本）を使うのだが、これに対する補助金はないか？以前には補助があった。

⇒（源太郎）①平成23年度は柵の全額補助が出た。獣害は収まっておらず、修復が必要な箇所もある。有利な補助金の要望は今後もしていきたい。②マツタケ振興については、私も由良さんにお世話になって安場の山を十数年借りているので、よく理解している。補助施策があるか、京都府に確認する。

【回答】①上記の通り。②京都府中丹広域振興局農林商工部に確認したところ、「有害鳥獣柵の問題は地元の方々と連絡を取って、できる対応策を考えていく。松枯れ防止対策については府のマツクイムシ単費防除事業（薬剤と作業費の1/2を補助）があるので、綾部市を通して要望していただきたい」との回答がありました。綾部市農林課からは「散布型の消毒による補助金はないが、樹幹注入による消毒液については、京都府の補助金を活用できる。しかしながら、府補助金を活用するには最重要松林の指定を受けている必要がある」と回答がありました。

◎（Aさん）台風19号であちこちの堤防が決壊しているが、由良川の堤防は大丈夫か？堤防を作ることも大事だが、由良川の浸漦も重要ではないか？

⇒（源太郎）由良川の浸漦は国交省で福知山側から上流に向かって順次進められている。昔は業者が勝手に川砂利を採取できたが、そのやり過ぎで橋脚が倒れそうになったことがあり、その後、河川法が改正され、採ることが出来なくなった。昭和40年頃までは由良川でも毎年30万㎡の砂利を採っていたが、それ以後の約50年は年に1万㎡程度しか採っていない。土砂が溜まるはずだ。国にも京都府にも要望している。

◎（Bさん）もっと由良川堤防の活用を考えたらどうか？ウォーキングをしている人もたくさんいるので堤防に距離や消費カロリー等の表示をしてはどうか？堤防を多くの人に歩いてもらうことは健康もちろんだが、水位や草刈りの状況を観察するなど、防災にも役立つのではないか。

⇒（源太郎）国交省に意見としてお伝えする。中筋地区で具体的に案を作って提案してもらった方が国交省でも検討しやすいように思う。

◎（Bさん）自治会役員のなり手がなかなかない。特に民生委員さんの仕事は多すぎるのではないか？

⇒（Eさん）うちの自治会でも3人のうち、1人が決まらず2か月かかった。大変だった。

⇒（源太郎）市街地の自治会では隣人も分からなくなりつつもあり、自治会や民生委員さんだけ押し付けるのには無理がある。民生委員の制度が行き詰まっており、国が全面的に見直す必要があると感じる。綾部市の業務を自治会に委託し過ぎだという声が綾部地区の自治会長さんからは上がっていた。今日も市会議員さん方に提案したが、綾部市で自治会の担当職員をおいてはどうかと思っている。自治会

長が相談でき、市とのパイプ役を担う職員を決めて、民生委員さんの選定などを一緒にやると自治会長さんの苦勞も分かり、良いのではないか。

◎（Hさん）延町はあやバスが入らない。大島町に行くのも、井倉町に行くのも出にくい。

⇒（高橋議員）それでも延町は住みやすいのか、最近も新しい家が建ったり、子どもの数も増えている。

⇒（Fさん）たしかに大工さんに聞くと「延に家を建てたい」という若い人がたくさんいるようだ。

⇒（高橋議員）中筋に家を建てたい若者は多いが、中筋には家を建てられる土地が少ない。

⇒（Cさん）中筋地区の中でも、増えるところと減るところ、様々だ。特に副自治会長になって10年後の安場町はどうなっているのか、心配に思うようになった。市のパンフレットで総合計画等の掲載はあるが、現実に住んでいる人が形ではなく中身のある議論をしていかなければならないと感じている。

⇒（源太郎）「御用聞きの会」は今日で9会場目だが、農村部での人口減少を改めて切実に感じている。過疎化によって財産の価値が下がり、農地や山林を相続しない人も増えてきて、周りの方が困っている事例も多い。相続放棄するのなら、綾部市に寄付してもらってはどうかと考えている。放置された空家も使わないなら綾部市に寄付してもらって、綾部市が解体する。そこにローコストの平屋を建てて、年金世代の移住者に来てもらう、という案も今考えている。人口増対策は様々なやり方で考えていかなければならない。

【豊里（栗・位田）】10/29（火）19:00～ 栗上公会堂（栗町）高倉武夫前市議、藤岡康治市議ほか11名

◎（Aさん）①熊が出るという情報はこの辺りでも多い。命にかかわるので対策をお願いしたい。②最近、田んぼを作ってもらっている人に田んぼを売ろうとしたが、農家登録していなくて売れないということが分かった。農地の売買は出来ないのか？



⇒（源太郎）①熊が増えすぎていることは京都府も理解していて、知事は9月議会の代表質問で「レッドデータブックの見直しを検討する」と答弁された。福井県は熊の狩猟がOKだが、京都府はできない。出来るようにしていく必要がある。熊の頭数を減らす対策を要望している。②農業をしていない人が農地を取得すると、勝手に宅地に転用されたりするので、農地法で農家登録をしていないと売買が認められない。ただ、以前は三反の耕作がないと農家登録出来なかったが、今は一反で認められるようになっており、ハードルは低くなっている。株式会社の参入を認めていく流れなど、方向としては徐々に緩和されつつあるのではないかな。

◎（Bさん）豪雨で洪水被害が多発している。綾部は昔に堤防が整備されており、栗村井堰から位田に向けては堤防が低い。大野ダムで水量を調整してもらえとも思っているが、数年前には堤防を越えるまであと1メートル近くまで水がきた。栗上から位田の堤防をさらに高く、頑丈に出来ないか？

⇒（Cさん）位田はあと20～30センチのところまでできていた。

⇒（源太郎）並松町の堤防が出来れば、綾部市内では計画されていた堤防が全て出来上がるが、それで安心していただけるわけではない。今夏、千曲川では予想もつかないところが決壊した。堤防の川側は護岸工事がしてあるが越水すると人家側が削られて決壊するので危険だ。昨年の物部地区での浸水は、経年劣化で堤防が15センチほど低くなっていたことや、田んぼからの排水路にフタがなく、ここを川の水が逆流したこともある。川向うでは延町の排水ポンプ場が数年後に出来る計画だ。排水ポンプ場が延にできれば、あちらはそれで一定の対策ができ、綾部市と京都府で持っている排水ポンプ車をいざという時にはこちらにも持ってきやすくなると思う。こちら側で一番内水被害が出るのが犀川河口の小貝町のグリーン園芸付近だ。由良川の水位が一定に達すると内水は排水出来ずに逆流するが、延町に今設置されている小さな排水ポンプでも効果はあったと聞いている。

◎（Dさん）①栗区4自治会はいつも水のつくところで、犠牲になっている。豪雨になり、井堰の樋門が閉じられたら、栗村は浸水する。以前は由良川改修期成同盟会として運動していたが、今は立ち消えになっている。延の側はできるそうだが、栗の方の内水対策も考えてほしい。②移住してくる人は空き



家を買っても、住むだけで家に付いている田や畑は知らないと言って、そのまま放置しているケースがある。市できちんと管理するように言ってほしい。地元で栗上フィールドクラブという任意の組織を作って、12人で空き農地の耕作をしている。平成19年に始めた当初、農地は六反であったのが、今は二町六反に増えた。綾部市は法人でなければ任意団体には補助ができないと去年からは補助金もなくなった。このままでは誰も農地の管理をしなくなる。綾部市にはどうしていくのか、もっと自分達でも考えてほしいと言っている。

⇒（Cさん）耕作をする人は、上位田は45戸あったのが10戸になり、中位田では30戸あったのがゼロになった。誰も担い手がいない。

⇒（源太郎）①今後、堤防のさらなる強化は、国も予算が厳しいだろうが断えていきたい。内水対策では由良川の水位を高めないことがまず一番。大野ダムではたくさん水を貯められるように、貯留水位を2メートル低くするようにしているが、監視用ボートの桟橋が浮いてしまうので、その工事をしなければならず、時間はかかるが、いずれ5メートル低くするように徐々に対策中だ。また由良川の水位を下げる方法として、福知山の川北付近の土砂浚渫をしっかりとすべきだとも要望している。排水ポンプ場を小貝町にもつけられたらと思うが、井倉町、延町、青野町では運動組織を作って働きかけられた。栗区や豊里地区にはそういった動きが最近は何もない。道路の方は府道綾部大江官津線の整備促進協議会を今年、設立していただき、初めて知事に要望にも行った。排水ポンプ場の件でもそういった会を地元で作っていただけたらと思う。②綾部市にお伝えする。

【回答】①上記の通り。②綾部市農林課から「市は法人でなければ任意団体には補助ができないと去年からは補助金もなくなった」とのことであるが、制度として廃止されたのは、米の直接支払交付金であり、水稲の作付面積を配分していたものを生産者自らが需要に応じた作付をできるように配分を止めたことにより、交付金も廃止されたもの。水田活用直接支払交付金（産地交付金）は、任意団体であっても対象作物を作付し出荷されれば交付金は受けられる。また、水路・農道等の農業施設の維持管理については多面的機能支払交付金を活用していただければ費用の一部を充当できるため、詳しくは綾部市農林課までご相談いただきたい」と回答がありました。

◎（Eさん）①旭が丘団地が作られ、住宅が出来てから、自分の持ち山に行く山道がなくなり、個人宅の庭を通らないと行けなくなった。わたしの山は右側住宅の裏手にあるが、道を作ってもらえないのか？住宅開発の際に開発業者から一切そういう話はなかった。山も荒れており、そう入ることもないが…。②ため池は栗上に4つあるが、多発する全国の水害を見ていると溢れるのではないかと心配である。使っていない池もあるが。

⇒（源太郎）①道路のことは市に確認してみる。②使っていない池は廃池にしているところもある。府や市も危険がないかのチェックはしている。

【回答】①綾部市建設課から「開発当時のことについては市としても把握できていないが、ご指摘の道路については、法定外里道などではなく「勝手道」との理解をしていることから、代替え道路を造ることは困難と考える。※「勝手道」→住民の方が利便上通られて、その箇所が道路となったもの」と回答がありました。②京都府中丹広域振興局農林商工部に確認したところ、「全国的な災害の頻発もあり、国の法改正によって重点整備ため池の基準が変更され、綾部市でも33だった重点整備ため池の再検討が行われて46に増えた。今後も対策には万全を期す」との回答がありました。



◎（Fさん）①岡倉住民は岡倉から豊里小学校への道路をメインに使用し、フクムラ仮設に出入りする業者の車は高速の横の道路をメインに使用しているので、交差するところでの事故が多発している。「止まれ」の停止線を引くとか、何か対策は？②鳥獣害対策で、檻の手続きは大変だし、銃の弾は高いと地元の方から聞く。鳥獣対策のためにそういった費用を負担してもらえないか。

⇒（源太郎）①交通量にもよるが、まずは地元から要望をしていくことだと思う。公安委員会はそういう決定には慎重で時間はかかるが、他にもこういった要望はあるので、綾部市でとりまとめて市長から府警本部に要望してもらおうという方法もあるのかな？と思っている。

⇒（Cさん）何年も要望し続けて付いたところもあるので、粘り強く何回も要望してみればいい。

⇒（源太郎）①警察には話しておく。②鳥獣害対策では、銃で撃っても補助金が少ないというのはよく聞く。予算枠を増やしてもらおうよう今後も要望はしていきたい。

【回答】①綾部警察署から「交通量や道路環境（交差点の見通し）等から判断して、岡交差点に一時停止の規制の必要性は低いと判断しており、交差点の優先関係を明確にする必要があるのであれば、道路管理者において誘導線等、法定外標示で明示することが適切であると思われる」と回答がありました。



道路管理者の綾部市にはこの旨、お伝えします。地元からも綾部市へ要望いただければと思います。②上匠の通り。

◎（Cさん）①9月に府議が登壇された府の新総合計画の総括質疑の、テレビ中継を見ていたが、府議が主張されている山陰本線の複線化の見込みはどうだろうか？私が元気なうちには無理だと思うが、将来的

にはぜひ実現してほしい。特急料金が半額になれば、なお嬉しい。②全国的に議員の質が悪くなったように思う。失言や様々な問題。安倍総理も「責任を取る」と口で言うだけで、ニュースを見て最近、イヤになっている。位田区には昔は地元の市議がおられた。地元のごとがよく分かっている市議が位田にも出て欲しい。

⇒（源太郎）①現在、府内での複線化は奈良線の工事中。私が府議になる前から複線化の計画はもちろんあったものの、建設交通部の運営目標などに何も記載がなかったので、府議会での委員会では主張して運営目標に入れてもらった。奈良線の次は山陰本線だと思っている。北陸新幹線の新駅が出来る松井山手駅を通る片町線に先を越されないように注意していきたい。複線化すると、通勤通学者が増えると思う。特に京都の大学生が下宿ではなく通ってくれば親の負担も減るし、夜間のアルバイトとしても働いてもらえるとも期待している。②市議候補については例えば「地域づくり」を大学で学んでいる学生や皆さんのお孫さんや甥っ子、姪っ子などゆかりの人を他から誘致してもいいのではないかと。市議会の議席を減らす議論も出ていたが、私は定数減には反対だ。人口の少ない地区では議員が出せなくなり、代弁者が地元にいなくなる。定数を減らした結果、投票率も下がっているし、立候補者数が減っているのが

現実だ。一方で選挙になるように、立候補者も一定以上、必要だ。私も市議の擁立には努力したい。地元の皆様のご協力もぜひよろしくお願いします。

◎（Gさん）①府道小貝豊里線（石原町付近）の草刈りはだいぶ伸びないとやってもらえない。以前には見通しが悪くて危ないからと駐在さんが刈ってくれたこともある。歩道は自転車が通行可能だが、草が伸びていてそれを避けて通って、車と接触する事故もあった。府道綾部宮津大江線の法面の草は半年前に刈ってもらったが、刈った草が水路に落ちていたのと、下までは刈ってもらえずに草が水路に覆いかぶさり、水路の掃除時には草をよけてからしなければならなかった。②大島町の踏切の前後の道路は拡張されたが、踏切は狭いままで、かえって危険ではないか？③災害が頻発し、避難指示や避難勧告は緊迫する中、綾部市が判断されていると思うが、判断の際には京都府のサポートはあるのか？

⇒（Hさん）①府道は路肩から75センチ、道路にかかるものは切ってくれるが、通行に関係がないとなかなかである。予算も限られている。

⇒（源太郎）①道路や河川の草刈りは道路の通行や河川管理上の問題がないとできない。②踏切の拡張はこれまでに日東精工のそば、西町が完成し、次は宮代、その次は高津駅前だと地元ではおっしゃっている。綾部大江宮津線の整備は今、豊里の拡張をしており、その次は物部の新庄のあたり、西坂バイパス、栗交差点の北側と順番に進めていき、最後は大島踏切をどうするのかになると思う。今は立体交差の計画だが、それだと鳥ヶ坪交差点に道路がすりつかないし、やはり平面交差でないとダメだと個人的には考えている。JRは踏切が狭い方が通行量が少なく事故も少なくなると考えている。大島の踏切も、歩行者や自転車が待つスペースを作ったり、少しずつ改良しているがそれだけでもJRとの調整に相当時間がかかった。最終的には拡張していきたいが相当時間はかかると思う。③京都府や京都府警ももちろん災害時には綾部市と情報共有している。他にも大野ダム等からの色々な情報によって、避難勧告や避難指示の判断は最終的には市長がされることになる。

【回答】①土木事務所にご意見をお伝えし、「府道除草後の後始末については、適切に処理するよう今後改善します」と回答がありました。今後、そういう事例があれば、ご指摘いただければ私からも土木事務所に申し入れます。②③上記の通り。

◎（Cさん）豊里では、避難所は豊里中学校と豊里コミセンの2か所であるが、高齢者が増え、位田からでは車での移動も出来ないで避難所に行けない。

⇒（源太郎）中位田からなら豊里コミセンや豊里中学校に行くよりも清山荘や中丹文化会館に避難する方がいいのではないかと。

【回答】綾部市防災・危機管理課から「里町の市中央公民館も由良川の水位上昇に合わせて避難所として開設するので利用いただきたい。ただし、豊里中学校、豊里コミセンの方が早く開設する。清山荘は長期避難の場合に開設する避難所としているので了承いただきたい」と回答がありました。

◎（Iさん）今、母と伯母の二人を介護している。福祉施設を利用しても利用料が高い。二人分となれば尚更だ。自分たちもいずれ介護をしてもらう時がくるかと思うが、ぜいたくでなくてもいいので、もっと安くで入所できる施設があればいい。

⇒（源太郎）どうしても費用がかさむ場合は、世帯分離して生活保護を受けるという方法もあるが…。

⇒（Iさん）親たちはこれまで必死に頑張ってきたので、やっぱり最後まで面倒は見たい。切り離すわけには…。

⇒（源太郎）介護保険は当初は月 2,000 円程度だったが、今は数倍になっている。様々な企業に参入してもらったため、当初の介護報酬を高く設定しすぎて「福祉」の意味が変わってしまったように思う。あやべ福祉フロンティアは「綾部市民だけでも安いお金で病院に通えるように」と考えて 20 年前に設立した。綾部だけでも安価で質の高い福祉施設ができないものか？考えたいとは思っている。

⇒（藤岡市議）高速も出来、車での移動が便利にもなったが、複線化するには JR の利用者を増やさなければならない。綾部駅では「パーク&レイル」を推進し、JR の利用を促進している。一旦停止等、警察に頼るのもよいが、自治会で看板をつけるとか、草刈りも自治会でするとか、市にはコミュニティ予算もあるので、そういうものを活用するのも手かもしれない。私におっしゃっていただければ一緒に綾部市に行ってそういう補助金がないのか探したい。介護の件は、健康で年をとっていけるように、清山荘を利用するとか、趣味をもってほしいと思っている。

⇒（Hさん）介護は女性の負担が大きく、子育てで離職し、そしてまた親の介護で離職することになるなど、将来に向けて改善できるように考えなければならない。

◎（Dさん）府道法面の草刈りは何メートルの契約か？除草剤を撒いたら根まで枯れてしまうので路肩が崩れるからダメらしい。結局は受益者がしなくてはいけない。市道、農道の草刈りを地元でするとして補助金はないのか？

⇒（源太郎）草刈りの方法には様々なパターンがあるが、市の予算も限られているので草刈りにはなかなか手が回らないだろう。

⇒（Dさん）本当は年 4 回は草刈りをしてほしいところだ。

⇒（Hさん）新小貝のところは危なくて刈れないところもあり、綾部市農林課にやってもらったことがある。

**【回答】農道の草刈りについて、綾部市農林課から「農道については受益者での管理でお願いしている。些少ではあるが、農道の委託管理料をお支払いしている他に、多面的機能支払や中山間地等直接支払等の事業を活用いただき維持管理をお願いしたい」、市道の草刈りについては綾部市建設課から「市道の維持管理に対する助成金制度はない。市道除草については、広域農道等の幹線道路は市で対応しているが、地域の生活道路については地域の皆様にご協力いただいている状況である」と回答がありました。**

◎（Gさん）福垣ポンプ揚水組合では、道路拡幅の際に、京都府からの提案で犀川にポンプを置くことになった。しかし、それを無許可で置いたと言わんばかりの口調で、今年の 10 月上旬に土木事務所の職員が来て怒られた。たまたま当時の経緯を知っていた住民がおり、説明したらそのまま何も言っていない。どうなっているのか？

⇒（源太郎）申し訳ありません。土木事務所には、以後、気を付けるようにと伝えます。

【西八田】10/30（水）19:30～ 市農村婦人の家（岡安町）酒井裕史市議、藤岡康治市議ほか12名

◎（Aさん）上八田町では、いつも大雨になると2軒が床上・床下浸水する。毎回、消防団にお世話になって土囊を積んでもらったりしているが、この間、府議にお願いして府道側溝の柵を改良してもらった。先日の大雨の際に柵を見たら、うまく水が流れていて良かった。皆さんも何か頼みたいことがあれば、今日は遠慮なくおっしゃってください。

⇒（源太郎）近所一帯が浸水するところは地域で要望し対策されるが、1軒だけとなると「他の家は大丈夫なのに、うちの家は…」と



やり切れない思いをされている。最近、そこに家を建てたわけでもなく、昔からそこにあるのに自然や周囲の環境が変わって水が浸くようになったところは特に何とかしてあげたいと思う。志賀郷町でも1軒だけ浸水するところがあった。そこも府道側溝の柵が流れにくい造りになっていたので、京都府に改善してもらった。本来、山から出てくる水は土木事務所の管轄ではなく、府道に降る雨水排水のみが府の管轄なので、状況によっては難しいこともあるが、できる限りは努力する。七百石の村木重一さん宅裏の水路のことも以前からお聞きしていて、何度か見に行っておりますが、改善できずに本当に申し訳ない。何か良い支援制度ができればといつも思っています。

◎（Bさん）最近、全国でも多発する大きな災害を見ていて、七百石にもたくさんため池があり、心配である。

⇒（源太郎）ため池は京都府も綾部市もチェックをしているが、これだけ大きな災害が多発していると、ご心配なのはよく理解できる。昨夜の栗上公会堂での会でも同様の意見が出ていた。皆さんが安心出来るように、さらなるため池の防災調査をしてもらえよう要望する。使っていないところは廃池にすることも出来るが、志賀郷の坊口では、全部を埋めてしまわずに、半分ほどは貯水池として活用した例があり、坊口の自治会長さんにぜひ見ておいてほしいと言われて見に行ったことがある。以前はそういう廃池の方法が出来なかったようだが、志賀郷の相根前市議が交渉されて出来るようになったとのことだった。坊口ではそれで豪雨時にも効果があったようだ。

【回答】ため池について、府中丹広域振興局農林商工部に確認したところ、「全国的な災害の頻発もあり、国の法改正によって重点整備ため池の基準が変更され、綾部市でも33だった重点整備ため池の再検討が行われて46に増えた。今後対策には万全を期す」との回答がありました。

◎（Cさん）広域農道が出来てから、下八田町自治会では3軒の家で浸水が多発し、ここ3年は毎年床下浸水している。九出川（旭町から下八田を通って八田川へ合流する）が越水するので市に浚渫してもらったが、これ以上深く浚渫すると川の側壁が落ちると言われた。何とか浸水しないようにできない

か？八田川の方は前回の府民協働型インフラ保全事業で申請して川の中の木を切ってもらって、今回は浚渫をお願いしている。

⇒（源太郎）九出川の件は綾部市にも聞いてみる。私は全ての京都府への要望を把握している訳ではないが、府民協働型インフラ保全事業で申請いただいた分については、土木事務所から審査結果について全て説明を受けている。「実施する」という案件には何も言わないが、「実施しない」とされた案件はその理由を聞いたり、地元事情を説明して「何とかやってもらえないか」と相談する。この事業と合わなくても「別事業でも取り上げて欲しい」と頼んだりもするので、できるだけ府民協働型インフラ保全事業で申請していただくとありがたい。土木事務所の職員にしても、府民協働型インフラ保全事業で申請してもらった方が予算のことを含め、仕事がやりやすいと思う。八田川の浚渫の件は土木事務所を確認する。

【回答】九出川については綾部市建設課から「九出川の増水により近年、床下浸水の事象が発生していることについては、確認しているところ。民家に取りつく箇所については平成27年度に堤内水路の整備を実施した経過があり、再度、出水時に状況を確認させていただきたい。その他の箇所については、平成29年度、台風等の出水により土砂崖岸の崩落があったところである。平成30年度にコンクリートブロック積工にて復旧を行った。今後においても出水時の状況を確認し、河川内の堆積土砂については河川断面の1/3以上堆積した時点において、実施を検討するよう考えている」と回答がありました。「八田川の浚渫については、現在、測量や設計を実施中」（土木事務所）と回答がありました。

◎（Dさん）①岩王寺の下の階段のところの市道の擁壁を考えてほしい。去年の台風で寺から水が流れて、市道の法面の擁壁を作ってもらったが、そこもずれそうで、そうなりとお寺に上がれなくなる。昨夏の豪雨では「ゆう月」にも大量の土砂が入り、こちらの方は「ゆう月」の社長がダンプで取ってくれたのだが…。

⇒（源太郎）現場確認はするが、おっしゃっている法面がおそらく広範囲で高さもあると途中で段差をつけること等が必要で大工事になるので、綾部市ではなかなか難しいかもしれない。七百石の集落内の水路は細くてあちこちで曲がっているので、大水がくれば様々な箇所で問題が起こることは、以前に現地で見せていただいたが、これを真っ直ぐにも出来ないし、難しい課題だ。

⇒（Dさん）②岩王寺川の奥の砂防堰堤が埋まっている。以前も見てもらったが大丈夫か？

⇒（源太郎）堰堤にもいろんな効果のものがあって、ある程度詰まっていけないものもある。たしかあそこはそのタイプだったので大丈夫だとの判断だったように思う。確認はする。

⇒（Dさん）前回並みの雨がくれば不安だ。山もずって、そのままの状態なので怖い。

【回答】①綾部市建設課から「ご指摘の法面の状況について確認した。擁壁検討の箇所については、立派な桧が数本あり、法面崩落の可能性は低いとの判断をさせていただいたが、今後とも地元の方にも法面を注視していただきたい」と回答がありました。②ご指摘の砂防堰堤については、私も現地確認し、砂防堰堤までの水路や林道が相当崩れている状況は把握しました。一方で、堰堤の土砂堆積はほとんどありませんでした。土木事務所からは「岩王寺川の砂防堰堤の土砂堆積は現状では問題ありませんが、引き続き経過観察します」と回答がありました。

◎（Eさん）ここ農村婦人の家の下の綾部市の駐車場のところの府道沿いは、少し大がかりになるがと

でも自分達ではできないので草刈りを木の伐採も含めてやってほしい。京都府で一回してもらえれば、後は自治会で何とか管理はしようかと思う。

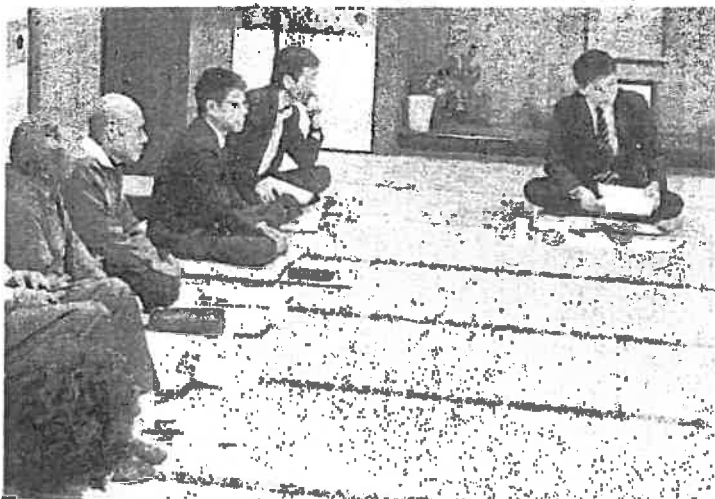
⇒（源太郎）京都府は、河川管理や道路管理上の障害があるなら刈ってくれるが、そうでなければなかなか難しいのだが、一回だけやってもらえれば後は自治会ですという条件で交渉はしてみる。とりあえず府民協働型インフラ保全事業（二次募集）で申請を出しておいてもらえないか。

【回答】草刈りについて、府民協働型インフラ保全事業で申請していただいた分については、土木事務所から「一部実施する」という回答がありました。

◎（Eさん）とよさか町の府工業団地から淵垣駅までの歩道に街路灯がなく、暗い。街路灯をつけてもらえないか？

⇒（源太郎）京都府は府道であっても、原則、交差点しか街路灯をつけない。吉美地区、中筋地区、駅前通りでもそういった声を聞いているが、街路灯は市の補助金もあるので、それを活用して自治会で対応してもらっている。

⇒（Aさん）中筋町西屋のところの道路は上八田町の住民が利用することがほとんどなので、中筋町であっても境のところに上八田自治会でつけた街路灯がある。



⇒（Fさん）淵垣駅から工業団地に通う方がいらっしゃるが、帰りは懐中電灯等をつけて通行しておられる。また、通学する学生もいるので暗くて心配に思っている。工業団地の企業の協力は得られないのか？

⇒（源太郎）工業団地企業にお願いするのも良いかもしれない。綾部市からも話をしてもらえないか、言ってみる。どこの企業の方がよく歩いて通勤しておられるんですか？

⇒（Fさん）それはちょっと分からない。

⇒（Eさん）7月に地元と工業団地との話し

合いの会があって、そこでもこのことを言ったのだが…。やってくれるのかと思ったら、言っただけで終わった。

⇒（Aさん）毎日3人程は通勤で利用されているし、出張で来られた方も駅から荷物を持って歩いておられる。

⇒（Fさん）以前に子どもたちが危険だからと街路灯を半分はつけてもらった経緯もあるが、今も半分だけか？

⇒（Gさん）工業団地にも協力してもらって、初期投資でLEDをつけてもらえれば、後はお金もかからず管理もしやすいのではないか？

【回答】綾部市商工労政課からは「綾部工業団地振興センターから西八田地区自治会連合会に毎年度払われている地元協力金を活用して整備をお願いしたい」と回答があったので、「街路灯整備ができるほどの地元協力金が払われているのか？」とその額について綾部市に再度問い合わせたところ、「地元協力金については、綾部市は直接関与してはいないが、工業団地振興センターからは5万円とお聞きしている」

と回答があり、その場で今回要望のある工業団地から瀬田駅までの街路灯整備は難しいのではないかと考えます。現時点でご要望に応えられず申し訳ありませんが、今後の課題として受け止めます。

◎（Cさん）昭和51年の八田川改修で川幅が広くなり、当時、板橋だったのを架け替えたが、老朽化で鉄橋の腐食が見られる。これは市道橋でも府道橋でもなく、自治会で管理しろと言われるが、とても無理だ。

⇒（源太郎）これはおそらく道路が農道ですね？この農道を市道編入しなければ綾部市が管理することにはできないが、農道を市道にしてもらっても条件が厳しいし、綾部市もこの橋を受け取れないだろう。市道橋は綾部市に今も500本ほどあり、その維持費だけでも相当かかる。28水の後など、上林川でもその時に何らかの経緯で架けられた橋も多く、今になって劣化してきている同じような橋がいくつもある。他にも古い物部橋や十倉橋のように大きな市道橋で住民が劣化を心配されている橋もある。中上林には、その橋がなければ対岸の農地に行きようがないところもあって困っておられる。そこも同様に農道橋だった。

◎（Gさん）湖垣上八田線は七百石の大日から辻八田の区間が狭い。大日からジャンクションまでの広い道は市道で、その反対側のこの区間が府道。京都府に拡幅をお願いしたい。

⇒（源太郎）全面拡幅は難しいかもしれないが、もう少し離合場所を増やすとかの対策は京都府に要望していきたい。

【回答】部分拡幅等についての改良を土木事務所に要望し、土木事務所からは「予算状況を考慮しながら検討したい」との回答はありましたが、用地買収も必要であり、自治会や自治会連合会等で組織的・継続的な要望活動をしていただけないかと思います。



◎（Gさん）今年、京都縦貫道の側道の管理先を決めると綾部市建設部から聞いている。中筋町の藪呂池付近の谷川が崩れ、側道が崩落寸前である。去年の台風時に発見し、今はその時よりひどくなっている。側道は京都府道路公社の管轄で今後も維持してもらいたい。

⇒（源太郎）現在もNEXCO区間である園部～丹波ICまでは四車線化することが決まっており、我々とするれば丹波～宮津までも四車線化を早くしてほしいと要望している。知事も四車線化のためにNEXCOに引き渡す考えでNEXCOも受け入れる気があるとのことだが、知事はあまり政治的に進めずにNEXCOの事務方に配慮して、慎重に進めようとしておられるようだ。（※参考：令和元年12月27日に西脇知事の記者会見があり、令和5年4月にNEXCO移管されることが発表されました）今、側道の管轄をどうするかを決める時期であるなら、できるだけ道路公社に持っておいってもらった方がいい。綾部市に状況を確認してみる。

【回答】綾部市建設課から「現在、国土交通省福知山河川国道事務所と京都縦貫道建設当時の付帯施設の移管について協議を進めているところであり、市が維持管理すべきもの、地元自治会様に照会して地



元が必要とされるものについてのみ、引き受けするよう回答しているところ。ご要望のあった箇所については地元の利用を確認し、必要との回答を自治会様から受けており移管を希望しているが、国交省に完全に水路及び崩土の法面を復旧していただくよう求めている」と回答がありました。

◎（Gさん）刈垣駅から農村婦人の家までの田が荒れている。ほ場整備ができておらず面積が小さくて7畝8畝で枚数が多い。担い手がいても世話しにくい。岡安橋から安井橋の間も郵便局の前くらいしか耕作されていない。土地を使いたい人もいるが、農地としてではなく、事務所としての利用希望がある。もっと柔軟な土地利用ができるように、来年、土地の用途の変更時期にあたっていると聞いており、ぜひ市会議員さん方にもその点をお願いしたい。

⇒（源太郎）西八田小学校前のあたりを農業振興地から除外するということですね。市長が提唱しておられるクラスター戦略で西八田を考えれば、小学校前は松寿苑や郵便局や商店があり、そこを中心地として計画を描くのが妥当だ。自治会連合会で地区内をゾーニングして、住民の土地利用の思いを綾部市に提案するのも良いのでは。受益者負担のない新しいほ場整備は府内第一号が下位田で奥上林の長野でも調査が始まっている。やるなら今のうちでないと後ではもう地域合意が得られなくなるだろう。小さい田んぼの畔をとって、一枚にするような補助事業もあるので、検討されるなら今のうちだと思う。

⇒（Bさん）そうするときには農地バンクに託するんでしょ？

⇒（源太郎）そうですね。おそらく農地中間管理機構に預ける条件で補助を受けることになる。

◎（Gさん）国道27号線の整備は府廳にも努力してもらって、大萬商事までの計画は出来た。ありがたい。これまでなかなか進まなかったのが、おかげで少しずつ進みつつある。ありがとうございます。今後もよろしくお願ひしたい。

⇒（源太郎）引き続き、努力します。

◎（Hさん）カラスがたくさんいる。いないと思えば、山を越えて大島に行き、また帰ってくる。糞にも困るし、トラックに置いていた袋を持っていかれたりする。対策はないのか？

⇒（Gさん）熊、猿、鹿、猪と人間が共生出来ていない。収穫前に盗られると気持ちが悪える。猪も柵の下を掘ったり、壊したり、堤防や田んぼの畔も掘られたところに水がきて崩れたりもする。こういう被害までは被害額に計上されていないが相当ある。鹿や猪は1年に2割は増えると言われているので、1年に2割以上駆除しないと数は減らない。数を減らさなくてはならない。

⇒（源太郎）熊に関しては「レッドデータブックの見直しをする」と知事も9月議会で答弁された。鹿、猪等の被害はおっしゃる通り。もっと減らすように主張します。カラスの件も対策が何かあるのか聞いておきます。

【回答】京都府中丹広域振興局農林商工部にカラス対策について確認したところ、「カラス駆除は京都府から綾部市に権限委譲されているので綾部市で対策をしているが、必要であれば京都府でも対策のアドバイスをさせていただきます。適切な追加が重要で、カラスは糧食であるので、一度味をしめるとずっとやって来るので、それを対策する必要がある」との回答がありました。



【豊里（小畑）】10/31（木）19:00～ 鍛冶屋公民館（鍛冶屋町）高倉武夫前市議ほか10名



◎（Aさん）本城奥自治会です。①昨年の豪雨で被害の出た箇所に整備しようとしてもらっている治山ダムの件ですが、山道の道路使用許可と立木伐採許可は地権者から取れたのだが、工事入札で落札した業者から受注の辞退があったと聞いた。京都府と綾部市の職員で連絡は取り合っ、その後も進めてもらっているのだが、ぜひ早期の完成をお願いしたい。②府道小西西坂線の星山ねっとまでの拡幅はできたが、そこから先、今村鉄工所までの拡幅をぜひ早期にお

願いしたい。

⇒（源太郎）①昨年の災害は復旧箇所が多く、業者さんの手が回らないという話も聞いているが、順番に復旧されてきているので、本城奥の治山ダムも早期に完成できるように京都府にはお願いする。②小西西坂線についても、以前からの要望であり、よく分かっている。長年の懸案であったが星山ねっとまではようやくほぼ完成した。あと少しで全ての拡幅が完成するので、京都府にはぜひ早期に拡幅を！と働きかけている。

【回答】①上記の通り。②小西西坂線の星山ねっとから小畑方面への拡幅要望は再度、強く土木事務所に伝えました。予算の関係で、すぐに実行するという回答はもらえていませんが、引き続き、完成を求めていきます。

⇒（Bさん）小西西坂線のことで関連して、奥小西へ入る市道が低い上に府道もそこらへんから急に細くなっているため、出てくるときに見通しが悪く危険だ。対策をお願いしたい。

⇒（Cさん）その箇所は小西西坂線のガードレールが舗装してあるところの端に立っているが、道路はもう少し外側まで拡幅されている（予算がないので土だけ敷いて舗装のない状態）ので、ガードレールを下げてもらえば、子ども達の通学での安全対策ができるので、土木事務所には要望している。先日も豊里・物部・志賀郷の西部3地区で土木事務所にガードレールの件は要望した。相続の関係で用地買収が困難な土地は避けても仕方ないので、他の部分だけでもガードレールを下げて欲しいと。

⇒（Dさん）府民協働型インフラ保全事業で「道が狭くなります」と注意を促す看板の設置を申請し、「実施する」との回答をもらったが、まだ出来ていない。出来るだけ早くしてほしい。豊里北部5自治会で申請しています。また、自転車通学の中学生が「山側に側溝があるのが、草で見えなくて怖い」と言うので、草を刈って欲しいと土木事務所に要望したが、その刈った草がまた側溝にかぶさって見えなくなってしまう。何をしてももらったのか分からないことになっている。

⇒（源太郎）わかりました。小西西坂線については、いろいろな要望があり、どう対応したらいいのか、話だけでは分かりにくいので、一度、土木事務所の職員にも現地に来てもらって、私も一緒に立ち会いますので、ぜひ皆さんと一緒にどうすればいいのか、何ができるのかを考えましょう。その時はDさんに連絡しますので、皆さんに連絡してもらえますか？

⇒（Dさん）わかりました。

【回答】小西西板線から奥小西への出入り口の要望箇所について、11月26日に高倉豊里地区連長、山下鏡治屋自治会長、大槻小西自治会長、高倉前市議等に立ち会っていただき、土木事務所の中井施設保全室長、田中道路計画室長、伊塚企画調整室長と共に、現地で要望をお聞きしました。ご要望の点について、土木事務所からは後日、「来年度以降、工事実施に向けて予算要望していく。市道からの見通し改善のため、応急的に府道法面の伐木を実施します」と回答がありました。以前から要望いただいている道路幅員が狭くなることを知らせる看板も設置すると回答があり、山側の側溝付近には段差があって、自転車の通行には支障があり、反対側を通行しやすくするために土木事務所に草刈りを実施してもらいました。

◎（Bさん）府道の法面に生えている木は切ってもらえないのか？

⇒（源太郎）道路の通行に支障があるとか、他の人の土地に迷惑をかけているとか、そういうところであれば、伐採します。景観上良くないということだけでは伐採できないという現状です。

⇒（Eさん）今村鉄工所の先の府道法面の木は、府には「木が大きくなっており、業者に頼まないと切れないが予算がない」と言われたので仕方なく自分達で切ったことがある。

⇒（Bさん）小畑口から石原に行くところの「立牧橋」を渡ったところの脇にある木を高倉さんが市議の時に切ってもらったが、今また伸びてきている。自分たちでできるところの草刈りはしているが、高齢化で人手がなかなか集まらなくなってきた。

⇒（源太郎）その箇所は先日、栗上公会堂で別の方もおっしゃっていました。一度、現地を確認して土木事務所に話してみます。

⇒（Dさん）道路パトロールはよく走っているが、そういうのは見てもらっていないのか？

【回答】11月26日に現地確認しました。来春の府民協働型インフラ保全事業で申請してもらえれば、京都府に伐木を働きかけます。

◎（Fさん）六反と新庄地域のほ場整備は3月に組合を作って事業を始めたが、真ん中に相続放棄された農地があり、実施が困難で困っていた。今夏に府議に相談したところ、一歩前進することができ、感謝している。今、地元でボールが投げられている状態なので、早くこちらがそれに対応していきたいと思っている。その際には早期着工に向け、力を貸して欲しい。

⇒（源太郎）わかりました。また京都府に言うことがあれば、何なりとおっしゃってください。

◎（Gさん）言葉では説明できないので、これを見て下さい。（写真の資料を提示）綾部市の災害復旧工事だが、発注の見通しは？

⇒（源太郎）綾部市の工事ですね。いつ頃に取りかかれるのか、綾部市に確認しておきます。

⇒（Gさん）写真の4のように道路が川ようになってしまっていた。おそらく側溝も泥で埋まっていると思う。

⇒（Dさん）6、7の写真の箇所で土嚢を積んでもらっているところは、水が下の田んぼに落ちるので、市道の擁壁を高くして欲しいと市に要望している。別のところの道路復旧と一緒にやってくれるのではないかと期待している。

【回答】綾部市建設課から「市道餓治屋中線に関しては、側溝内に一定量の土砂堆積が考えられ、断面不足から路面に溢れたものと推測している。ご要望の事項である路面上での排水処理には、アスカーブ（舗装による縁石）が有効だが、道路幅員を狭めることとなる。擁壁を高くし路面排水機能を持たせることは、要望に最も合致した内容となるが、単価が高く直ちに実施することは困難である」と回答がありました。

◎（Gさん）小西西坂線の側溝の落ち葉や泥もキレイにしてほしい。

⇒（源太郎）土木事務所に小西西坂線を見てもらう時に合わせて確認します。

【回答】土木事務所でも現地調査し、側溝の排水不良が見られれば対応を実施していますが、見落としがあった場合は、府民協働型インフラ保全事業で申請いただくか、土木事務所もしくは私にお知らせいただければ対応します。

◎（Eさん）小西西坂線の奥小西の入口付近は奥に向かって通行する際に車が右にふくらんでカーブに入ると、対向車が来た時に大変危険。餓治屋の交差点はカーブから先が細くなっているの、早く拡幅してほしい。うずい野の太陽光発電所の説明会があった際に、今後の工事計画を質問したが、それから3年そのまま進展がない。その時にも予算がないとは聞いたが…。早期拡幅を要望する。

⇒（源太郎）引き続き、要望します。

◎（Hさん）小西西坂線が改良されてありがたいが、同時に猛スピードで車が走るようになっている。交通安全対策もお願いしたい。

⇒（源太郎）移動式オービスを置くという方法もありますが…。

⇒（Cさん）あそこは速度制限がないので60キロまでスピードが出せる。以前に40キロとかの制限をかけてもらおうと要望したが、道路改良が完成してからでないとその検討はできない、と言われた。

【回答】綾部警察署と土木事務所には懸念をお伝えしました。土木事務所からは「綾部警察署とも連携を図り、路面標示など必要な対応を検討します」と回答がありました。具体的な路面標示の提案がありましたら府民協働型インフラ保全事業で申請いただければ幸いです。

綾部警察署からは「小西西坂線は部分的に道路整備が行われており、片側1車線の一部歩道が設置されている道路となっているが、所々に狭さく部分があり路線全体としては一定の速度を指定した規制を行うことが適切でない道路環境である。今後、道路整備が行われて道路環境が整えば、速度規制の必要性を検討します」と回答がありました。

◎（Hさん）人口減少が課題。地域活性化のために、豊里や小畑にも企業誘致ができればと考えているが、綾部市でそういう情報はないか？

⇒（源太郎）豊里に進出希望企業があるかどうかについては聞いていません。綾部市でそういう情報を持っているかどうか分かりません。綾部市内の工業団地が全て売れたので新しい工業団地もしくは物流団地が欲しいという話は上がっていて、綾部市でいろいろと適地の調査をされている。民間で農地を転用しようとするとなかなかだが、綾部市が市の施策として取り組むのだとすれば転用もしやすくなる。

⇒（Cさん）小さな山を崩して土地を作るというのは？

⇒（源太郎）森林は農地転用よりも、もっと条件が厳しい。災害対策のための保安林というのもあるし、一度崩すとドサッといく危険もある。小畑には京都府森林組合連合会のストックヤードと丸棒の加工センターがあるので、林業に関しての仕事が増やせないかと思っている。このあいだ、京都府森林組合連合会にもプレゼンしたのが、この「MOK HUT」といって、移動可能な小さな家で、こういうのを安く作れるようにして、60代の移住者を増やせないかと考えている。年金を持って移住してくれる人に来てもらうのが現実的ではないか。そういう人に田植えや稲刈りを手伝ってもらって、米で対価を支払うシ



ステムを作ってはどうかと考えている。豊里地区には新たな工場建設の話はないが、口上林地区では喜楽鉦業がこれから2年ほどかけて、新しい工場を建設中だ。

⇒（Hさん）土砂を受け入れたりすることは備かりますか？

⇒（源太郎）土砂を受け入れる処分場を作るには、様々な許可や手続きが必要だと思うので、備かるというのは難しいかもしれない。

◎（Bさん）高速道路のトンネルから出てくるダンプがゆっくりゆっくり走って迷惑なんだが…。

⇒（Cさん）あれは高速の四車線化工事で大型のダンプが土を満載して走っていて、相当な重量があるので急ブレーキをかけたりするとアスファルトが陥没するらしい。ゆっくり走らんとアカシのやそうや。豊里コミセンに上がる交差点で3メートルに渡り、50センチほど道路が陥没したことがあったとのこと。それで仕方ないんや。

◎（Iさん）①朝7時20分に出勤のために家を出るが、小西西坂線を通行する車両は結構スピードが出ている。交通安全対策をお願いしたい。②また、空き家は綾部市内に500はあると聞くが、どれくらいIターン等で移住者が入っておられますか？

⇒（源太郎）①交通安全対策は綾部警察署や土木事務所に伝えておきます。②移住者の人数は把握していません。空家はあっても、貸したり売ったりしてくれる物件は少ない。売ることはあっても、貸してくれる物件は、なかなかないと思う。「仏壇がある」「荷物がある」との理由で、売っても貸してもらえない空家があるうち朽ちていき、放棄・放置される物件が増えそう。そういう物件は綾部市に寄付してもらったらどうかと思っている。変な人に渡るくらいなら固定資産税が多少減っても、もらっておいた方が良くないだろうか。家の取壊しと荷物の廃棄等でお金がかかるので、その処理費用は綾部市で負担するとしても、土地があれば、さっき話した移動式の家「MOK HUT」を建てる場所にもできる。「MOK HUT」は林業振興としても考えている。小畑の府森林組合連合会のストックヤードの木材の7割が舞鶴の林ベニヤ産業に買ってもらっている。府内で毎年使っている木材30万㎡の半分は他府県から仕入れている。兵庫県は木材生産が京都府よりも進んでいて、この数年で数倍に増えている。兵庫県木材センターに行くと、木材乾燥機も大きいのが10台くらいずらっと並んでいて、コンピューター制御で乾燥されている。数値管理して乾燥するので「背割り」もしなくていい。「年金世代」の誘致は農村の人口増にも

つながり、農村の担い手にもなってもらいやすいのではないかと。以前に視察に行った東京・銀座のレンタルオフィスは月1万円の会費で約1万人の高齢の契約者がいるそうだ。別で視察した横浜のサービス付き高齢者住宅は一番安い家賃で20数万円だった。相模鉄道の駅から歩いて5秒という絶好の立地だが、周りには田畑も神社もお寺も公会堂もなく、スーパーの中のカフェで一日中、コーヒーを飲んで読書しているお年寄りをたくさん見かけた。いかにお金があっても、やることがないというのも苦しいと思った。綾部では草を刈るのが大変でみんな困っているが、ある意味、そういう仕事がある。村用や社寺の奉仕で出れば、日当はなくても、パンや弁当がもらえたり、酒が飲める時もある。農村生活はやることがたくさんあって、考えようによっては悪くはない。三セクの農夢は府の補助金も取りやすいので、ああいうところをもっと活用したらどうかと思っている。60代の移住者を農夢がアルバイトで雇って、耕作放棄された土地をとりあえず機械で耕すだけはしておくとか。

⇒（Aさん）本城奥にも、60代で移住して村に溶け込んでいただいている方がいて助かっている。

◎（Dさん）こないだの総括質疑で府議が質問しておられたが、山陰本線の複線化をぜひやってほしい。

⇒（源太郎）府議になって、何が綾部の活性化になるかと考えたら、やはり一番は山陰本線の複線化だと思って、言い続けているし、これからも言う。京都府の総合計画や建設交通部の運営目標にも「山陰本線の複線化」という文字を入れ込むようにした。昨年、建設交通常任委員長の時、初回の委員会前に新年度の府建設交通部の運営目標をチェックしたら、「山陰本線の複線化」という文字がいつの間にかなくなっていた。「これでは今日の委員会は開けない」と建設交通部長に抗議し、すぐに入れ込んでもらったが、知らないところで抜いてしまわれぬようにしっかりと監視する。山陰本線の複線化で綾部を京都の通勤通学圏にしたいと思っている。今、京都駅から綾部駅の最短時間は1時間4分。これを5分縮めて59分にできれば、「京都から綾部が50分台」と言える。イメージがぜんぜん違ってくる。今でも綾部市が通学定期に補助金を出しており、40人ほどの大学生や専門学校生が綾部から通ってくれている。

「大学生が綾部に住む」ことの意味は大きい。大学生が時給の良い夜間にアルバイトとして働いてくれてこそ、若者が望むような居酒屋やファミレスなどのお店が綾部に進出できるひとつの要素になる。綾部の現状のアルバイト・パートは主婦が中心で、主婦は子どもが学校にいる時間だけ働きたいので、夜間の雇用確保ができずにそういうお店が進出しにくい。また大学生が作る「文化」が地域に与える影響は大きい。

◎（Bさん）避難所指定されている小西の惣持院の後ろの砂防堰堤を府に作ってもらえることはありがたいことだ。ただ、私は寺の総代をしているが、豪雨の際に避難所を開けに行こうとしたら、すでに道中が浸水して行けなかったことがあった。

⇒（源太郎）避難所指定されていたので、砂防堰堤を作ってもらえることになって良かったですね。今年は無事、来年度設計、再来年に工事？工事も8年ほどはかかるでしょうが、私も現地は見てきました。たしかにあそこへ行くにはカーブの商店のあったところがすぐに浸水するんで行けなくなりますね。

⇒（Cさん）砂防堰堤が完成するまでは、避難所としては使えないと聞いています。

◎（Dさん）地域力再生プロジェクト支援事業交付金（災害枠）の補助率を元に戻してほしい。災害復旧で工事業者に30万までは補助金が出たのが、業者委託分が今は2/3補助になった。いざ災害があれば

ば、皆さん困ると思う。

⇒（源太郎）あれは山田前知事の時に地域力再生プロジェクト支援事業交付金が予算 8 億のうち毎年 2 億しか使っていなかったの、1 億を災害復旧補助金に充ててもらったのだが、昨年は綾部市だけで 4 千万円ほど使った。それでか分からないが、今年度から業者委託分の補助率が下がった。元に戻して欲しいという意見は府に伝えているが、今後も強く求めていく。

⇒（Dさん）災害に遭った時、あの補助のおかげで、気持ちが救われたので、ぜひ戻してもらいたい。

**【回答】**地域交響プロジェクト交付金（地域力再生プロジェクト支援事業交付金から制度変更）では、被災地支援プログラムとして制度化されましたが、「委託料・工事請負費」については、経費の 2/3 を支援する制度となりました。災害時のことでもあり、私は以前のような「全額補助」にするよう求めています。府中丹広域振興局企画総務部企画課長からは今回の要望に対しては「実際の活用団体の声として要望があったことを本庁の担当課に伝えます」との回答がありました。

◎（Bさん）奥小西のため池は決壊寸前で、工事に入ってもらうところだ。

⇒（源太郎）今回の「御用聞きの会」では災害に対する要望が多い。皆さんの災害に対する強い関心を感じている。ため池のことも再度、京都府や綾部市に確認を求めていく。由良川の築堤はほぼ完成したが、次は内水の心配が増えている。由良川の水位が上がらなければ、内水も由良川に流せるのだが…。内水対策と共に由良川の浚渫などの水位を下げる工夫も必要だ。

⇒（Cさん）新聞に大野ダムの水位を下げるにあたって問題が出たと書いてあったが？

⇒（源太郎）大野ダムの水位を 2 メートル下げると監視用ボートの桟橋が宙に浮くことになり、別の工事が必要にはなったようだ。最終的には 5 メートル下げると聞いている。

⇒（Cさん）大野ダムからはどのくらいの時間で水がここに到達するのか？1 時間くらいか？

⇒（源太郎）いやもっとかかる。田植えシーズンに水不足でダムの水を早く流してほしいとお願いしたが、その際は朝 6 時に流して、昼ごろに綾部に水が到達すると言っておられた。

**【回答】**奥小西のため池は現在工事中で、今年度中に完成の予定。令和元年 12 月末時点では 60% の工事進捗率です。

◎（Jさん）里山ねっとの宿泊棟が耐震不足で建て替えしなくてはいけないと言われている。綾部市には建て替えてもらわないといけないとお願いしている。綾部市の建物ではあるが、予算上、いずれは京都府にもお願いすることになると思うので、よろしくお願いします。

⇒（源太郎）綾部市に要望としてお伝えし、今後、京都府で協力できることがあれば頑張ります！

【吉美】11/7（木）19:00～ 市農業振興センター（多田町）藤岡康治市議ほか12名

◎（Aさん）綾部市には毎年、自治会要望を出しているが、昨年度に出したものの返事がいっこうに返ってこない。どうなっているのか？これでは要望の意味がない。災害復旧等で手が回らないのも理解しているが、せめてそういう状況だから返事はしばらく待つて欲しいという連絡くらいはするべきではないかと考える。今年度も8月に要望書を提出したので実施可否についての回答を早急にいただけるよう府議からも側面支援をお願いしたい。



⇒（源太郎）綾部市も昨年度は大変災害箇所が多く、国の査定も11月末くらいまでかかっているし、予算が下りれば次は工事の発注を急がなくてはならないという状況であり、ご理解いただければとは思いますが、その状況くらい伝えるというのはごもっともだと思いますので、そのように話をしてみます。

【回答】綾部市市民協働課から「昨年度は、大規模な災害が発生したことにより要望件数も多く、現地確認等に時間を要しました。回答が年度を超えるようなケースもあり、ご迷惑を掛け申し訳なく感じています。できるだけ速やかに回答を行うよう努めていくのでご理解いただきたい」と回答がありました。

◎（Aさん）（資料を元に説明）小呂町自治会長さんが遅れておられるので、私から説明します。小呂町六ヶ坪先の草刈りについて、府は1mくらいしか刈ってもらえないんですかね？それだとすぐに草が伸びて道路に上がってくるので、もう少し下まで刈ってもらえないか？もう一点は小呂峠の登り口の小呂町貝ヶ戸先の木も伸びてきており、伐採してほしい。高速道路の脇はしてあるのだが、側道がなかなかしてもらえない。

⇒（Bさん）年に1回は草刈りをしてもらっているが、すぐに伸びて通学の時に見えづらくて危ない。府道から1メートル程しかしてもらえないが、もう少し1.5メートルくらいはしてほしい。

⇒（源太郎）府の行う草刈りは府道の通行障害を解消するために刈るので、他地区でもそういう要望はたくさん聞いているが、予算上、それ以上に刈るのは難しいのではないかと思う。しかし、草木が下の写真のように道路に出てきているのなら刈ってもらわないといけないので、土木事務所に現地を確認してもらおう。

【回答】12月26日に藤岡市議と共に現地を確認しました。草が道路に出てきており、確かに通行にも支障がある状態だと感じました。川がすぐ下にあり、草刈りがしにくいという事情があるかもしれませんが、府民協働型インフラ保全事業で申請いただければ、ありがたいです。

◎（Cさん）①多田町には聖塚古墳、菖蒲塚古墳があり、私市円山古墳のように公園を作ったりして整備してほしい。②吉美には高速道路のインターチェンジもあるので、高速道路内でなくてもいいので、地元の農産物を売ったりできるような「道の駅」を作してほしい。③沖田のあたりをほ場整備で1町田



にする計画も地元では上がっているが、将来の担い手不足も感じている。沖田に物流拠点や住宅地、商業施設が出来ればと思うのだが、綾部市には市街化調整区域の問題があり、そういったことは農業委員会の許可が下りないと聞いた。

⇒（源太郎）①聖塚・菖蒲塚は、私は大変価値があると思っている。「円墳」としては私市の円山古墳が京都府下最大であるが、聖塚は全国で最大規模の「方墳」だ。観光資源としても重要で、たしかに今後、もう少し整備をする価値もあると思う。私市円山古墳は綾部市が整備しているので、こういうご提案があったことは市長にも話しておきます。②「道の駅」についてですが、今は綾部市としてはグンゼスクエアを観光バス等に立ち寄ってもらう交流拠点として取り組んでいるので、同じような施設（道の駅）をすぐ近くに作るというのは難しいかなとは思いますが。③市街化調整区域については、綾部市は数年前に線引きを廃止したので、市街化調整区域は綾部にはなくなりましたが、土地利用を縛る法律には都市計画法、農業振興法、農地法の大まかに3つがあり、特に農地を転用する際には、農業振興地から除外した上で、転用して何に使うのかなど、細かく申請をして許可を得なければならず、なかなか大変だ。民間企業がやるよりは綾部市が企業誘致するとか、市が主体となって進めていく方がハードルのクリアがしやすい。綾部市としても多田町沖田のあたりについては道路から25メートルの範囲は商業施設や住宅地等にしたいと計画されていたのでは？地権者もおられるので、地元で地権者を含めて商業施設誘致等について話をまとめて要望していただけるなら、綾部市はありがたいのではないかと。吉美地区で問題なのは、下水道がないので、浄化槽を設置する場合に建築基準法上、大きな面積の土地には大きな浄化槽を設置しなければならず、そうすると浄化槽だけに数千万ほどかかる場合もある。以前に有岡町公会堂でもそういうことでの相談があり、土木事務所との間に入らせていただいたこともある。実態に合わせた浄化槽の大きさにするべきだというのは環境省も国交省に申し入れているのだが…。

⇒（藤岡市議）下水道について。多田町は整備が完了しているので、その点は大丈夫で住宅地にもできるのではないかとと思う。

⇒（Aさん）そうなんです。里町と有岡町は浄化槽ですが、多田町は下水道なので。

⇒（源太郎）ほ場整備の話はまどまりそうなんですか？

⇒（Cさん）地権者がたくさんおられるし、地元におられない方もあるので、なかなか…。

⇒（Aさん）先祖代々の土地を何かするとなると、色々な考えの方がいる。

⇒（Dさん）ほ場整備をするなら、今やっておかないと、とは思う。リーダーシップのある人がまとめてくれればと期待している。

⇒（源太郎）受益者負担のないほ場整備は、下位田が京都府内で1番最初にやり、次は奥上林の長野で現在調査が始まっています。新庄と鍛冶屋の六反でも計画されていたが、真ん中に相続放棄地があり難しいので、違う方法で検討することになった。ほ場整備をやるには今のこの制度を活用するのが良いと思うが、これから先の担い手があるかどうかの問題。

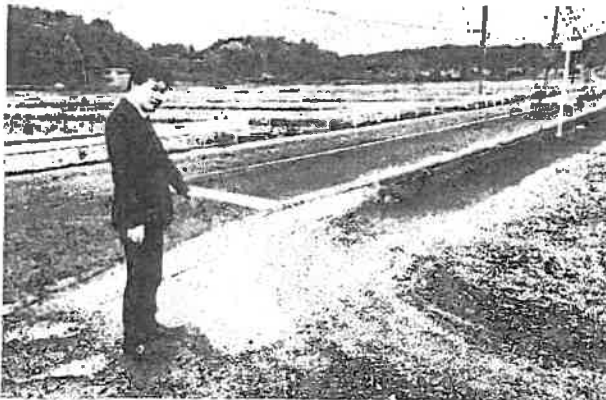
【回答】①聖塚、菖蒲塚の周辺整備については、市長に地元のご意見としてお伝えしました。②上記の通り。③綾部市都市計画課から「平成28年5月に線引き廃止を行い、当該地域は農地転用等の必要な条件が整えば、住宅地や店舗の立地は可能。吉美地区には平成29年6月に《吉美地区まちづくり協議会》が設立され、住民によるまちづくり計画策定があるところ。その中で当該地域の方向性の検討をお願いしたい」と回答がありました。



◎（Eさん）里町自治会からの要望は資料の通り。八田川の浚渫については3年ほど前に、当時の自治会長さんが京都府に言ってやってもらったが、また土砂が溜まってしまっているし、木も生えている。近々、八田川のハザードマップを作る計画だと聞いているが、それは八田川の浚渫をしてもらった上で考えてもらわないといけないと思っている。

⇒（源太郎）こういう浚渫の案件は、まずは府民協働型インフラ保全事業で申請してもらえたらと思います。

⇒（Eさん）もう1件は、府道と市道の合流点にちょっとした雨でも水が溜まる場所がある。雨水を受ける溝等を作って何とかして欲しい。通学路でもある。



⇒（源太郎）そうですね。写真を見ると対策が必要だと思います。話してみます。

【回答】私も現地調査した上で状況を伝えたところ、土木事務所から「排水不良について改善する」と回答がありました。

◎（Eさん）桜が丘から降りてきたところの一旦停止線が手前過ぎる。そこで停まっても前に出た時にどこまで出ればいいのか、目安が分からない。

⇒（源太郎）たしかにずいぶん手前ですね。ただこうなったのには何らかの警察等との協議の経緯があると思うので、綾部市に確認してみます。

⇒（Eさん）停止線も薄くなって見えない。

⇒（源太郎）それはそうですね。併せて綾部市に話します。

【回答】綾部市建設課から「通常停止線は交差点手前の直線区間の終点箇所に設置することとなり、道路建設当時の交差点協議（京都府公安委員会）により決定され、当該箇所に設けられたものです。

（車道中心線に直角、横断歩道がある場合には、その手前1～2mの位置等の基準が設けられています）法律の規制上の施工となっていることのため、ご理解をいただきたい」と回答がありました。ここは綾部市営工業団地があるため、大型トラックの出入りも多く、その進入の関係で停止線が相当手前に引いてあります。ご理解ください。

綾部市からの回答を受けて、薄くなっている通常停止線の引き直しを綾部警察署に要望したところ、「停止線の引き直しは公安委員会に要請します。これからの調整となりますので、しばらくお時間をいただきたい」との回答がありました。ここは、一旦停止という交通規制が絡んでいる停止線であり、規制絡みの線は公安委員会がやるとのこと。標識や規制は絡んでいない町内で注意すべき地点として引いてある線については、道路管理者がやるとのこと。

◎（Aさん）星原と有岡の開発に関する提案であるが、①新しい工業団地の開発計画はあるのか。古美地区の「まちづくり協議会」でよく話題になる。吉美小学校の裏山には猪や鹿が出るので住宅地として整備をしてもらえれば良い。②星原も集落に入れば行き止まりであり、有岡から星原へ抜けられる道は土砂崩れになっているが、整備したらどうか。白道路へも抜けられる。③先ほど出していた浄化槽の問題もあるが、コンビニを作ってほしいという要望がいつも住民から出される。

⇒（源太郎）①工業団地については、福知山市三和町や京丹後市の府営工業団地がまだ売れ残っていて、現在は綾部に新しい工業団地をつくる計画は進んでいないが、綾部市としては毎年、京都府に要望している。物流拠点を作るという話は山田前知事が4期目の選挙の際、綾部での個人演説会で発言され、それを受けて綾部市ではいくつか適地として選定したと聞いている。京都府からは「原野を見せても企業誘致できない。綾部市が知恵を絞ってPFI等の手法を導入してでも造成ができるようにしていけないのか？」と書かれている。今、民間の物流拠点は城陽市などの南部への立地が増えているが、綾部も舞鶴港が近くにあるなど立地が良いので、カルビーや日東薬品等は工場を増設された。今後も新しい工業団地の造成を目指していきたい。新たな住宅地について、府は府営住宅を綾部市内に新たに作る計画はない。綾部市も「綾部環状道路」の要望をしており、その場合は寺町の老朽化した府営住宅を民間の住宅地として、新たな開発を進めたいと言っている。吉美小学校裏に新たな住宅地開発というのは難しい。先ほど、話のあった沖田のあたりなら民間の開発が可能かもしれないと思う。②有岡と星原間の道路整備は、綾部地区自治会連合会で四ツ尾山に遊歩道整備をされた時に、綾部市からの「いきいき地域づくり補助金」の50万円を活用して、そこに京都府の地域力再生補助金を取って8倍の150万円にして、雑木刈りなどを森林組合に委託して整備された。そういうやり方もあるのではないかと。③コンビニは今、出店が止まっている。代わりにドラッグストアが増えている。コンビニではないが、農業振興の意味も含めて農家レストランを綾部の農村部に作ったらと思っていて、市会議員さん方には大分県日田市の大山町農協での成功例を視察してきてはと勧めている。綾部には「こども食堂」だけでなく、「お年寄り食堂」も必要ではないか。農家レストランがその意味でも良いのではないかと思っている。

⇒（藤岡市議）篠山に黒豆館があるが、そのようなところができればいいかと思う。

⇒（Aさん）京阪神の人がそこに行きたいというところができればいい。



【回答】①綾部市商工労政課から「新たな工業団地の開発については、莫大な経費がかかること、また北部港湾広域利用促進会議において交通網の優位性から物流サブ拠点として綾部市が適地と位置付けられていることから京都府に対して要望をしている状況である」と回答がありました。府北部の工場用地はほとんどなくなりつつあるので、今後、京都府と綾部市で協力して新しい工場用地の確保に取り組んでもらうよう府議会ですらに働きかけます。②綾部市農林課から「有岡から星原へ抜けられる道は林道（道板線）と思われる。林道を改修する場合は、綾部市森林整備計画に位置付け、森林整備を行うとともに木材を搬出する目的が必要となる。改修には受益者負担が伴う。事業実施については、農林課へご相談いただき事業化を検討する流れとなる。農道や認定林道が被災した場合は国庫補助を受け、補助金を市と受益者が負担することによって復旧できるが、地域の峠道については復旧や整備に活用できる補助事業がないのでご了承いただきたい」と回答がありました。地域づくり事業として、まずは歩いて通れる道づくりの計画を地元でご検討いただければ、多少なりとも何かの補助がないか、私も京都府と相談したいと思えます。③民間の事業者からコンビニ建設の計画が上がれば、地元の皆さんと連携して私も実現に向けて努力します。

◎（Eさん）里町も「ゾーン30」にしてもらったが、それでも車がビュンビュン通る。

⇒（源太郎）府北部にも1台、移動式オービスが配備され、引き込む場所がないところでも、スピード違反の取締りが出来るようになった。そういうもので今後、取締りを強化するという手はあるかもしれないが…。

⇒（Eさん）取り締まるということよりも、「ゾーン30」には通学時間帯は車が入ってほしくない。京丹波町ではゾーン30の道路を全てカラー舗装してあるが、そういうことはできないのか。

⇒（源太郎）例えば、吉美で一番カラー舗装してほしいところはどこですか？

⇒（Aさん）有岡町のインターの手前の点滅信号のところ。

⇒（Eさん）里の旧道全部かな？

【回答】綾部警察署と土木事務所に要望しました。綾部警察署からは「ゾーン30は通行禁止規制ではないことから、車両を通行させないことはできず、また、ゾーン30規制は生活道路を規制するものであることから、通行禁止規制を実施すればゾーン内に居住している方々についても通行できないという負担が生じることから通行禁止規制は適切ではない。抜け道対策としては府道の渋滞を信号周期を変更するなどして解消しており、できるだけ府道を通行させることで対策を実施しているところですが、綾部工業団地方面へ通勤するための車両が通勤時間帯には多数集中する地域であることから、交通量が分散するような周辺道路の整備も併せて実施する必要がある。また、一部のゾーンでは、通行車両のほとんどが区域内に居住している住民の方であることから、ゾーン内に居住している方々が区域内が30キロの速度規制であることを再認識する必要がある。ゾーンを明確に標示するためにもゾーンの入り口に標示している路面標示を他の物とは区別した特別な標示に変更したり、ゾーン内の速度抑制対策としては、交差点内のカラー化などは有効であることから、交差点のカラー化や交差点マーク、外側線の設置など速度抑制対策の標示を道路管理者で実施していただきたい」と回答がありました。

土木事務所からは「入口付近など部分的な路面標示等は可能です。全面的なカラー舗装については、他箇所状況や交通量、現地の状況を考慮した上、検討します」と回答があり、地元自治会や自治会連合会からも具体的な要望活動をしていただければ、ありがたく思います。

◎（Fさん）府議には高倉神社の参拝をしてほしい。土用の丑やお正月に。高倉神社は高倉町の神社ではなく、吉美地区全体の神社なのでぜひ。

⇒（源太郎）土用の丑など、何度か参拝したことはある。綾部市内もたくさんの神社や祭礼があり、全てに参加できるわけではないが、できるだけ都合のつく時には参拝したいと思っている。案内を毎年いただける神社もあって、そういうところには極力、都合をつけて参拝するようにしている。高倉神社の祭礼にも都合がつけば行かせていただく。

⇒（Fさん）案内を出すので来年はぜひ参拝をお願いします。府議も参拝されたという話が流れると参拝者が増えるかもしれないと期待している。

⇒（Eさん）来年は案内状を出してもらおうようにします。

◎（Gさん）綾部市に要望する際には、もっと地元の市議を利用するべきではないか。

⇒（Aさん）今後、検討します。

⇒（源太郎）京都府に行かれる際には連絡をいただければ、私も同席しますし、都合がつかないときは電話を入れておいたりもしますので、遠慮なくご連絡ください。

◎（Eさん）鳥獣害対策も何とかしてほしい。

⇒（源太郎）その必要性はよく理解している。11年前の「地域懇談会」の主な話題は鳥獣害だった。私が当選した平成23年度に国が防護柵の全額補助の事業を行い、京都府に5億円が配分されて、綾部市がそのうちの3億5千万円ほどを取り込んで、柵等を設置したので少しはマシになった。が、熊や狼などの被害は全く止められていない。熊は増えすぎていて、特に丹後に多いのだが、西脇知事は「レッドデータブックの見直しを検討する」と議会で答弁された。

⇒（Eさん）熊はすごく増えている。福井県と京都府で条例が違うと聞くが、

⇒（源太郎）福井県は撃てるし、兵庫県でもだんだんOKになってきているが、京都府は遅れている。しっかり減らす対策を求めていきたい。

【回答】京都府中丹広域振興局農林商工部に問い合わせたところ、「熊は丹波個体群と丹後個体群があり、綾部市は丹波個体群のエリアであるが、民家等から200m以内に出た熊については捕殺している。捕殺上限を75頭に引き上げ、令和元年度は72頭を12月末現在で捕殺している。本庁や専門家と相談の上、緊急対応については枠外での対応としている」との回答がありました。

◎（Hさん）民地の木が道路まで伸びてきているところがあるが、住民も高齢になっておられたり、後継者も都会に出ておられたりして、そのままになっている。特に多田から高倉間の道路に出てきている草木の伐採をお願いしたい。

⇒（Aさん）位田から有岡の道路は、めっちゃひどい。

⇒（源太郎）府道に関しては、土木事務所に現状を見に行ってもらいます。道路まで出てきている分は切らないといけないので、まだそのレベルでなくても、時々、確認してほしいと伝えます。

【回答】たしかに、多田町の大成工業下のカーブのところは相当、木が張り出しているのを私も確認し、土木事務所に伝えました。なかなか伐採されないようでしたら、府民協働型インフラ保全事業で申請いただければありがたいです。

◎（Aさん）藤岡市議からも一言、ありますか？

⇒（藤岡市議）吉美には今、地元市議が3人おり、委員会等で一緒に話をする機会があるが、1人は吉美は開発がなく静かなところが良いという考えであり、私は宅地やお店が出来ればと思ったり、様々な考えがありますが、自治会長さん方から宿題をいただければ、協力して何とか出来るように努力します。自治会長会等にも呼んでいただければ、ご意見ご要望を伺いに行きますのでよろしく願います。

⇒（Aさん）そういうことも検討します。府議から最後に何かありますか？

⇒（源太郎）（他地区での「御用聞きの会」で出ている話を説明）災害が増え、防災に関心が高い。皆さん、よく川を見ておられる。草刈りはどこでも出てくる課題。街路灯や防犯カメラ設置の要望も多かった。府議のバッヂは皆さんに付けさせていただいているものなので、ぜひ、どんどん使っていただければと思っている。気軽にご連絡ください。

【奥上林】11/15（金）19:00～市林業者等健康管理センター（故厩岡町）19名

◎（Aさん）①鳥獣害は、柵のおかげで被害は少なくはなったが、熊は柿のシーズンでもあり、出てくる。猿も調査してもらったり、駆除してもらったり、色々な対策をしてもらっているけれど、なかなか数が減らない。鳥獣対策をさらにお願したい。②府議への御礼も兼ねて言わせてもらおうと、原発の避難路となる府道487号線／老富舞鶴線は、お金を国からどっってもらったおかげで、大層内の入り口から拡張してもらえる（2～3m広くなる）ことになり、測量は終わって来



年度は用地買い取りの旨、土木事務所から説明があった。事業がスムーズに進むようお願いしたい。  
⇒（源太郎）①他の地区でのこの「御用聞きの会」でも熊や猿、また柵では防げない鳥の被害のことも聞いている。京都府は条例で、熊はたとえ山で猟師が遭遇しても撃つことは出来ないことになっている。この地域だけでなく、丹後でも熊は大幅に増えているようで、すでに絶滅寸前種ではなくなっている。西脇知事は9月議会での代表質問で「京都府のレッドデータブックを見直す」と答弁された。熊を猟師が撃てるようになれば、熊に恐怖感を与えることができる。熊は臆病な動物であるため、人里に近づかなくなる効果もあると思う。猿に関しては、数をどう減らすか、なかなか難しいことだが、それも考えていきたい。②老富舞鶴線は原発避難路特別予算による整備。原発の避難路については、資源エネルギー庁から、約2億1千万円の予算が京都府に付き、綾部と舞鶴に半分ずつ、約1億円ちょっとが数年前から綾部管内で使われている。しかし、このお金は、小浜綾部線の大町交差点の改良とか、綾部美山線の洞峠のトンネル工事などの本格改良には使えないと国交省が言っている。枝の道路にしか使えない。それで例えば上杉和知線の黒石峠の口上林側を二車線にする計画が進んでおり、今は測量・設計、用地買収をしている。しかし、1億円程度では本格的には避難路整備が進まない。私は関西電力にも資金拠出を求めるべきだと考えている。中国電力は島根県松江市に原発を持っているが、松江市は鳥取県と隣接しているので、鳥取県に毎年6億、5年で30億円を出している。中国電力よりも関西電力は会社の規模が大きいし、松江の原発と若狭の原発群の数や規模も違う。今、上林から福井に抜けるくねくねしている道路をまっすぐにする大規模な工事を福井県がしているそうだが、これは全額国費でしている工事だと聞いている。原発近接地の上林の道路整備にはもっと巨額の資金が獲得できるようあらゆる方面に要望していきたい。

【回答】①対策については、京都府中丹広域振興局農林商工部から「まず加害群れの動向を正確につかむことが重要。悪質な群れに対して、市では探知機をつけて群れの位置を把握し、集落で協力して追っ払うなどの対策も取っている。広域対応が必要な場合もあるので、個別に綾都市または振興局にご相談いただければ検討します」と回答がありました。②事業がスムーズに進むよう支援します。

◎（Bさん）①最近の災害の規模は大きく、川底に関する要望がたくさん出ているとは思いますが、荒れている川底の整地を早くお願いしたい。特に上林川の小仲のところ、古和木からと老富から出てくるところの合流点、八代橋から2、80メートル下流のところは相当に土砂が堆積している。②奥上林は災害時にがけ崩れで道路が塞がれると孤立するという問題も抱えている。大町の石川原のカーブは急傾斜に沿って走っているので、これをまっすぐ長野の防火用水のところまで抜いてもらえれば、がけ崩れによる孤立がなくなるのでは？③防災無線が老富と故屋岡の林業者等健康管理センターにはあるが、陸寄には何もない。災害時の連絡のため、せめて一つはつけることも考えてほしい。④草壁の私の家の裏は急傾斜地だが、下の人家戸数が4戸で急傾斜地対策の事業がしてもらえない。ぜひ要件の緩和をお願いしたい。4軒だけだが、少しでも安心して暮らしたい。⑤府道の街灯が、口上林、中上林と長野のカーブまではそれなりにはついているが、それより奥は真っ暗なので、少しはつけてほしい。

⇒（Cさん）話のあった小仲の上林川の土砂堆積は府民協働型インフラ保全事業の二次募集で申請しているの、ぜひ採択をお願いしたい。

⇒（源太郎）①土木事務所の維持管理予算が府民協働型インフラ保全事業（以前は府民公募型整備事業）に移行していることもあり、府民協働型インフラ保全事業で申請してもらいたい。そこに申請されたものは、私も土木事務所から説明を受けるので、「実施する」となっている場合は別に何も言わないが、「実施しない」となった場合は、何とか実施してもらえるようにさらに説明する。小仲の件も確認します。②小浜綾部線の長野と有安の部分は高い崖に沿って道路が走っており、崩壊による道路封鎖の危険があることは以前から承知している。京都府も調査費をつけてどう整備するかの検討は進めている。今、京都府がこれから先20年の府道整備計画を策定しており、10億円以上の工事については箇所が明記されるが、その中にこの箇所も入っている。ただ、計画に入っているというだけで、いつ事業化されるかは未定だ。大町バイパスのように10億円以下の事業はこの計画には明記されないが、それは別途、進めていくことになる。今、長野ではほ場整備の調査がなされており、地元の意向を確認はしていないが、ほ場整備と併せて道路用地を出してもらえたら、事業がやりやすくなるのではないかと考えている。③防災無線は他の地区でも要望があった。各地区の公民館付近に1ヶ所は設置したが、それ以上は綾部市としても予算上、考えていないようだ。うちの家の近所にもスピーカーがあるが、豪雨の際は家の中では何を言っているのかほとんど聞こえない。一方で和知ダムのスピーカーはよく聞こえるので、関西電力に聞いてみたが、数が多いのとスピーカーの向きとかそういうことを研究しているようだ。綾部市にも要望としては伝えるが、隔々まで聞こえるようには無理かもしれない。市議員さんによると、市議会でも個人宅に受信無線機を設置する方法など、いろいろと検討はされているようだが予算の問題があるとのことだった。④急傾斜地は国の制度でそうになっているが、要望はたくさん出ているので、国への要望はし続けていきます。⑤街灯は府として設置しているのは、原則として交差点部分のみである。他の地区でも同様の要望・意見が出ている。これまで街灯は地元の商工繁栄会等でつけていただいていたが、商工繁栄会がなくなったり、加入者が減っていたりしており、そこに頼れなくなりつつある。商店や企業が減って、これからは維持が難しくなるのが現状だ。行政としても商工繁栄会等に頼りっぱなしのやり方から、別のやり方に変わっていかねばならないのではないかと思います。京都府が進めようとしている電柱の地中化をしない自治体には、その代わりに街灯をつけてもらう、とか要望したい。

【回答】①土木事務所から「府民協働型インフラ保全事業で申請していただいております。八代橋上流を実施します。下流側は引き続き、堆積状況を経過観察します」と回答がありました。②土木事務所から「道

路法面の防災工事実施に向けて、今年度、測量・設計を行っています。来年度から用地買収に着手する予定です」と回答がありました。③④⑤上記の通り、ご要望の内容は京都府、綾部市にお伝えしました。

◎（Bさん）若尾山の浄化槽付きトイレはできつつある。仁王門を横る展望台（テラス）の計画も以前聞いていたが、それは進展しているのか？

⇒（源太郎）展望台は最初の計画していた場所を変えた方がより良いのではないかという意見もあり、再度、場所の選定をしていると聞いている。計画がなくなった訳ではない。

◎（Bさん）息子が新市民センターの競技場の利用料が高すぎると言っているのだが、安くしてもらえないものか。

⇒（源太郎）新市民センター（あやべ日東精工アリーナ）は市民の皆さんの税金で建てて維持費も捻出している。税金で負担するという事は市民センターを利用しない人にも市民センターの維持経費を負担してもらおうということであり、利用する受益者が一定の負担をするということはやむを得ず、理解していただきたいと思う。使用料だけでは建設経費も維持経費を賄える訳でもなく、新市民センターは空調も完備されており、新しくなり良くなった面もあるので、あの料金で決して高すぎることもないと思う。青少年指導の際には使用料減免制度もあるのではないか。

◎（Dさん）災害の頻発もあり、川の浸食と土砂崩れの2点が大きな問題。これから先、堤防が越水するのでは、と心配している。川の整備も川底をならすだけであり、溜まっている土砂を取ってもらえないか？最近の水量を見ていて不安だ。

⇒（源太郎）地元では土捨て場が用意できますか？

⇒（Dさん）そうなんですよね。それがありませんね。山内川の浸食時の土砂の量はすごかったので、あれほどの場所はなかなかない。

⇒（源太郎）土捨て場を考えてもらったらしやすくなる。土砂を処分するのに莫大なコストがかかる。由良川の水かささえ上がらなければ、上林川を含む厚川、八田川の水が由良川に流れ込めずに逆流して内水被害が出ることも軽減されると思っている。綾部の河川災害の大元は由良川なので、由良川の土砂浸食や大野ダムの貯水を5メートル下げる対策などを行っている。川砂利は、昭和40年代に掘りすぎて橋桁が倒れかけた経緯があり、採取が河川法で禁止された。それまで由良川でも年間約30万㎡の川砂利を取っていたが、禁止になってから約50年、年に1万㎡程度しか取っていないので、溜まるはずではある。災害に関しては、まずは人家の浸水、そして床下よりも床上まで浸くところを優先して、対策をその箇所箇所と考えていきたいと思っている。具体的に土砂堆積のひどい箇所など、教えていただければ土木事務所にも状況を見てもらうようにします。

◎（Dさん）災害時にライブビジョンやメールで情報が送られるが、実際に住んでいる人になかなか入ってこないことがある。横浜ではポケベルの余った周波数を使っているというようなことを聞いたがそういうことはどうなのか？

⇒（源太郎）横浜市の事例はちょっと分かりませんが、結局は電話をするとか、声掛けに行くとかの原始的なやり方が一番なのではないかと思う。他の地区でも以前の有線やオフトークが良かったとも聞く。



情報伝達手段については、大きな課題として認識している。

**【回答】**ポケベルの余った周波数については、綾部市防災・危機管理課から「ポケベル波を使った情報伝達については、市全域をカバーできるかは調査が必要で、新たに導入する場合には整備費用が発生し、個別受信機等も必要となることから、現段階では導入計画はない」と回答がありました。

◎（Eさん）要望というよりも、聞いておいてほしい。以前は50年60年の木を切っていたが、今は木材価格が下がって売れないので切らなくなり、谷間に暮らしていると日照時間が減ったのがよく分かる。あと、観光客も大層内に来られるようになったので、林道の君尾山線と泉富線の舗装も出来たら、ありがたい。



⇒（源太郎）私は今年のも月から府議会の自民党議員30名で組織している森林・林業活性化議員連盟の会長になったので、林業振興策を考えている。木が売れるよ

うな新しい林業の構築が必要ではないか。府有林は美山と上林にたくさんあるが全然手が入れていない。間伐はその場しのぎでしかなく、今後ドローンでの測量などの技術を進める中で、皆伐、そして植林をし、次の世代に森林を残していけるようにしたい。

⇒（Eさん）河野防衛大臣のおじいさんが木材の自由化をしたからダメになった。ひどい目に遭った。

⇒（源太郎）このたび国で森林環境譲与税が出来たが、その配分が森林面積割だけでなく、人口割も含まれるため、思うほど地方に配分されない。横浜市が一番額が多いと言われている。京都府の豊かな森を育てる府民税も、人口割に加えて納税者割を掛け、人口要素を二重に掛け合わせてあるため、市町村向け予算の4割以上が京都市に配分されている。木のあるところに森林整備予算をもっと配分してもらえよう取り組んでいきたい。

◎（Fさん）山内川のことですが、あやべ温泉の100メートルほど上流にある砂防堰堤が3年前の夕立の後に溜まっていた土砂が抜けて、山内川を土石流が流れた。幸い川にいた人はなく事故はなかったが、今も堰堤がスカスカで水が溜まっている状態だ。山内川のそばの青少年山の家が災害時の避難所になっているが、近隣の方は避難するのが怖いと言っている。土砂が抜けたことの原因究明と必要な対策をお願いしたい。

⇒（源太郎）分かりました。土木事務所に確認します。

**【回答】**土木事務所に確認したところ、「経過観察の上、必要に応じて大量土砂の一時流出防止対策を検討します」と回答がありました。

◎（Cさん）29年の災害で被害が出た小仲と神塚の上林川の浚渫と護岸工事を災害復旧でもらえるかな？と思っていたが、まだなされていない。府民協働型の二次募集に申請してあるので、早く実施し



てほしい。

⇒（源太郎）土木事務所に確認します。

【回答】これについては10月末〆切の府民協働型インフラ保全事業（二次事業）に申請していただき、いずれも「実施する」との回答が土木事務所からありました。

◎（Gさん）府道1号線の神塚付近は道路を良くしてもらったが、バイクが100キロ程の速度でビュンビュン走る。古井のカーブの40キロの速度制限標識から福井県までは標識がないのだが、どこまで40キロ制限がかかっているのか？

⇒（源太郎）標識がないところは60キロだろう。交通規制は一旦かけると、簡単に外すことは出来ない。慎重に考える必要がある。ラインを引くとか、看板を立てるとか、違うやり方でスピードを抑止する方法もある。警察に相談してみる。

【回答】綾部警察署から「小浜綾部線は規制速度が40キロ・50キロ・無規制と道路環境に応じた速度規制を実施しております。速度規制については、現在、実勢速度と規制速度に乖離のある場所については速度の引き上げの見直しを行っております。速度規制を実施するためには速度の標示だけでなく、道路環境の整備も併せて行い、道路環境に合わせた速度に規制する必要があります。要望箇所付近においては、道路状況に合わせた速度で走行する必要があることから法定の規制速度となっている箇所であり、今後、道路管理者において速度抑制を行うための道路環境整備が行われ、速度規制の必要性が認められれば速度規制を検討していきます」と回答ありました。現状は神塚付近は法定速度（60キロ制限）となっているようです。

◎（Hさん）府道1号線で、上の方の木が生い茂って道路にはみ出しているところがあり、背の高いトラック等が通る時にそれを避けてセンターラインを超えてくることがあり危ない。もっと上の方まで出ている木を伐って欲しい。

⇒（源太郎）基本的にはよその土地に出ている木は地権者が切らなくてはならないが、府道にはみ出して通行を妨げている部分に関しては、京都府としても管理上、切ることが出来るので、具体的に箇所を教えてもらえれば確認して、必要であれば切るように土木事務所に依頼します。

【回答】具体的な箇所があれば、府民協働型インフラ保全事業で申請いただければ、ありがたいです。

◎（Iさん）綾部には就学前の子どもが遊ぶところがないと若いお母さんの声がある。

⇒（源太郎）それは屋内ですか？屋外ですか？

⇒（Iさん）屋内施設です。

⇒（源太郎）屋外の公園もないという声は以前はあって、それで紫水ヶ丘公園の遊具を新しくして整備されたが、屋内での子どもの遊び場がないという声はよく聞くので、そういう場所がどこかで確保できないか、市長にも話してみます。

◎（Jさん）綾部市や京都府にしても様々な要望に応えるのに、財政面が一番ネックになるかと思う。農村部では鳥獣被害がやはり深刻で、5年前に鳥獣害対策として網を張ったが、動物の方も学習能力があり、網だけではダメになってくる。山林の税金の配分の件もだが、なかなか実現しないかもしれないが、

主張をし続けてほしい。府道の国道昇格も以前から言われているが、何も出来ていない。仕方ないとは思いますが、市議や府議が一つになって頑張してほしい。

⇒（源太郎）もちろん、諦めずに主張して頑張ります。

◎（Dさん）災害で農地に土砂が入った場合、復旧費は府6割、市2割、個人負担2割であるが、2割でも負担が大きく、未だに土砂が入ったままになっているところがある。負担が大きければ直す人もなくなると思うので、災害はないのが一番だが、激甚災害があった時には個人負担はできるだけなくしてほしい。

⇒（源太郎）それはそう思います。今後も要望します。

【回答】綾部市農林課から「災害復旧事業（国補助）の農地災害の補助率については、国50%、市25%、地元25%（農業用施設は国65%、市17.5%、地元17.5%）となっている。大規模な災害が発生した場合、激甚指定を受け補助率の嵩上げ申請を行う。その結果、国の補助率が引き上げられるケースが多く、個人負担の軽減につながっている。一定の期間を要するが、施工同意書の提出をいただき、国への申請をし、災害発生時から7日以内に農林課に被災報告をお願いしたい。なお、激甚指定を受けた平成30年7月豪雨災害においては、地元負担が農地2.95%・農業用施設1.00%・林業施設2.30%まで引き下げられ、大幅に軽減されている」と回答がありました。

◎（Kさん）志古田自治会ですが、高齢化で草刈りが出来なくなっていく。農地を中間管理機構に預けるといふ仕組みは機能しているんですか？

⇒（源太郎）一応、そういう仕組みはありますが、他の地区でも機能していないという声があった。

◎（Jさん）京力農場プランは良い制度だと思うが、書類作成の手続きが大変だった。高齢化になると、なかなか事務作業もできなくなる。もう少し書類の簡素化等が出来ないとさらに疲弊すると思う。

⇒（源太郎）書類の作成についてはおっしゃる通りです。声をかけていただければ私も一緒に振興局等に行き、書類の書き方を教えてもらうようにします。災害復旧の際に多く活用していただいた地域力再生プロジェクト支援事業交付金（災害枠）の申請も最初の説明を丁寧にやってもらうよう京都府の担当職員に頼んで、そうしてもらったので綾部からはたくさんの申請を出すことができ、復旧も進んだ。また何なりとお声かけください。

◎（Dさん）古和木の奥の行谷線の八反の滝の先がえぐれており、頭巾山に上がれない。早く復旧してほしいと京都府には言っているが…。

⇒（源太郎）京都府に確認します。

【回答】京都府中丹広域振興局農林商工部に確認したところ、「10月末には工事発注しており、今年度中の完成を目指している。事先には頭巾山への登山が可能になるのではないかと思う」との回答がありました。

*memo*